

新しい国語表記ハンドブック

【第四版】

2色刷

現代語の書き表し方の
すべてが分かる

外来語の表記 常用漢字表 現代仮名遣い、 新人名用漢字 収録！

- 常用漢字表
(総画索引・字訓索引付き)
- 常用漢字の筆順
- 現代仮名遣い
- 送り仮名の付け方
- 人名用漢字別表
- 学年別漢字配当表
- 「異字同訓」の漢字の用法
- 同音異義語の使い分け
- 書き間違いやすい漢字
- 同音の漢字による書きかえ
- 外来語の表記
- 公用文作成の要領
- これからの敬語
ほか



三省堂

正しくきれいな字を書くための 漢字筆順ハンドブック

江守賢治著 日常よく使われる漢字2500余字および筆順の分かりにくい特殊な漢字や旧字の筆順を収録。見出しは毛筆、筆順はペン書きなので、細字楷書やペン習字のお手本にも最適。四六判

現代国語表記辞典

武部良明編 正確で美しい文章を書くための辞典。収容語数五万。常用漢字表・現代仮名遣い・送り仮名の付け方等に従い「どう書くか」の手引き。同音同訓語・用例を豊富に収録。B6変型判

必携用字用語辞典

三省堂編修所編 日本語の書き表し方を示した表記の手引き。常用漢字表・現代仮名遣い・送り仮名の付け方等に基づいた表記と、簡潔な用例を掲げる。B7変型判・中型版

三省堂

新しい国語表記 ハンドブック

【第四版】

三省堂編修所編

三省堂

当用漢字表 昭和二十一年一月一六日内閣告示第三二一号。

「日常使用する漢字の範囲」を一八五〇字に制限した。

当用漢字音訓表 ①昭和二十三年二月一六日内閣告示第二号。「当用漢字表の各字について、字音と字訓の整理を行い、今後使用する音訓を示したものである。」

②昭和四十八年六月一八日内閣告示第一号。①の「表示した音訓以外は使用しない」という制限的な考え方を改め、「一般の社会生活において、『当用漢字表』に掲げる漢字によって現代の国語を書き表す場合の音訓使用の目安を示すものである。」

当用漢字字体表 昭和二十四年四月二八日内閣告示第一号。

「漢字を使用する上の複雑さは、その数の多いことや、その読みかたの多様であることによるばかりでなく、字体の不統一や字面の複雑さにもとづくところが少なくないから、当用漢字表制定の趣旨を徹底させるためには、さらに漢字の字体を整理して、その標準を定めることが必要である。（同日付内閣訓令第一号）」

常用漢字表 昭和五十六年一〇月一日内閣告示第一号。「法

令・公用文書・新聞・雑誌・放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の目安を示すもの」で、字種（一九四五字）・字体・音訓・語例等を総合的に示した表である。（この告示により、「当用漢字表」「当用漢字音訓表」「当用漢字字体表」は廃止された。なお、一〇〇ページ参照。）

教育漢字 「当用漢字別表」（昭和二十三年二月一六日内閣

告示第一号）の漢字で、「義務教育の期間に、読み書きともにできるように指導すべき」もの。計八八一字。（今は、次項の漢字配当表に吸収されている。）

学年別漢字配当表 平成元年三月一五日文部省告示「小学校学習指導要領」（平成四年四月施行）に掲げられている表。一〇〇六字の漢字を小学校各学年に配当して学習させようとするもの。（この表の漢字を学習漢字・教育用漢字・教育漢字などと呼ぶ。名称は統一されていない。）

標準字体 右の表に示されている字体。「漢字の指導においては、学年別漢字配当表に示す字体を標準とする」ととされている。

現代仮名遣い 昭和六一年七月一日内閣告示第一号。「現代かなづかい」（昭和二十一年内閣告示）を改定したもので、「一般の社会生活において、現代の国語を書き表すための仮名遣いのよりどころを示すものである。」

送り仮名の付け方 昭和四十八年六月一八日内閣告示第二号（「常用漢字表」の告示に伴い、一部改正）。「送り仮名の付け方」（昭和三四年七月一日内閣告示第一号）を改定したもので、「一般の社会生活において、『常用漢字表』の音訓によって現代の国語を書き表す場合の送り仮名の付け方のよりどころを示すものである。」

外来語の表記 平成三年六月二八日内閣告示第二号。「一般の社会生活において、現代の国語を書き表すための『外来語の表記』のよりどころを示すものである。」

前　書　き

日本語の表記を、読みやすく、分かりやすくするために、「常用漢字表」「送り仮名の付け方」「現代仮名遣い」の制定を初め、多くの国語施策が行われていますが、この本は、それらが総合的につかめるように編集したものです。内閣告示・文部省告示・国語審議会報告、その他、現代日本語表記の基となる資料を原文のまま収録し、それが、いつ、どんな目的で出されたのかを明らかにしました。

ほかに、「常用漢字の筆順」「くぎり符号の使い方」や、三省堂編修所で作成した「書き間違いやすい漢字」「同音異義語の使い分け」なども収めてあります。巻末には、「常用漢字表」の字訓索引・総画索引をつけました。

この本は、国語施策が改定されるたびに改訂を重ねてきましたが、このたび、「外来語の表記」が告示され、「人名用漢字別表」「学年別漢字配当表」が改定されたので、その部分を差し替え、第四版として刊行します。日本語の書き表し方の手引きとして、学習に、実務に、実生活に、常に役立てていただきたいと思います。

平成三年十一月

三省堂編修所

目次

常用漢字表……………	5
当用漢字表等と常用漢字表との対比……………	100
当用漢字表(まえがき 使用上の注意事項)……………	106
常用漢字の筆順……………	107
書体について……………	99
学年別漢字配当表……………	135
「異字同訓」の漢字の用法……………	140
同音異義語の使い分け……………	151
書き間違いやすい漢字……………	157
同音の漢字による書きかえ……………	169
日本新聞協会の、同音の漢字による書きかえ……………	173

人名用漢字別表……………	174
現代仮名遣い……………	176
送り仮名の付け方……………	183
これからの敬語……………	191
公用文における漢字使用等について……………	195
公用文作成の要領……………	197
くぎり符号の使い方……………	204
くり返し符号の使い方……………	205
横書きの場合の書き方……………	206
横書きの場合の数字の書き表し方……………	207
外来語の表記……………	218
ローマ字のつづり方……………	219
常用漢字表総画索引……………	225
常用漢字表字訓索引……………	240

常用漢字表

- ・昭和五六年一〇月一日内閣告示第一号。
- ・内容は、「新漢字表試案」(昭和五二年一月二一日国語審議会報告)及び「常用漢字表案」(昭和五四年三月三〇日中間答申)に対する各方面からの意見を含めて国語審議会で検討し、昭和五六年三月二三日に文部大臣に答申したものである。
- ・原文は横書き。
- ・この告示により、内閣告示「当用漢字表」(昭和二一年一月一六日付)「当用漢字音訓表」(昭和四八年六月一八日付)「当用漢字字体表」(昭和二四年四月二八日付)は廃止された。これらとの相違点については一〇〇ページを参照されたい。(三省堂編修所注)

前書き

- 1 この表は、法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の目安を示すものである。
- 2 この表は、科学、技術、芸術その他の各種専門分野や個々人の表記にまで及ぼそうとするものではない。
- 3 この表は、固有名詞を対象とするものではない。
- 4 この表は、過去の著作や文書における漢字使用を否定

するものではない。

- 5 この表の運用に当たっては、個々の事情に応じて適切な考慮を加える余地のあるものである。

表の見方及び使い方

- 1 この表は、「本表」及び「付表」から成る。
- 2 「本表」には、字種一九四五字を掲げ、字体、音訓、語例等を併せ示した。
- 3 漢字欄には、字種と字体を示した。字種は字音によって五十音順に並べた。同音の場合はおおむね字画の少ないものを先にした。字音を取り上げていないものは字訓によった。
- 4 字体は文字の骨組みであるが、便宜上、明朝体活字のうちの一種を例に用いて現代の通用字体を示した(「付」字体についての解説参照)。
- 5 括弧に入れて添えたものは、いわゆる康熙字典^きの活字である。これは明治以来行われてきた活字の字体とのつながりを示すために添えたものであるが、著しい差異のないものは省いた。
- 6 音訓欄には、音訓を示した。字音は片仮名で、字訓は平仮名で示した。一字下げで示した音訓は、特別なもの又は用法のごく狭いものである。
- 7 派生の関係にあって同じ漢字を使用する習慣のある次のような類は、適宜、音訓欄又は例欄に主なものを示した。

けむる	煙る	わけ	分ける
けむり	煙	わかれ	分かれる
けむい	煙い、煙たい、 煙たがる	わかる	分かる
		わかっ	分かっ

なお、次のような類は、名詞としてだけ用いるものである。

しるし	一印	こおり	一氷
-----	----	-----	----

8 例欄には、**語例**を示した。これは、音訓使用の目安としてその使用例の一部を示したものである。

9 例欄の語のうち、副詞的用法又は接続詞的用法として使うものであつて紛らわしいものには、特に「副」又は「接」という記号を付けた。

10 他の字又は語と結び付く場合に音韻上の変化を起こす次のような類は、音訓欄又は備考欄に示しておいたが、すべての例を尽くしているわけではない。

納得 (ナツトク)	格子 (コウシ)
手綱 (タヅナ)	金物 (カナモノ)
音頭 (オンド)	夫婦 (フウフ)
順応 (ジュンノウ)	因縁 (インネン)
春雨 (ハルサメ)	

11 備考欄には、個々の音訓の使用に当たって留意すべき事項を記したほか、異字同訓のあるものを適宜↑↓で示し、また、付表にある語でその漢字を含んでいるものを注記した。

12 「**付表**」には、いわゆる当て字や熟字訓など、主として一字一字の音訓として挙げにくいものを語の形で掲げ、便宜上、その読み方を平仮名で示し、五十音順に並べた。

(付) 字体についての解説

第1 明朝体活字のデザインについて

常用漢字表では、個々の漢字の字体(文字の骨組み)を、明朝体活字のうちの一種を例に用いて示した。現在、一般に使用されている各種の明朝体活字(写真植字を含む)には、同じ字でありながら、微細なところで形の相違の見られるものがある。しかし、それらの相違は、いずれも活字設計上の表現の差、すなわち、デザインの違いに属する事柄であつて、字体の違いではないと考えられるものである。つまり、それらの相違は、字体の上からは全く問題にする必要のないものである。以下、分類して例を示す。

1 へんとつくり等の組合せ方について

(1) 大小、高低などに関する例

↓硬 ↓硬 ↓吸 ↓吸

(2) はなれているか、接触しているかに関する例

↓睡 ↓睡 異 ← 異 ←

2 点画の組合せ方について

(1) 長短に関する例

(2) つけるか、はなすかに関する例

雪 雪 雪 満 満

無 無 齋 齋

(3) 接触の位置に関する例

空 空 湿 湿 吹 吹

兎 兎 備 備 奔 奔

(4) 交わるか、交わらないかに関する例

岸 岸 家 家 脈 脈

蚕 蚕 印 印

(5) その他

芽 芽 芽 夢 夢 夢

存 存 孝 孝 射 射

聴 聴 非 非 祭 祭

(1) 点か、棒(画)かに関する例

帰 帰 班 班 均 均 麗 麗

(2) 傾斜、方向に関する例

考 考 値 値 望 望

(3) 曲げ方、折り方に関する例

勢 勢 競 競

頑 頑 頑 災 災

(4) 「筆押さえ」等の有無に関する例

芝 芝 更 更

(5) とめるか、はらうかに関する例

八 八 八 公 公 公 雲 雲

(6) とめるか、ぬくかに関する例

耳 耳 邦 邦 街 街

医 医 継 継 園 園

環 環 泰 泰 談 談

(7) はねるか、とめるかに関する例

四 ← 四 ← 配 ← 配 ← 換 ← 換 ← 湾 ← 湾

第2 明朝体活字と筆写の楷書との関係について

常用漢字表では、個々の漢字の字体（文字の骨組み）を、明朝体活字のうちの一種を例に用いて示した。このことは、これによって筆写の楷書における書き方の習慣を改めようとするものではない。字体としては同じであつても、明朝体活字（写真植字を含む）の形と筆写の楷書の形との間には、いろいろな点で違いがある。それらは、印刷上と手書き上のそれぞれの習慣の相違に基づく表現の差と見るべきものである。以下、分類して例を示す。

1 明朝体活字に特徴的な表現の仕方があるもの

(1) 折り方に関する例

衣 | 衣 去 | 去 玄 | 玄

(2) 点画の組合せ方に関する例

人 | 人 家 | 家 北 | 北

(3) 「一筆押さえ」等に関する例

芝 | 芝 史 | 史 入 | 入 八 | 八

(4) 曲直に関する例

子 | 子 手 | 手 了 | 了

(5) その他

心 | 心 心 | 心

2 筆写の楷書では、いろいろな書き方があるもの

(1) 長短に関する例

雨 | 雨 戸 | 戸 戸

(2) 方向に関する例

風 | 風 比 | 比 比

仰 | 仰 糸 | 糸 糸

ネ | ネ ネ | ネ ネ

主 | 主 言 | 言 言 言

年 | 年 年 年

(3) つけるか、はなすかに関する例

本表

- ・「本表」には、三省堂編修所で次のように手を加えた。
- 1 漢字の字種の上に、見やすいように見出し仮名をつけた。
- 2 「当用漢字(音訓)表」より増えた漢字や音訓には⊕印をつけた。
- 3 「学年別漢字配当表」の漢字は赤色にし、1～6の数字で配当学年を示した。
- 4 赤色の音訓は、「特別なもの又は用法のごく狭いもの」(五ページ「6」参照)である。
- 5 「備考」欄の、熟字訓の読み仮名と「」のいくつかを省略した。
- ・「例」欄の送り仮名は、「送り仮名の付け方」の「本則」「例外」及び「通則7」に準じている。

(三省堂編修所注)

[illegible]

意氣地

一	イチ	一度	一座	第一	一人日
イツ	一般	同一	統一		
ひと	一息	一筋	一月目		
ひとつ	一つ				
イチ	壹万円				
イツ	逸話	逸品	逸する		
いも	芋	里芋	焼き芋		
イン	引	力	引退	索引	
ひく	引く	字引			
ひける	引ける				
イン	印刷	印象	調印		
しるし	印	目印	矢印		
イン	因果	原因	要因		
よる	因る	……に因る			
イン	姻族	婚姻			
イン	満員	定員	社員		
イン	院内	議院	病院		
イン	陰気	陰性	光陰		
かげ	陰	日陰			
かげる	陰る	陰り			
イン	飲料	飲食	痛飲		
のむ	飲む	飲み水			
イン	隠居	隠忍	隠語		
(隠)					

映英		泳	永	雲	運	雨	羽	宇	右	韻
6	4	3	5	2	3	1	2	6	1	
エイ	エイ	およく	エイ	ながい	エイ	くも	ウン	はこぶ	ウン	あめ
かくす	かくれる	イン	ユウ	みぎ	ウ	ウ	は	は	は	は
隠す	隠れる	雲隠れ	韻律	韻文	音韻	右岸	右折	右派	左右	座右
宇宙	気宇	堂宇	羽毛	羽化	羽翼	白羽の矢	一羽(わ)	三羽(ば)	六羽(ぱ)	羽飾り
雨量	降雨	梅雨	雨雲	雨戸	雨具	運動	運命	海運	雲海	風雲
雲	雲隠れ	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲
永続	永久	永遠	泳い	日永	泳法	水泳	背泳	泳ぐ	泳ぎ	英雄
英断	俊英	映画	上映	反映	映画	上映	反映	映画	上映	反映

[illegible]

王	汚	縁(縁)	塩(鹽)	鉛	遠	猿
1		5	4		2	
オウ	オ	エン	エン	エン	エン	エン
きたない	けがす	エン	しお	なまり	おい	さる
よごれる	けがれる	エン	塩分	鉛筆	遠近	野猿
王子	けがらわしい	縁故	塩辛	鉛色	永遠	類人猿
帝王	よごす	縁取り	塩酸		敬遠	犬猿の仲
	汚す	汚点	食塩			
	口汚し	汚物				
	汚れる	汚名				
	汚れる					
	汚らしい					
	汚す					
	汚れる					
	汚れ物					
	汚い					
	汚らしい					
	王子					
	帝王					

佳	花	何	仮可 (假)	加	火	化
1	2	5	5	4	1	3
カ はな	カ なん	なに カ かり	ケ カ くわえる くわわる	カ ほ くわえる くわわる	カ ひ ばかす ばける	ケ カ おりる おろす くださる
佳作 佳人 絶佳	花 花火 草花	何本 何十 何点	幾何学 何 何者 何事	加入 加減 追加	火災 灯火 発火	化石 化学 文化 化粧 化身 権化 化ける お化け 化かす
			仮病 仮の住まい 仮に 仮処分	可否 可能 許可	火影 火花 炭火	下ろす 書き下ろし 下さる
			仮面 仮定 仮装	加える 加わる		下りる
			仮名		↑↓灯	↑↓卸す ↓降ろす ↑降りる

[illegible][illegible]

[illegible]

[illegible][illegible]

「各々」とも書く

町

[illegible]

																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														</	
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

カン																						
関	管		慣			漢	感	幹	寛	勸	閑	間							款	棺	敢	
(關)			(漢)						(寛)	(勸)												
4	4		5	3	3			5				2										
カン	くだ	カン	ならす	なれる	カン	カン	カン	みき	カン	カン	すすめる	カン	カン	ま	あいだ	ケン	カン	カン	カン	カン	かわる	かえる
関節	管	管理	慣らす	慣れる	慣例	漢字	感心	幹線	寛大	勧誘	閑静	間	間柄	世間	間隔	定款	棺おけ	敢然	換わる	換える		
関係		管制		慣れ	慣性	漢語	感覚	幹事	寛容	勧奨	閑却	間違う	人間	人間	中間	借款	石棺	果敢				
関する		鉄管			習慣	門外漢	直感	根幹	寛厳	勧告	繁閑	客間			時間	落款	出棺	勇敢				

<div> <div> <div>含</div> <div>丸鑑艦観簡環館還憾</div> <div> <div>ガ</div> <div>ン</div> </div> </div> <div> <div>緩監歡</div> <div> <div>緩</div> <div>監</div> <div>歡</div> </div> <div> <div>緩</div> <div>監</div> <div>歡</div> </div> </div> </div>																
<div> <div> <div>2</div> <div>4</div> <div>6</div> <div>3</div> </div> <div> <div>ガ</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> </div> </div>																
<div> <div>ふくめる</div> <div>ふくむ</div> <div>ガン</div> <div>まるめる</div> <div>まるい</div> <div>まる</div> <div>ガ</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>カン</div> <div>せき</div> </div>																
<div> <div>含める</div> <div>含む</div> <div>含有</div> <div>丸める</div> <div>丸い</div> <div>丸太</div> <div>丸薬</div> <div>鑑賞</div> <div>艦船</div> <div>観察</div> <div>簡単</div> <div>環状</div> <div>館内</div> <div>還元</div> <div>遺憾</div> <div>緩める</div> <div>緩む</div> <div>緩い</div> <div>緩やかだ</div> <div>緩和</div> <div>監視</div> <div>歓迎</div> <div>関</div> </div>																
<div> <div>含み</div> <div>含蓄</div> <div>弾丸</div> <div>鑑定</div> <div>艦隊</div> <div>客観</div> <div>簡易</div> <div>環境</div> <div>旅館</div> <div>生還</div> <div>遺憾</div> <div>緩み</div> <div>緩やかだ</div> <div>緩慢</div> <div>監督</div> <div>歡声</div> <div>関取</div> </div>																
<div> <div>包含</div> <div>丸さ</div> <div>砲丸</div> <div>年鑑</div> <div>軍艦</div> <div>壯観</div> <div>書簡</div> <div>循環</div> <div>図書館</div> <div>返還</div> <div>緩急</div> <div>總監</div> <div>交歓</div> <div>関の山</div> </div>																

キ											ガン											
希岐	気(氣)	机		危	企	願	顔	頑	眼	岩	岸											
4	1	6		6		4	2		5	2	3											
キ	キ	ケ	キ	つくえ	キ	あやぶむ	あやうい	あぶない	くわだてる	キ	ねがう	ガン	かお	ガン	ガン	まなこ	ゲン	ガン	いわ	ガン	きし	ガン
希望	岐路	気配	気体	机上	机	危ぶむ	危うい	危ない	危険	企てる	企画	願う	願望	顔面	頑強	眼	開眼	眼球	岩	岩石	岸	岸壁
希少	分岐	気色	気候	机辺		危うく	危がる	危害	安危	企て	企図	願い	祈願	童顔	頑健	どんぐり	眼力	岩場	岩塩	向こう岸	対岸	
希薄	多岐	火の気	元氣								企業	願わしい	志願	厚顔	頑固	血眼	主眼	火成岩			彼岸	
		意気地												笑顔			眼鏡				河岸	

忌	汽	奇	祈	季	紀	軌	既	記	起	飢	鬼	帰
			(祈)				(既)					(歸)
	2			4	4			2	3			2
キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
いむ	いまわしい		いのる			すでに	しるす	おきる	おこる	おこす	うえる	おに
忌避	汽車	奇襲	祈願	季節	紀行	軌道	既成	記入	起立	飢餓	鬼神	帰還
忌中	汽船	奇数	祈念	四季	紀元	広軌	既婚	記号	起源	飢え	鬼才	帰納
禁忌	汽笛	珍奇		雨季	風紀	常軌	既往症	伝記	奮起		餓鬼	復帰
									早起き		赤鬼	
									起こる	起こす		
									記す			

↑興す
↑興る

数奇屋

[illegible]

[illegible]

朽	吸	休旧 (舊)	丘	弓	及	久
	6	1 5		2		5
くちる	キュウ	キュウ	おか	キュウ	および	キュウ
キユウ	すう	やすむ	キユウ	およぼす	およぶ	ひさしい
		やすまる			キユウ	ク
		やすめる				ここのつ
						ここの
						ク
						ひさしい
						および
						およぶ
						およぼす
						キュウ
						ゆみ
						おか
						キュウ
						キユウ
						やすむ
						やすまる
						やすめる
						キュウ
						すう
						キユウ
						くちる

[illegible]

[illegible]

狭(狹)	恭	胸	脅	強
はさむ	キヨウ	キヨウ	キヨウ	キヨウ
はさまる	おそれる	おそれる	おどす	おどかす
せまい	おそろしい	おそろしい	おびやかす	ゴウ
せばめる	うやうやしい	うやうやしい	おどす	つよい
せばまる	キヨウ	キヨウ	おどかす	つよまる
キヨウ	おそれる	おそれる	おどかす	つよめる
挟む	恐怖	恭賀	胸板	強弱
挟まる	恐縮	恭順	胸毛	強要
狭量	恐れる	恭しい	胸騒ぎ	勉強
広狹	恐れ	胸囲	脅迫	強引
偏狹	恐らく	胸中	脅威	強情
狭い		度胸	脅かす	強盗
狭苦しい			脅す	強い
狭める			脅し	強がる
狭まる			脅し文句	強まる
			脅かす	強める

[illegible]

キン										キン		
吟	襟	謹	緊	禁	筋	琴	勤	菌	金	近	均	
	+	(謹)					(勤)					
			5		6		6		1	2	5	
ギン	えり	キン	キン	キン	キン	キン	キン	かな	コン	ちかい	キン	キン
吟味	襟度	謹む	緊張	禁止	筋肉	琴線	勤行	金物	金色	近い	均等	
詩吟	襟首	謹んで	緊密	禁煙	筋骨	木琴	勤勉	金具	金剛力	近づく	均一	
苦吟	胸襟	謹呈	緊急	厳禁	鉄筋	手風琴	出勤	金縛り	黄金	近道	平均	

↑
慎む

↑
努める
務める

グ										ク			
偶	遇	偶	空	愚	具	驅	句	区	銀	苦	句	区	銀
						(驅)		(區)					
			1		3					3	5	3	3
グウ	グウ	グウ	クウ	グ	グ	ク	にが	にがい	くる	ク	ク	ク	ギン
偶	遇	偶	空	愚	具	驅	苦	苦	苦	苦	苦	苦	銀
境	遇	偶	空	愚	具	驅	苦	苦	苦	苦	苦	苦	銀
一	偶	偶	空	愚	具	驅	苦	苦	苦	苦	苦	苦	銀
隅	遇	偶	空	愚	具	驅	苦	苦	苦	苦	苦	苦	銀

↑
開く
明ける

[illegible][illegible]

ケイ		ケイ		ケイ		ケイ		ケイ		ケイ		ケイ		ケイ		ケイ	
憩		慶		繼 (繼)		携		傾		輕 (輕)		景		敬		螢 (螢)	
3		3		3		3		3		3		4		6		+	
いこう		いこい		ケイ		つぐ		ケイ		たずさえる		たずさわる		ケイ		ほたる	
憩う		憩い		休憩		慶弔		慶祝		慶賀		継ぐ		継ぎ		継承	
継続		継承		中継		携わる		携える		携帯		必携		提携		傾ける	
傾斜		傾倒		傾向		傾く		傾き		軽やかだ		軽快		軽薄		軽率	
景気		風景		光景		敬意		敬服		尊敬		螢光灯		螢光塗料		経費	
経文		お経		写経		経る		経文		経済		経験		読経		景色	

ケツ		ケツ		ケツ		ケツ		ケツ		ケツ		ケツ		ケツ		ケツ	
決		血		穴		欠 (缺)		激		撃 (撃)		劇		鯨		迎	
3		3		6		4		6		6		6		4		4	
きまる		きめる		ケツ		あな		ケツ		かく		かける		ケツ		はげしい	
決裂		決意		解決		決める		取り決		決まり		血液		血統		鮮血	
穴居		墓穴		欠く		欠ける		欠乏		欠席		補欠		激しい		激しさ	
激動		感激		激する		撃つ		早撃ち		撃退		攻撃		打撃		劇薬	
劇場		演劇		鯨油		捕鯨		迎える		出迎え		芸術		芸能		文芸	
警告		警戒		警察		鶏卵		鶏舎		養鶏		芸能		文芸		討つ	

[illegible]

ケン 元		懸		(験) (顯) 驗(顯)		謙繭		憲賢		(權) 権		遣		絹	ケン
2				4				6		6				6	
ガン	ゲン	かかる	かける	ケン	ケン	まゆ	ケン	かしこい	ケン	ゴン	ケン	つかう	きぬ	ケン	コン
元素	元祖	懸かる	懸ける	懸念	懸垂	試験	顕著	謙虚	賢人	権利	遣わす	遣外	絹布	献立	
元日	元氣	命懸け	懸賞	懸想	懸ある	経験	顕彰	謙讓	賢明	權威	金遣い	派遣	薄絹	一猷	
多元	来			実験	霊験	実験	顕微鏡		先賢	人權		分遣			
		↑掛ける架かる	↑掛ける架かる								↓使う				

幻	玄言	弦	限	原	現	減	源	嚴(嚴)
もと	ゲン	ゲン	ゲン	ゲン	ゲン	ゲン	ゲン	ゲン
まぼろし	ゲン	ゴン	いう	こと	つる	かきる	はら	あらわれる
あらわす	あらわす	あらわす	あらわす	あらわす	あらわす	あらわす	あらわす	あらわす
幻滅	幻覚	夢幻	元帳	家元	元	元	元	元
玄米	玄関	幽玄	玄人	玄	玄	玄	玄	玄
言行	言論	宣言	言上	伝言	無言	言う	言葉	寝言
弦	上弦	正弦	限度	制限	期限	限る	限り	原因
原因	原理	高原	原野	松原	現象	現在	表現	現象
現れる	現れ	現す	減少	増減	加減	減る	目減り	減らす
源泉	水源	資源	源	源	源	源	源	源
厳格	嚴重	威嚴	厳	嚴	嚴	嚴	嚴	嚴
↓下本基	↓表れる	↓表す	↓表す	↓表す	↓表す	↓表す	↓表す	↓表す

6

—

求鹿

個

5

7

相一才相一固

五月晴れ
五月雨

[illegible][illegible]

攻抗孝坑

行考江

好^{コウ}后

6					2		2		4		6														
せめる	コウ	コウ	コウ	コウ	おこなう	ゆく	いく	アン	ギョウ	コウ	かんがえる	2	コウ	え	コウ	すく	このむ	4	コウ	6	コウ	むこう	むかう	むける	むく
攻める	攻守	抗争	孝行	坑道	行 [↑] う	行く	行く	行 [↑] 脚	行列	行進	考慮	入 [↑] り江	江湖	好 [↑] く	好む	好意	皇后	向 [↑] こう	向かう	向ける	向く	向 [↑] き	顔向け		
	攻撃	抗議	孝心	炭坑	行い	行く末		行火	行政	行為	思考			好き嫌い	好み	好敵手	皇太后	向こう側	向かい						
	専攻	対抗	不孝	廃坑					修行	旅行	参考			好きな絵	好ましい	良好									

行方
逝く

紅

皇

洪⁺恒(恆)

厚侯肯拘

幸

効(效)

更

6	6		5		3	5														
くれない	べに	ク	コウ	オウ	コウ	コウ	あつい	コウ	コウ	コウ	しあわせ	さち	さいわい	コウ	きく	コウ	ふかす	ふける	さら	コウ
紅	紅口紅	真紅	紅白	法皇	皇帝	洪水	恒常	厚い	厚情	諸侯	肯定	拘束	幸せ	幸	幸福	効く	更かす	更ける	更新	更新
		深紅	紅茶		皇室	洪積層	恒例	厚み	厚生	王侯	首肯	拘留	幸せな人		不幸	効き目	夜更かし	夜更け	今更	更迭
			紅葉		皇后		恒久		濃厚			拘置			行幸	時効			変更	

「天皇」は、
「テンノウ」
紅葉も

利く

荒						郊香				候校耕航貢降			
コウ						コウ				コウ			
あら						キョウ				コウ			
荒天 荒廃 荒涼						香り 色香 移り香				候補 気候 測候所			
荒い 荒波 荒々しい						香る				校閱 将校 学校			
荒れる 荒れ地 大荒れ						香水 香氣 線香				耕作 耕地 農耕			
荒らす 倉庫荒らし						香車				航海 航空 就航			
郊外 近郊						年貢 貢ぎ物				貢献 航空 就航			
降りる 降り						降雨 降参 下降				降りる 降り			
おろす						降ろす				降りる 降り			
ふる						降る 大降り				降りる 降り			
粗い						↓下りる				↓下ろす			
↓粗い						↓下ろす				↓下ろす			

高		康控		黄(黄)		慌		港		硬		絞	
2		4		2		3							
コウ	たかい	コウ	たかめる	コウ	ひかえる	コウ	あわてる	コウ	あわたましい	みなと	コウ	かたい	コウ
高低	高い	健康	高める	黄葉	控える	恐慌	慌てる	港	しき	硬度	絞る	絞める	絞まる
高級	高台	小康	高まり	卵黄	控え	大慌	大慌	漁港	慌た	硬貨	絞り上げる	絞める	絞まる
最高	高ぶる			黄ばむ		慌た	慌た	出港	慌た	生硬	絞り	絞める	絞まる

[illegible]

壘		魂紺		混婚		根		恨昆		困		今	込
												コ	こ
												ン	む
												今	込
												2	
												キン	こむ
												こめる	ほね
												コン	
												いま	
												こまる	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
												コン	
								</					

[illegible]

殺(殺)	4	サツ	する	刷る
殺		サイ		殺人
殺		セツ		殺到
殺す		ころす		黙殺
撮	4	サツ		殺生
撮		サツ		殺す
察		サツ		殺し
		とる		見殺し
擦		サツ		察知
		する		観察
		する		考察
		サツ		撮る
		する		撮影
		サツ		擦る
		する		擦過傷
		サツ		摩擦
		する		擦る
		サツ		擦り傷
		する		擦れる
		サツ		靴擦れ
雑(雑)	5	ザツ		雑談
雑		ゾウ		雑音
皿	3	さら		混雑
皿		サツ		雑炊
皿		サツ		雑木林
皿		サツ		雑兵
皿		サツ		灰皿
三	1	サン		三角
三		サン		三流
三		サン		再三
三		サン		三日月三日(みっか)
三		サン		三つ指
三		サン		三つ
山	1	サン		山脈
山		サン		高山
山		サン		登山
参(参)	4	サン		山
参		サン		参加
参		サン		参万円
参		サン		降参
参		サン		参る
参		サン		寺参り
栈(栈)	+	サン		栈
栈		サン		栈橋
栈		サン		栈敷
蚕(蚕)	6	サン		蚕糸
蚕		サン		蚕食
蚕		サン		養蚕

[illegible]

シ

始 刺 使 私 志 伺 至 糸 (糸) 死 旨 矢

3 3 6 5 6 1 3 2

シ ささる さす シ つかう シ わたくし シ こころざし シ こころざす シ うかがう シ いたる シ いと シ しぬ シ むね シ や シ

始終 年始 開始 刺さる 刺す 刺し殺す 刺激 名刺 風刺 使う 使い 使役 使者 駆使 私 私する 私立 私腹 公私 志 志す 志望 有志 寸志 伺 う 伺い 伺候 至る 至って〔副〕 至当 夏至 冬至 糸 糸目 毛糸 綿糸 蚕糸 製糸 死ぬ 死に絶える 死亡 死角 必死 旨 要旨 趣旨 本旨 矢 矢印 矢面 一矢を報いる

↑差す 挿す
↑遣う

脂 紙師 施 指 思 姿 肢 (社) 枝 姉

2 5 3 2 6 5 2

あぶら シ かみ シ シ ほどこす セ シ さす ゆび シ おもう シ すがた シ シ シ えだ シ あね シ はじまる はじめる

脂 脂肪 油脂 樹脂 紙 紙くず 厚紙 紙面 用紙 新聞紙 師匠 教師 医師 施す 施し 施設 施政 実施 施主 施療 布施 指す 指図 名指し 指 指先 指示 指導 屈指 思う 思い 思わしい 思想 意思 相思 姿 姿勢 容姿 雄姿 肢体 下肢 選択肢 福祉 枝 枝葉 姉 姉上 姉妹 諸姉 始まる 始まり 始める 始め

↑油 師走 ↑差す 挿す 姉さん ↑初めて

シ														
シ														
示 諮 賜 雌 誌 飼 資 詩 試 嗣 齒 詞 紫 視														
(視)														
(齒)														
5 6 5 5 3 4 3 6 6														
ジ はかる シ たまわる シ めす めシ シ かう シ シ シ ためす こころみる シ シ は シ シ むらさき シ シ														
示 諮 諮 賜 賜 雌 雌 雌 誌 飼 飼 資 詩 試 試 嗣 齒 齒 歌 紫 紫 視														
威 威 問 暇 暇 犬 花 雄 面 う 育 本 情 す みる 子 科 詞 紺 紺 覚														
示 示 諮 下 下 雌 雌 雌 日 飼 飼 資 詩 試 試 嫡 乳 作 紫 紫 視														
談 談 問 賜 賜 犬 牛 伏 誌 料 格 人 し 嗣 齒 詞 色 煙 力														
指 指 恩 雌 し 雑 物 詩 試 追 義 品 紫 紫 注														
示 示 賜 べ 誌 資 歌 試 試 試 齒 詞 色 煙 視														

「詩歌」は、
「シイカ」と
も

祝詞

侍 事 児 似 自 耳 次 寺 字														
(兒)														
3 4 5 2 1 3 2 1														
ジ こと ズ ジ ニ ジ みる みる ジ つぎ つぐ シ ジ てら ジ あざ ジ しめす														
侍 事 好 事 小 児 似 類 自 自 耳 耳 次 次 次 寺 寺 字 字 示 示														
従 仕 事 家 児 科 似 似 然 然 早 鼻 次 次 次 尼 院 画 画 唆														
女 事 出 無 幼 顔 似 自 自 耳 科 中 次 次 次 寺 社 文 文 示														
医 来 事 事 事 良 似 自 自 耳 中 々 々 々 末 寺 字 字 し														
示 示 示 示 示 示 示 示 示 示 示 示 示 示 示														

稚児

↓ 継ぐ

[illegible][illegible]

[illegible]

珠	酒	種	趣	寿	受	授	需	儒	樹	収
3	3	4		3	3	5	6	6	6	6
こと	シユ	シユ	シユ	シユ	シユ	シユ	シユ	シユ	シユ	シユウ
こと	さけ	さか	たね	おもむき	ことぶき	うける	うかる	さずける	さずかる	おさめる
殊に	珠玉	酒屋	趣向	壽命	受諾	授与	需要	儒学	樹木	収穫
殊の外	珠算	酒場	趣味	長寿	受験	伝授	需給	儒教	樹立	収入
殊更	真珠	酒盛	興趣	米寿	甘受	教授	必需品	儒者	街路樹	回収
数珠	お神酒									
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
納まる	納める	納まる	納める	納まる	納める	納まる	納める	納まる	納める	納まる

		修		臭(臭)		秋		拾		宗		周		秀		舟		州 ^{シュウ} 囚	
		5				2		3		6		4						3	
おさまる		シュウ		あき		ひろう		ソウ		まわり		ひいでる		ふね		す		シュウ	
おさめる		くさい		臭気		秋季		拾得		宗教		周知		秀逸		舟運		州議会	
修まる		臭い		臭気		拾う		宗家		周り		秀でる		舟遊び		舟艇		中州	
		臭み		悪臭		秋分		収拾		宗派		周囲		秀才		渡し舟		三角州	
		臭さ		俗臭		晩秋		拾万円		改宗		円周		優秀		舟歌			
↑治まる										↑回り				↑船					
↑治める																			

襲		醜		酬		愁		集		衆		就		週		習		終	
								3		6		6		2		3		3	
シュウ		うれい		うれえる		つどう		あつまる		シュウ		つく		シュウ		ならう		おわる	
襲撃		醜い		愁い		集う		集める		衆生		就く		週刊		習う		終る	
襲名		醜態		愁傷		集い		人集め		民衆		成就		週末		手習い		終わり	
世襲		美醜		憂愁		憂愁		集まり		聴衆		去就		毎週		練習		最終	
				↑憂える								↑着く				↑倣う			
				↑憂い								↑着ける							
												↑付ける							

[illegible]

↑
↓
始め

唱		笑称祥症 (稱)(祥)					消将 (將)		宵昭		沼		松		昇		シヨウ承	
4		4					3 6		3				4				5	
シヨウ		えむ わらう シヨウ シヨウ シヨウ シヨウ					けす きえる シヨウ シヨウ		よい シヨウ シヨウ		ぬま シヨウ シヨウ		まつ シヨウ		のぼる シヨウ		うけたまわる シヨウ	
唱歌		ほくそ笑む 笑う 笑覧 称賛 発祥 症状					消滅 消える 消す		将来 消極的 消しゴム		沼沢 沼地		松竹梅 松原 門松		昇る 昇降 昇進		招く 招き	
合唱		大笑い 微笑 名称 吉祥 炎症					立ち消え 費消 大将				湖沼		白砂青松		上昇 上昇		承諾 継承	
提唱		談笑 称する 不祥事 重症																
笑顔		↑ 登る ↑ 上る																

詔粧硝			焦			焼晶掌 (焼)			勝訟紹章			渉 (渉)			商																													
						4			3			3			3																													
ショウ	ショウ	ショウ	あせる	こがれる	こがす	こげる	ショウ	やける	やく	ショウ	ショウ	ショウ	まさる	かつ	ショウ	ショウ	ショウ	ショウ	あきなう	となえる																								
詔勅	詔書	化粧	硝石	硝酸	焦る	焦り	焦がれる	焦がす	焦土	焦慮	焦心	焦げる	黒焦げ	焼ける	夕焼け	焼却	燃焼	全焼	結晶	水晶	掌中	職掌	車掌	勝る	男勝り	勝つ	勝ち	勝手	勝敗	優勝	名勝	訴訟	紹介	憲章	勲章	文章	渉外	干涉	交渉	商う	商い	商業	貿易商	唱える

[illegible][illegible]

		常 ^{ジョウ} 剩 ^ウ (剩)		情		場		暈 ^{ヨウ} (疊)		蒸		繩 ^{ジョウ} (繩)		壤 ^{ジョウ} (壤)		孃 ^{ジョウ} (嬢)		錠 ^{ジョウ}		讓 ^{ジョウ} (讓)		釀 ^{ジョウ} (釀)	
		5		5		2				6				+									
		ジョウ		ジョウ		ジョウ		ジョウ		ジョウ		ジョウ		ジョウ		ジョウ		ジョウ		ジョウ		ジョウ	
		つね		セイ		なさけ		ば		たたむ		むす		むれる		むらす		なわ		ジョウ		ジョウ	
		常備		情報		場内		暈語		蒸気		縄文		土壌		令嬢		錠前		譲渡		釀造	
		常備		情報		会場		重暈		蒸気		自縄		愛嬢		錠剤		譲歩		親譲り		釀成	
		日常		情熱		入場		折り暈み		蒸し暑い		自縛		お嬢さん		手錠		謙譲					
		非常		人情		広場		青暈															
		余剰																					
		過剰																					
		余剰																					

		食		植		殖		飾		觸 ^{ショク} (觸)		囑 ^{ショク} (囑)		織	
		2		3								5			
		シキ		シヨク		シヨク		シヨク		シヨク		シヨク		シキ	
		かもす		たべる		うわる		ふやす		かざる		さわる		シキ	
		食す		植樹		殖える		裝飾		触媒		囑託		組織	
		食す		植物		殖える		修飾		触発		委囑		染織	
		食物		誤植		学殖		服飾		接触		紡織			
		断食													
		食事													
		食料													
		会食													
		色													
		色彩													
		色調													
		色欲													
		色づく													

景色

↑増える

↓増やす

[illegible]

進紳	深	針	真(眞)	浸	振娠	唇			
3	3	6	3						
シン シン ふかめる ふかまる ふかい	シン はり シン	シン	ま シン ひたる ひたす シン	ふるう ふる シン	シン シン くちびる	シン こう かん	かみ ジン		
進級 進言 前進	紳士 深める 深まる 深い 深山 深夜 水深	針路 運針 秒針 針金	先 真ん中 真偽 写真 純真 真南 真新しい 真っ 真つ赤	浸る 浸す 水浸し 浸水 浸透	振るう 振る 振り 振動 振興 不振	妊娠 唇 口唇 神々しい 神主 神様 貧乏神 神社 神宮 神通力			

親		薪		震		審		新		慎(愼)		寢(寢)		診		森	
2		2		2		2		2		2		1		1		1	
おや	シン	たきぎ	シン	ふるう	シン	ふるう	シン	あらた	シン	あたらしい	つつしむ	シン	ねかす	ねる	シン	みる	シン

スイ	水	吹	垂	炊	帥	粹	衰	推	酔	遂	睡	穂	鍾
1			6					6					
スイ	みず	スイ	ふく	スイ	たれる	たらず	炊	炊	炊	炊	炊	炊	炊
水分	水色	水陸	海水	吹奏	吹鳴	鼓吹	吹く	垂直	懸垂	胃下垂	下垂	垂れる	雨垂れ
炊事	自炊	雑炊	炊く	炊事	炊く	炊事	炊く	炊事	炊く	炊事	炊く	炊事	炊く
炊事	飯炊き	炊事	炊く	炊事	炊く	炊事	炊く	炊事	炊く	炊事	炊く	炊事	炊く
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事
炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事	炊事</					

スイーセイ										ス
随	髓	枢	崇	数	据	杉	寸	畝	世	井
2										
ス	ズイ	ズイ	スウ	スウ	スウ	スウ	スウ	スウ	スウ	スウ
随	髓	枢	崇	数	据	杉	寸	畝	世	井
随	髓	枢	崇	数	据	杉	寸	畝	世	井
随	髓	枢	崇	数	据	杉	寸	畝	世	井

数珠
数寄屋・数
奇屋
「人数」は、
「ニンズウ」
とも
↑座る

西		成		生										正							
2		4		1										1							
サイ	セイ	なす	なる	セイ	なま	き	はやす	はえる	おう	うむ	うまれる	いける	いかす	いきる	シヨウ	セイ	まさ	ただす	ただしい	シヨウ	セイ
西国	西暦	成す	成る	成就	成功	生の野菜	生糸	生える	生い立ち	生む	生まれる	生ける	生かす	生きる	生滅	生活	正に	正す	正しい	正直	正義
東西	西部	成し遂げる	成り立つ	成仏	完成	生水	生地	芽生える	生い茂る		生まれ	生け捕り			誕生	発生	正夢		正しさ	正面	正誤
	北西				賛成	生々しい	生一本								先生					正月	訂正
										↑産む	↑産まれる	芝生									

牲	星	政	齊(齊)	青	性	征	姓	制	声(聲)
	2	5	5	1	5		5		2
セイ	ほし セイ	まつりごと セイ	セイ	セイ	セイ	セイ	セイ	セイ	こえ こわ セイ
	シヨウ	シヨウ		シヨウ	シヨウ	シヨウ	シヨウ		シヨウ
犠牲	星 黒星	政	齊唱	青天	性質	征服	姓名	制度	声色
		摂政	一斉	緑青	性分	遠征	改姓	制限	声 呼び声
		行政	家政	紺青	相性	出征	同姓	統制	歌声
				群青	根性				名声
				青ざめる	男性				
			青い	青銅	理性				
			青さ	青年	男性				

真っ青

セイ
省

4

セイ

シヨウ

かえりみる

はぶく

逝⁺

セイ

ゆく

清

4

セイ

シヨウ

きよい

きよまる

きよめる

盛

6

セイ

シヨウ

もる

さかる

さかん

婿

セイ

むこ

晴

2

セイ

はれる

はらす

勢

5

セイ

いきおい

反省 内省 帰省

省略 各省

省みる

省く

逝去 急逝 長逝

逝く

清潔 清算 肅清

六根清浄

清い 清らかだ

清まる

清める

盛大 隆盛 全盛

繁盛

盛る 盛り上がる

燃え盛る 盛り 花盛り

盛んだ 盛んに

女婿

婿 花婿

晴天 晴雨 快晴

晴れる 晴れ 晴れやかだ

晴らす 気晴らし

勢力 優勢 情勢

勢い

↑顧みる

↑行く

清水

聖

6

セイ

聖書 聖人 神聖

誠

6

セイ

まこと

誠実 誠意 至誠

精

5

セイ

精米 精密 精力

製

5

セイ

製造 製鉄 鉄製

誓

5

セイ

誓約 誓詞 宣誓

静(靜)

4

セイ

シヨウ

静脈 静止 静穏 安静

しず

しずか

しずまる

しずめる

セイ

シン

こう

うける

セイ

ととのえる

ととのう

ゼイ

セキ

誠 誠に

精進 不精

製造 製鉄 鉄製

誓う 誓い

誓う 誓い

静々 静けさ

静かだ

静まる

静める

請求 請願 申請

普請

請う

請ける 請負 下請け

整理 整列 調整

整える

整う

税金 免税 関税

今夕 一朝一夕

七夕

↑鎮まる

↑鎮める 沈める

↑受ける

↑調える

↑調う

セイ
セキ
夕税

整

請

静(靜)

誓

製

精

誠

聖

[illegible]

戦	船	旋	栓	扇		染	洗	浅	泉	専	宣				
(戦)			+					(浅)		(専)					
4	2					6	6	4	6	6	6				
いくさ セン	ふね セン	セン	セン	おうぎ セン	しみ セン	そめる セン	あらう セン	あさい セン	いずみ セン	もつばら セン	セン				
戦 勝ち戦	船 大船 親船	船舶 乗船 汽船	旋回 旋律 周旋	栓 給水栓 消火栓	扇子 扇風機 扇状地	染みる 油染みる	染まる	染色 染料 汚染	染める 染め物	洗面 洗練 洗剤	洗い 浅瀬 遠浅	浅薄 浅学 深浅	泉 源泉 温泉	専門 専属 専用	宣言 宣誓 宣伝

[illegible]

送	倉	搜(搜)	挿(插)	桑	掃	曹	窠	創	喪	葬	装(装)
3	4		+			+	4	6	6		6
ソウ	ソウ	ソウ	ソウ	ソウ	ソウ	ソウ	ソウ	ソウ	ソウ	ソウ	ソウ
おく	くら	さがす	さす	くわ	はく	す	まど	も	ほうむる	シヨウ	ウ
送別	倉庫	搜索	挿入	桑園	掃除	法曹	窠箱	創造	喪失	葬儀	装置
放送	穀倉	捜査	挿話	桑畑	清掃	法曹界	巣立	独創	喪服	埋葬	服装
運送			挿し木		一掃	陸曹	窠立	刀創	喪主	会葬	変装
↑贈る	↑蔵	↑探す	↑差す								

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

タッ				タク				タク				タク				タイ			
脱達但				濁諾濯託拓卓				沢沢宅滝題第				台				台			
								(澤)(擇)(瀧)(瀧)				(臺)							
4								6				3				3			
ぬげる	ぬぐ	タッ	タッ	ただし	にごす	にごる	タク	タク	タク	タク	タク	タク	タク	タク	タク	タイ	タイ	タイ	しろ
脱げる	脱ぐ	脱衣	達人	但し	濁す	濁る	濁流	諾否	洗濯	託宣	拓本	卓越	沢	光沢	選択	宅地	滝	題名	第一
		脱出	調達	但し書き		濁り	濁音	承諾		委託	開拓	卓球		潤沢	採択	自宅	滝つぼ	問題	第三者
		虚脱	伝達			清濁	快諾		結託			食卓			二者択一	帰宅		出題	及第
友達																			

端				嘆(嘆)				短				淡				探胆(膽)			
3				6				3				4				6			
は	はし	タン	なげ	なげく	タン	みじかい	タン	あわい	タン	さがす	さぐる	タン	タン	すみ	タン	タン	になう	かつぐ	タン
端数	端片端	端正	嘆かわしい	嘆く	嘆息	短い	短歌	淡い	淡水	探す	探る	探求	大胆	炭	炭	単独	担う	担当	丹念
半端		末端		嘆き	嘆願		短所	淡雪	濃淡		探り	探訪	落胆	炭火	炭	単位		担架	丹精
軒端		極端			驚嘆		長短		冷淡			探知	魂胆	消し炭	石炭	簡単		負担	大陸棚

談	暖				彈 (彈)		斷 段 (斷)		男	団 (團)	鍛 誕	
	3	6				5	6	5	1	5	6	
ダン	あたためる	あたたまる	あたたかい	あたたか	ダン	たつ	おとこ	きたえる	ナン	ダン	タン	はた
談話 談判 相談	暖める	暖まる	暖かい	暖かだ	弾む 弾み	断つ 断る	男 男らしい	鍛える 鍛え方	男子 男女 男性	布団 団地 集団	誕生 生誕	端川端 道端
	↑温める	↑温まる	↑温かい	↑温か	↑引く	↑絶つ						

痴 (癡)	遅 (遲)				致		恥	値	知	池	地	壇
	チ	チ				チ	チ	6	2	2	2	チ
チ	おそい	おくらす	おくれる	いたす	はじ	はじ	あたい	ね	しる	いけ	ジ	ダン
痴情 愚痴	遅い 遅咲き	遅らす	遅れる 遅れ	遅延 遅刻 遅速	誘致 合致 風致	恥じる 恥じ入る	恥辱 無恥 破廉恥	値 値段 値する	知る 物知り	池 古池	貯水池 電池	壇上 花壇 文壇
			↑後れる					↑価			心地 意気地	

[illegible]

貯		丁		弔		庁(廳)		町		長		挑		帳張		彫		眺		釣	
チヨ		チヨウ				チヨウ		チヨウ		チヨウ		チヨウ		チヨウ		チヨウ		チヨウ		チヨウ	
4		3				6		1		2		3		5							
チヨ		チヨウ		チヨウ		チヨウ		チヨウ		チヨウ		チヨウ		チヨウ		チヨウ		チヨウ		チヨウ	
貯蓄		丁数		弔問		庁舎		兆し		町会		挑戦		帳面		彫刻		眺望		釣果	
貯金		落丁		弔辞		官庁		兆す		市町村		挑発		帳簿		彫塑		眺める		釣魚	
貯水池		二丁目		慶弔		県庁		億兆				成長		通帳		木彫		眺め		釣艇	
										街		永い		蚊帳							

[illegible]

弟廷

宗

逌(逌) 逌(逌) 逌(逌) 逌(逌)

庭訂帝貞亭邸抵

底

定

弟廷

堤防	偵察	停止	逋信	庭	庭園	訂正	帝王	貞淑	亭主	邸宅	抵抗	底	底流	定かだ	定まる	定める	定石	定価	弟子	兄弟	弟妹	宮廷
防波堤	探偵	停車	逋送	庭先	校庭	改訂	帝国	貞操	料亭	邸内	抵触	奥底	海底			定め	定紋	安定			義弟	法廷
	内偵	調停	逋減		家庭		皇帝	貞節		私邸	大抵		到底				必定	決定			子弟	出廷

滴

摘

笛

的

泥

締艇

程

提

堤	提供	提案	前提	提げる	手提げ	程度	日程	過程	程	程遠い	身の程	艦艇	舟艇	競艇	締結	締まる	締まり	締める	締め切る	引き締め	泥土	雲泥	拘泥	泥	泥沼	泥棒	的中	目的	科学的	的	的外れ	汽笛	警笛	牧笛	笛	口笛	摘要	摘発	指摘	摘む	摘み草	水滴	点滴	一滴	滴	滴る	滴り	適切	適度	快適	敵	敵意	匹敵	敵役	商売敵
---	----	----	----	-----	-----	----	----	----	---	-----	-----	----	----	----	----	-----	-----	-----	------	------	----	----	----	---	----	----	----	----	-----	---	-----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	---	----	----	----	-----

絞閉絞閉
 めめまるまる
 るるるる

下げる

[illegible][illegible]

トウ										ド			
投	当(當)	灯(燈)	冬	刀	怒	度	努	奴					
3	2	4	2	2		3	4						
なげる トウ	あてる あたる トウ	ひ トウ	ふゆ トウ	かたな トウ	おこる いかる ド	たび タク ト		つとめる ド	ド	つち	土地	土	
投げる 身投げ	投資 投下 暴投	灯 灯火 電灯 点灯	冬季 冬至 越冬	刀 刀剣 短刀 名刀	怒る 怒り 怒り狂う	度 度重なる この度	怒号 怒気 激怒	努める 努めて〔副〕	制度 限度	法度	支度	度 度重なる この度	土地 赤土
投網	↑充てる	↑火 〔三省堂注 当用漢字字体表の字体「燈」は「灯」と改められた〕		太刀 竹刀				↑勤める 務める					

桃	島	唐	凍	倒	逃	到	東	豆
3	3					2		3
もも トウ	しま トウ	から トウ	こおる トウ	たおす たおれる トウ	のがれる のがす トウ	にげる にがす トウ	ひがし トウ	まめ ズ トウ
桃源境 白桃 桜桃	島 島国 離れ島	唐 唐草模様	凍 凍る 凍り付く 凍える 凍え死に	倒 倒す 倒れる 共倒れ	逃 逃す 見逃す 逃れる 一時逃れ	逃 逃がす 逃げる 夜逃げ	東 東側 到着 到底 周到	豆 豆腐 納豆 大豆 豆粒 煮豆

討	透	党	悼	盜	陶	塔	搭	棟	湯	痘	登	答
トウ	トウ	トウ	トウ	トウ	トウ	トウ	トウ	トウ	トウ	トウ	トウ	トウ
6	6	6	6	6	6	6	6	6	3	3	3	2
討伐	透明	党派	悼辞	盜難	陶器	五重の塔	搭載	棟別棟	湯治	種痘	登山	答弁
討論	透き間	政党	哀悼	盜用	陶醉	石塔	搭乘	湯水	水痘	登校	山登り	応答
検討	浸透	徒党	追悼	強盜	薰陶	搭乘券	病棟	煮え湯	天然痘	登記	問答	
↑ 打つ	↑ 撃つ	↑ 痛む	↑ 傷む	↑ 昇る								

等	筒	統	稻	踏	糖	頭	膳	闘
3	5	6	2	2	2	2	2	2
こたえる こたえ	トウ ひとつ つ	トウ すべる	トウ いね いな	トウ ふむ	トウ ふまえる	トウ ズ	トウ あたま かしら	トウ たたかう
答える 答え	封筒 水管 円筒形	統一 統計 伝統	水稻 陸稻 稲刈り	踏破 踏襲 高踏的	踏む 足踏み	踏まえる	糖分 砂糖 製糖	頭部 年頭 船頭
等しい 等分 等級 平等	筒 筒抜け	統べる	稲作 稲穂	踏破 踏襲 高踏的	踏む 足踏み	踏まえる	頭部 年頭 船頭	頭部 年頭 船頭
音頭	頭金 頭打ち	頭文字 旗頭	膳写 膳本	闘争 闘志 戦闘	闘う 闘い	闘う 闘い	闘う 闘い	闘う 闘い

戦う

[illegible]

[illegible]

[illegible]

俳	配	排	敗	廃	輩	倍	培	陪	媒	買	賠
ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
俳優	配分	排斥	敗北	廃止	輩出	倍率	培養	陪席	媒介	買収	賠償
俳句	交配	排気	腐敗	廃物	同輩	倍加	栽培	陪食	媒体	売買	買物
俳味	心配	排除	失敗	荒廃	先輩	二倍	梅雨	陪審	触媒	購買	

[illegible]

[illegible][illegible]

冒す ↔ 侵す

蜜		番	晩	藩	繁	範	頒	煩		搬	飯	販	般	畔	班	版	板	
(蠻)			(晩)		(繁)													
2		6									4				6	5	3	
バン	バン	バン	ハン	ハン	ハン	ハン	ハン	わ	わ	ボ	ハン	ハン	ハン	ハン	ハン	ハン	いた	バン
								ず	ず	ン								さ
								ら	ら									か
								う	う									

[illegible]

跳ぶ

表	氷	百	姫	筆	泌	必	匹	鼻	微	備	美
3	3	1		3		4		3		5	3
ヒョウ	ヒョウ	ヒャク	ひめ	ヒツ	ヒツ	ヒツ	ヒツ	ビ	ビ	ビ	ビ
ひ	こおり		ふで	かならず	ひき	はな	そなえる	そなわる	うつくしい	お	
表面	氷雨	氷点	百貨店	筆力	分泌	必然	匹敵	鼻音	微細	備考	美しい
代表		氷山	百科全书	筆記		必死	匹夫	鼻孔	微笑	守備	美術
発表		結氷	数百	毛筆		必要	馬匹	耳鼻科	衰微	準備	賛美
			八百屋								
			八百長								

浮氣
浮つく

「富貴」は、
「フツキ」と
も

棧敷
〔三省堂注 当用漢字音訓表にあった訓「はだ」は削除された。なお、「肌」参照〕

部屋

風邪

粉	紛	霧噴	墳憤	奮	分	
フン	フン	フン	フン	フン	フン	フン
もの	こな	まぎらわす	まぎらわしい	ふく	ふく	ふく
4	2	6	2	6	2	6
物	粉	粉	粉	粉	粉	粉
物語	粉	粉	粉	粉	粉	粉
品物	粉	粉	粉	粉	粉	粉
果物	粉	粉	粉	粉	粉	粉
粉末	粉	粉	粉	粉	粉	粉
粉砕	粉	粉	粉	粉	粉	粉
粉飾	粉	粉	粉	粉	粉	粉
小麦粉	粉	粉	粉	粉	粉	粉
粉雪	粉	粉	粉	粉	粉	粉
紛失	紛	紛	紛	紛	紛	紛
紛争	紛	紛	紛	紛	紛	紛
内紛	紛	紛	紛	紛	紛	紛
紛れる	紛	紛	紛	紛	紛	紛
紛らす	紛	紛	紛	紛	紛	紛
紛らわす	紛	紛	紛	紛	紛	紛
紛らわしい	紛	紛	紛	紛	紛	紛
霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧
囀	霧	霧	霧	霧	霧	霧
噴火	噴	噴	噴	噴	噴	噴
噴出	噴	噴	噴	噴	噴	噴
噴水	噴	噴	噴	噴	噴	噴
噴く	噴	噴	噴	噴	噴	噴
噴き出す	噴	噴	噴	噴	噴	噴
墳墓	墳	墳	墳	墳	墳	墳
古墳	墳	墳	墳	墳	墳	墳
憤慨	憤	憤	憤	憤	憤	憤
義憤	憤	憤	憤	憤	憤	憤
発憤	憤	憤	憤	憤	憤	憤
憤る	憤	憤	憤	憤	憤	憤
憤り	憤	憤	憤	憤	憤	憤
奮起	奮	奮	奮	奮	奮	奮
奮発	奮	奮	奮	奮	奮	奮
興奮	奮	奮	奮	奮	奮	奮
奮う	奮	奮	奮	奮	奮	奮
奮い立つ	奮	奮	奮	奮	奮	奮
奮って(副)	奮	奮	奮	奮	奮	奮
分解	分	分	分	分	分	分
自分	分	分	分	分	分	分
水分	分	分	分	分	分	分
分別	分	分	分	分	分	分
分銅	分	分	分	分	分	分
三十分	分	分	分	分	分	分
一分一厘	分	分	分	分	分	分
五分	分	分	分	分	分	分
分ける	分	分	分	分	分	分
引き分け	分	分	分	分	分	分
分かる	分	分	分	分	分	分
分かる	分	分	分	分	分	分
別れる	分	分	分	分	分	分
振るう	分	分	分	分	分	分
震う	分	分	分	分	分	分
吹く	分	分	分	分	分	分

[illegible]

[illegible]

ボ									
暮	慕	墓	募	母	舗	補	浦	捕	保
6	5			2	6		5		
ボ	したう	ボ	はか	ボ	つる	ボ	はは	ボ	おぎなう
ホ	ホ	ホ	ホ	ホ	ホ	ホ	ホ	ホ	ホ
あゆむ	たもつ	とらえる	とらわれる	とる	つかまえる	つかまる	うら	浦	津々浦々
歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる
捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う
補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母	母	母親	募金	募集
応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う
慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲
捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々
補欠	補充	候補	補う	補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母
母	母親	募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り
慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み
保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物
捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う	補い	舗装
店舗	母性	父母	祖母	母	母親	募金	募集	応募	墓地
墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮
薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕
捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充
候補	補う	補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母	母	母親
募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕
思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存
担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる
浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う	補い	舗装	店舗	母性
父母	祖母	母	母親	募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴
墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春
歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる
捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う
補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母	母	母親	募金	募集
応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う
慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲
捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々
補欠	補充	候補	補う	補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母
母	母親	募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り
慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み
保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物
捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う	補い	舗装
店舗	母性	父母	祖母	母	母親	募金	募集	応募	墓地
墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮
薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕
捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充
候補	補う	補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母	母	母親
募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕
思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存
担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる
浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う	補い	舗装	店舗	母性
父母	祖母	母	母親	募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴
墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春
歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる
捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う
補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母	母	母親	募金	募集
応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う
慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲
捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々
補欠	補充	候補	補う	補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母
母	母親	募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り
慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み
保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物
捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う	補い	舗装
店舗	母性	父母	祖母	母	母親	募金	募集	応募	墓地
墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮
薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕
捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充
候補	補う	補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母	母	母親
募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕
思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存
担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる
浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う	補い	舗装	店舗	母性
父母	祖母	母	母親	募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴
墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春
歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる
捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う
補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母	母	母親	募金	募集
応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う
慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲
捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々
補欠	補充	候補	補う	補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母
母	母親	募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り
慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み
保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物
捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う	補い	舗装
店舗	母性	父母	祖母	母	母親	募金	募集	応募	墓地
墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮
薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕
捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充
候補	補う	補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母	母	母親
募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕
思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存
担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる
浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う	補い	舗装	店舗	母性
父母	祖母	母	母親	募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴
墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春
歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる
捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う
補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母	母	母親	募金	募集
応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う
慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲
捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々
補欠	補充	候補	補う	補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母
母	母親	募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り
慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み
保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物
捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う	補い	舗装
店舗	母性	父母	祖母	母	母親	募金	募集	応募	墓地
墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮
薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕
捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充
候補	補う	補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母	母	母親
募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕
思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存
担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる
浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う	補い	舗装	店舗	母性
父母	祖母	母	母親	募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴
墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春
歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる
捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う
補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母	母	母親	募金	募集
応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う
慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲
捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々
補欠	補充	候補	補う	補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母
母	母親	募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り
慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み
保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物
捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う	補い	舗装
店舗	母性	父母	祖母	母	母親	募金	募集	応募	墓地
墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮
薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕
捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充
候補	補う	補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母	母	母親
募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕
思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存
担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる
浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う	補い	舗装	店舗	母性
父母	祖母	母	母親	募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴
墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う	慕わしい	歳暮	薄暮	暮春
歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲	捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる
捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々	補欠	補充	候補	補う
補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母	母	母親	募金	募集
応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り	慕情	敬慕	思慕	慕う
慕わしい	歳暮	薄暮	暮春	歩む	歩み	保護	保存	担保	捕獲
捕虜	逮捕	捕らえる	捕らわれる	捕る	捕り物	捕まえる	捕まる	浦	津々浦々
補欠	補充	候補	補う	補い	舗装	店舗	母性	父母	祖母
母	母親	募金	募集	応募	墓地	墓参	墓穴	墓	墓参り
慕情	敬慕	思慕							

飽	豊(豊)	報	訪	崩砲	峰	倣俸胞	泡	法
	5	5	6			+	+	4
ホウ	ゆたか ホウ	むくいる ホウ	おとずれる たずねる ホウ	くずれる くずす ホウ	みね ホウ	ならう ホウ	あわ ホウ	ハッ ホッ ホウ
飽和 飽食	豊かだ 豊作 豊満 豊富	報酬 報告 情報 報いる 報い	訪問 来訪 探訪 訪れる 訪れ	崩壊 崩れる 山崩れ	秀峰 霊峰 連峰 峰 剣が峰	倣う 模倣 俸給 年俸 本俸	気泡 水泡 発泡 胞子 同胞 細胞	法律 文法 方法 法度 法主
		↑ 尋ねる		雪崩	↓ 習う		「法主」は、 「ホウシュ」 とも	

[illegible][illegible]

[illegible]

眠	民	妙	脈	密	岬	魅	味	未	漫	慢	満	万	抹
	ミン	ミョウ	ミヤク	ミツ	みさき		ミ				マン	マン	マツ
	4		4	6			3	4			4	2	
ねむい	ミン	ミョウ	ミヤク	ミツ	みさき	ミ	ミ	マン	マン	みたす	みちる	マン	マツ
ねむる	たみ				あじわう	あじ						バン	すえ
眠い	眠る	不眠	民族	妙案	脈絡	密約	岬	魅力	味わう	味見	味覚	未来	漫画
眠たい	眠り	安眠	民主的	奇妙	動脈	厳密	魅惑	意味	味わい	塩味	興味	未満	漫步
眠気		睡眠	国民	巧妙	山脈	秘密	魅する	興味				前代未聞	散漫
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる
												満ちる	満ちる

予	務	無	夢	霧	娘 むすめ メイ	命	明
ム	ほこ	ム	ブ	ない	ム	ゆめ	ム
矛盾	矛盾先	事務 職務 義務	務める 務め	無名 無理 皆無	無事 無礼 無愛想	無幻 夢中 惡夢	夢幻 夢見る 初夢
				霧笛 濃霧 噴霧器	霧雨 朝霧	娘 娘心 小娘	名誉 氏名 有名
				名字 本名 大名	名前	命令 運命 生命	壽命
				命 命拾い	明暗 説明 鮮明	明日 光明 灯明	明かり 薄明かり
					明る い 明る さ	明る む	あかるい
							あかるむ

↑勤める
努める
↑亡い

明日あした

仮名
名残

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ヨウ													
擁	養	窯	踊	様 (様)	腰	溶陽		葉					
4				3		3		3					
ヨウ	やしなう	ヨウ	かま	ヨウ	おどり	おどる	ヨウ	さま	ヨウ	こし	ヨウ	とく	とかす
擁護	養う	養育	窯	窯業	踊り	踊る	舞踊	様 ○○様	様式	様式	腰	溶く	溶かす
擁立		養子							様子	腰だめ	腰痛	溶ける	溶かす
抱擁		休養							模様	物腰	腰部		
						↑躍る				↑解ける	↑解かす	↑解く	

謡(謡)	ヨウ	うたい	うたう	2	ヨウ	ヨウ	おさえる	4	ヨウ	あびる	あびせる	6	ヨウ	ほつする	ほしい	6	ヨウ	つばさ	ラ	はだか	ラ	来(来)	2	ライ	くる	きたる	きたす	ライ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
謡曲	民謡	歌謡	謡素謡	謡う	曜日	七曜表	日曜	抑圧	抑制	抑揚	抑える	抑え	浴場	海水浴	浴びる	水浴び	浴びせる	欲望	食欲	無欲	欲する	欲しい	欲しが	翌春	翌年	翌々日	左翼	尾翼	翼	裸身	裸体	赤裸々	裸丸裸	羅列	羅針盤	網羅	来年	来歴	往来	来る	出来心	来る	○日	来す	雷雨	雷名	魚雷																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			↑歌う								↑押さえる																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															</

[illegible]

リョウ			リョ			リョウ			リョウ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
涼料			良兩了慮虜			旅硫隆			竜																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			(兩)			(隆)			(龍)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4			4	3	3			5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
すずしい	リョウ	リョウ	よい	リョウ	リョウ	リョ	リョ	たび	リョ	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ	とめる	とめる	ながれる																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
流れる	流す	流し	留守	留める	留まる	竜巻	竜頭蛇尾	粒子	粒々	粒	豆粒	隆起	隆盛	興隆	硫安	硫酸	硫化銀	硫黄	旅行	旅情	旅券	旅先	船旅	虜囚	捕虜	遠慮	考慮	無慮	了解	完了	校了	両親	両立	千両	良好	良心	優良	良い	料金	料理	材料	涼味	清涼剤	納涼	涼しい	涼しさ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
↑止める	↑止める	泊まる	泊まる	止まる	止まる	泊まる	泊まる																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											</

倫厘	林	緑	力	糧療寮領僚	量	陵	獵
		(緑)					(獵)
	1	3	1	5	4		
リン	リン	みどり	リョク	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ
リン	はやし	リョク	リョク	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ
リン		リョク	リョク	リョウ	リョウ	リョウ	リョウ
倫理	一分一厘	緑	糧	療養	僚友	陵墓	獵師
人倫		薄緑	兵糧	医療	官僚	丘陵	狩獵
絶倫		緑茶	権力	治療	同僚		涉獵
		緑陰	努力				
		新緑	能力				
			馬力				
			底力				

↑計る
↑測る
↑謀る

「礼拝」は、
「レイハイ」とも

励 <small>(勵)</small>	例	鈴	零 靈 <small>(靈)</small>	隸 齡 <small>(齡)</small> 麗	曆 <small>(曆)</small>	列
レイ	レイ	レイ	レイ	レイ	レキ	レッツ
はげむ	もどす	リン	リョウ	レイ	こよみ	
はげます	もどる	たとえる	たま	うるわしい		
励行 奨励 精励	例外 例年 用例	電鈴 振鈴 予鈴	零下 零細 零落	隸書 隸属 奴隸	暦年 還暦 太陽暦	歴史 歴訪 経歴
励む 励み	戻る 後戻り	風鈴 呼び鈴	靈感 靈魂 霊長類	樹齡 年齢 妙齡	暦花暦	列外 列車 陳列
励ます 励まし	戻入 返戻		悪霊 死霊	麗人 端麗 美麗		
	戻す 差し戻し		霊 霊屋	麗しい 麗しさ		

劣	裂	烈	恋	連	廉	鍊	路	露
レツ	レツ	レツ	レン	レン	レン	レン	レン	レン
おとる	さける	さく	こい	こい	こい	こい	こい	こい
劣等	裂ける	裂く	恋	連	連	連	連	連
卑劣	裂け目	八つ裂き	初恋	連続	連なる	連なる	連なる	連なる
優劣	猛烈	分裂	失恋	関連	練習	練習	練習	練習
					試練	試練	試練	試練
					熟練	熟練	熟練	熟練
					練り直す	練り直す	練り直す	練り直す
					錬金術	錬金術	錬金術	錬金術
					鍛錬	鍛錬	鍛錬	鍛錬
					精錬	精錬	精錬	精錬
					原子炉	原子炉	原子炉	原子炉
					家路	家路	家路	家路
					露店	露店	露店	露店
					雨露	雨露	雨露	雨露
					披露	披露	披露	披露

割く

[illegible]

日和
大和
魂等
大

[illegible]

だし たち たちのく たなばた たび ちご ついたち つきやま つゆ でこぼこ てつだう てんません とあみ とえはたえ どきよう とけい ともだち なこうど なごり なだれ にいさん ねえさん のら のりと はかせ はたち はつか

山車 太刀 立ち退く 七夕 足袋 稚児 一日 築山 梅雨 凸凹 手伝う 伝馬船 投網 十重二十重 読経 時計 友達 仲人 名残 雪崩 兄さん 姉さん 野良 祝詞 博士 二十歳 二十日

はとば ひとり ひより ふたり ふつか ふぶき へた へや まいご まっか まっさお みやげ むすこ めがね もさ もみじ もめん もより やおちよう やおや やまと 〃 ゆかた ゆくえ よせ わこうど

波止場 一人 日和 二人 吹雪 下手 部屋 迷子 真つ赤 真つ青 土産 息子 眼鏡 猛者 紅葉 木綿 最寄り 八百長 八百屋 大和 〃 (大和絵 大和魂等) 浴衣 行方 寄席 若人

書体について

書き文字の書体は、楷書体・行書体・草書体の三つに分けられる。楷書体は点画をくずさずに、きっちりと書いたもの、行書体は点画を少しくずしたものの、草書体は点画を極端にくずして、続け書きにしたものである。

和文活字でよく用いられる書体には、次の四つがある。

1 明朝体 荒海や佐渡に横たふ天の川

2 楷書体 (1) 正楷体 荒海や佐渡に横たふ天の川

(2) 教科書体 荒海や佐渡に横たふ天の川

3 ゴシック体 荒海や佐渡に横たふ天の川

(丸ゴシック体) 荒海や佐渡に横たふ天の川

4 アンチック体 あらうみやさどにヨコタフアマノガ

1 は読みやすいので書籍・新聞・雑誌などに最もよく用いられる書体である。2 の正楷体はあいさつ状・年賀状・名刺などに、教科書体は小学校の教科書などに、3 は小見出しや、文中で特に注意させたい箇所などに用いられる。4 は平仮名と片仮名しかないが、辞書の見出しや子供の本などに用いられる。

以上のほかに、清朝体(楷書体の一種)・宋朝体・隷書体・行書体などがあり、名刺や年賀状などに用いられる。なお、草書体は読みにくいので、ほとんど用いられない。

(三省堂編修所解説)

当用漢字表等と常用漢字表との対比

一 性格と運用

当用漢字表

- ・字種（**二八五〇字**）を示した表である。
- ・現代国語を書き表すために、日常使用する漢字の範囲を、次のように定める。（告示文）
- ・この表は、法令・公用文書・新聞・雑誌及び一般社会で、使用する漢字の範囲を示したものである。（まえがき 第1項）
- ・この表の漢字で書き表せない言葉は、別の言葉に替えるか、又は、仮名書きにする。（使用上の注意事項イ）

・専門用語については、この表を基準として、

- ・「常用漢字表」（昭和五六年一〇月一日内閣告示）の制定に伴い、「当用漢字表」（昭和二年一月一六日内閣告示）のほかに、字体を定めた「当用漢字字体表」（昭和二年四月二八日内閣告示）、音訓や語例を示した「当用漢字音訓表」（昭和四八年六月一八日内閣告示）も廃止された。
- ・ここに掲げたのはそれらの特徴を対比した表で、三省堂編修所で作成したものである。なお、「ハ」中の「答申」とは、昭和五六年三月二三日付、国語審議会から文部大臣への答申をさす。（三省堂編修所注）

常用漢字表

- ・字種（**一九四五字**）・字体・音訓・語例等を総合的に示した表である。
- ・法令・公用文書・新聞・雑誌・放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の**目安**を示すものである。
- ・「目安」の補足説明として、答申に「法令・公用文書・新聞・雑誌・放送等、一般の社会生活において、この表を無視してほしきままに漢字を使用してもよいというのではなく、この表を努力目標として尊重することが期待されるものである」「この表を基に、実情に応じて独自の漢字使用の取決めをそれぞれ作成するなど、分野によってこの表の扱い方に差を生ずることを妨げないものである」とある。」
- ・この表の運用に当たっては、個々の事情に応じて適切な考慮を加える余地のあるものである。
- ・科学・技術・芸術その他の各種専門分野や個々人の表記にまで及ぼそ

整理することが望ましい。(使用上の注意事項 チ)

・固有名詞については、法規上その他に係るところが大きいので、別に考えることとした。(まえがき 第3項)

・振り仮名は、原則として使わない。(使用上の注意事項 ト)

・当て字は仮名書きにする。(使用上の注意事項 ヘ)

・代名詞・副詞・接続詞・感動詞・助動詞・助詞は、なるべく仮名書きにする。(使用上の注意事項 ロ)

・動植物の名称は、仮名書きにする。(使用上の注意事項 ホ)

二 字 体

当用漢字字体表

- ・当用漢字について、字体の標準を示した。
- ・一八五〇字のうち約五〇〇字について略体の採用、点画の整理などを行った。

うとするものではない。

・過去の著作や文書における漢字使用を否定するものではない。

・固有名詞を対象とするものではない。

・告示では触れていない。
〔答申には「読みにくいと思われるような場合は、必要に応じて振り仮名を用いるような配慮をするのも一つの方法であろう。」とある。〕
・「付表」に、いわゆる当て字や熟字訓など、主として一字一字の音訓として挙げにくいものを語の形で掲げた。

・代名詞・副詞・接続詞で広く使用されるものは語例として漢字で掲げて感動詞・助動詞・助詞は語例欄にも掲げられていない。〔ある。〕

〔答申には「感動詞・助動詞・助詞のための字種や音訓は取り上げない」とあり、仮名書きが普通と考えられているのであろう。〕

・語例として漢字で掲げてある。

〔以上の「性格と運用」は、「当用漢字音訓表」(昭和四八年内閣告示)とほとんど同じである。〕

常用漢字表

- ・「当用漢字字体表」の字体は変更しない。(例外、燈↓灯)
- ・「当用漢字表」より増えた漢字については、「当用漢字字体表」に準じて略体の採用や点画の整理を行ったものがある。(缶縄蚩壤など)

・字体は、活字字体のもとになる形で示してある。

・この表の字体を筆写(楷書^{かいしよ})の標準とする際には、点画の長短・方向・曲直、つけるかはなすか、とめるかはねるか、とめるかはらうか等について、必ずしも拘束しないものがある。

三 当用漢字（音訓）表より増えた漢字

・字体は、明朝体活字^{みんちよう}の一種を例に用いて現代の通用字体を示した。
・字体は文字の骨組みであるから、各種明朝体活字のデザイン上の差異は問題にする必要がない。

・明朝体活字の形と筆写の楷書の間には、印刷上・手書き上の習慣の相違に基づく違いがある。
・筆写の楷書では、点画の長短・方向、つけるかはなすか、はらうかとめるか、はねるかとめるか等について、いろいろな書き方がある。

・「常用漢字表」では、「当用漢字（音訓）表」より漢字が九五字増えている。ここには、増えた漢字とその音訓・語例・備考を抜粋して掲げた。
・（ ）は「常用漢字表」に添えられた康熙字典体、〔 〕は三省堂編修所で添えた、一般に通用している字体である。
（三省堂編修所注）

猿	エン	野猿	類人猿	犬猿の仲
凹	さる	猿		
渦	オウ	凹凸	凹面鏡	凹レンズ
	カ	渦中		
靴	うず	渦	渦潮	渦巻く
	カ	製靴		
稼	くつ	靴	靴下	革靴
	カ	稼業	稼動	
拐	かせぐ	稼ぐ	稼ぎ	
拐	カイ	拐帯	誘拐	

涯	ガイ	生涯
垣	かき	垣 垣根
殻(殻)	カク	甲殻 地殻
	から	殻 貝殻
瀉	かた	干瀉 ○○瀉
喝(喝)	カツ	喝破 一喝 恐喝
褐(褐)	カツ	褐色 茶褐色
缶(罐)	カン	缶 缶詰 製缶
頑	ガン	頑強 頑健 頑固
挟(挾)	キョウ	挟撃

据	甚	唇	壤(壤)	繩(繩)	宵	尚[尙]	塾	汁	酌[酌]	蛇	遮[遮]	肢
すえる	ジン	シン	ジョウ	ジョウ	ショウ	シヨウ	ジユク	ジュウ	シャク	ジャ	シャ	シ
はなはだしい	くちびる	口唇	土壌	縄 縄張	微宵	尚早 高尚	塾 私塾	果汁 墨汁	酌量 晩酌 酌む 酌み交わす	蛇の目 蛇腹 大蛇 蛇行 蛇足 長蛇	遮る 遮断	かさ 傘 雨傘 日傘
据える 据え置く	甚大 激甚 幸甚	唇		縄文 自縄自縛			汁 汁粉					肢体 下肢 選択肢

1 増えた音訓

栄 はえる 危 あやぶむ 憩 いこう
 香 かおる 愁 うれえる 謡 うたう
 露 ロウ〔披露〕 和 オ〔和尚〕

2 減った訓

膚 はだ 盲 めくら
 3 増えた「付表」の語
 おじ〔叔父〕 おば〔叔母〕

4 さじき 棧敷 でこぼこ 凸凹
 字体が変更になった字
 燈 ↓ 灯

四 当用漢字音訓表より増減した音訓など

扉〔扉〕ヒ 開扉 門扉
 猫〔猫〕ビョウ 愛猫
 頻〔頻〕ヒン 猫 頻度 頻発 頻繁
 瓶〔瓶〕ビン 瓶詰 花瓶
 雰 フン 雰囲気
 塀〔塀〕ヘイ 塀板 塀
 泡〔泡〕ホウ 気泡 水泡 発泡
 あわ 泡 泡立つ
 俸 ホウ 俸給 年俸 本俸
 褒〔褒〕ホウ 褒章 褒美 過褒
 ほめる 褒める
 朴 ボク 純朴 素朴
 僕 ボク 僕 公僕
 堀 ほり 堀 外堀 釣堀
 磨〔磨〕マ 研磨

厄 ヤク 厄年 災厄
 癒〔癒〕ユ 癒着 治癒 平癒
 悠 ユウ 悠然 悠長 悠々
 羅 ラ 羅列 羅針盤 網羅
 竜〔龍〕リュウ 竜 竜頭蛇尾
 竜巻
 戻〔戻〕レイ 戻入 返戻
 戻す 差し戻し
 戻る 後戻り
 枠 枠内 窓枠
 枠 わく
 もどす
 もどる
 磨く 磨き粉
 抹殺 抹消 一抹
 岬 みさき
 妄〔妄〕モウ 妄言 妄信 妄想 迷妄
 磨く 磨き粉
 抹殺 抹消 一抹
 岬 みさき
 妄〔妄〕モウ 妄言 妄信 妄想 迷妄

「妄言」は、「モウ
 ゲン」とも。

当用漢字表

- ・昭和二十一年一月一六日内閣告示第三二号から抜粋。「日常使用する漢字の範囲」を制限したものである。
- ・これに代わるものとして、昭和五六年一〇月一日に「**常用漢字表**」が制定され、「当用漢字表」は廃止された。
- ・**両者の違い**については一〇〇ページを参照されたい。
(三省堂編修所注)

まえがき

- 一、この表は、法令・公用文書・新聞・雑誌および一般社会で、使用する漢字の範囲を示したものである。
- 一、この表は、今日の国民生活の上で、漢字の制限があまり無理がなく行われることをめやすとして選んだものである。
- 一、固有名詞については、法規上その他に関係するところが多いので、別に考えることとした。
- 一、簡易字体については、現在慣用されているものの中

から採用し、これを本体として、参考のため原字をその下に掲げた。

- 一、字体と音訓との整理については、調査中である。

使用上の注意事項

- イ、この表の漢字で書きあらわせないことばは、別のことばにかえるか、または、かな書きにする。
- ロ、代名詞・副詞・接続詞・感動詞・助動詞・助詞は、なるべくかな書きにする。
- ハ、外国（中華民国を除く）の地名・人名は、かな書きにする。
- ただし、「米国」「英米」等の用例は、従来の慣習に従ってもさしつかえない。
- ニ、外来語は、かな書きにする。
- ホ、動植物の名称は、かな書きにする。
- ヘ、あて字は、かな書きにする。
- ト、ふりがなは、原則として使わない。
- チ、専門用語については、この表を基準として、整理することが望ましい。

(以下表は省略)

常用漢字の筆順

・筆順は正確で整った字を書くためのものである。
楷書の場合、**上から下へ、左から右へ、外から内へ**というのが大体の原則である。しかし、必ずしも一つの漢字に一つの筆順しかないというわけではない。本書では、常用漢字の、通用と認められる筆順を示した。

・次掲の「一」「二」は、文部省編「筆順指導の手びき」（昭和三十三年三月刊）から抜粋した。「三」の教育漢字の筆順もこれによったが、より分かりやすいようにと工夫した。

・教育漢字以外の常用漢字の筆順も、右の本に準じた。

・全体を通して、東京学芸大学の鈴木真喜男教授の助言と、荒尾禎秀講師の援助を受けた。
（三省堂編修所注）

一 使用上の留意点

1 本書に取りあげた筆順は、学習指導上の観点から、一つの文字については一つの形に統一されているが、このことは本書に掲げられた以外の筆順で、従来行われてきたものを誤りとするものではない。

2 本書に示されたものは、楷書体の筆順であるが、行書

体では一部筆順のかわるものもある。その場合でも、新字体から著しくかけ離れた形のものとは望ましくない。

3 原則では、当用漢字別表（いわゆる教育漢字）のすべてを例としてはあげてないが、他の文字の理論的な面については、原則および一覧表とを考えあわせて類推理解することができ。

4 当用漢字別表の漢字以外の当用漢字についても、原則や一覧表によって、適正な筆順を類推することができ。

5 本書の原則において取りあげている点画の名称は、次に記すとおりである。

点（てん）

横画（「よこかく・おうかく」→「横（よこ）」「よこぼう」

縦画（「たてかく・じゅうかく」→「縦（たて）」「たてぼう」

左払い（「人」の第1画に相当する画で、方向・長さには、いろいろある。）

右払い（「人」の第2画に相当する画で、方向・長さには、いろいろある。）

6 その他、次の名称も適当に取り入れて説明指導することがよい。

ㄟ（折れ）

ㄣ（はね）

ㄣ（とめ）

し

（曲がり）

人

（はらい）

小 少 京 示

宗系細

当 光 常

水 氷 永

氷 緑 暴

氷 衆

業

赤 変

楽 薬

承 率

【例外】原則3には、二つの例外がある。

性

火 秋 炭 焼

原則4 外側がさき

「くにがまえ」のように囲む形をとるものは、さきに書く。

国 因

同 円

内 肉 納

司 詞 羽

【注】「区」は左のように書く。「医」も同じ。

区 一 又 区

原則5 左払いがさき

左払いと右払いとが交差する場合は、左払いをさきに書く。

文 父 故 支

収 処

人 入 欠 金

原則6 つらぬく縦画は最後

字の全体をつらぬく縦画は、最後に書く。

中 申 神

車 半 事 建

書 妻

平 評 洋 達 拝

手 争

上にも、下にも、つきぬ

けない縦画は、上部・縦画・

下部の順で書く。

里 野 黒

重 動

謹 勤

原則7 つらぬく横画は最後

字の全体をつらぬく横画は、最後に書く。

女 安 努

子 字 存

母 毎 海 慣

舟 船 与

【注】「世」だけは違う。

世 一 廿 世

原則8 横画と左払い

横画が長く、左払いが短い字では、左払いをさきに書く。

右 有 布 希

横画が短く、左払いが長い字では、横画をさきに書く。

く。

左一ナ左

友在存抜

特に注意すべき筆順

A 広く用いられる筆順が、二つ以上あるものについて

て

1 (A)の字は、もともと

①の筆順だけである。

(A) 止正足走武

一ト ①

(B)の字は①も②も行

われるが、本書では(A)にあわせて、①をとる。

(B) 上点店

一ト ①

一ト ②

2 (a)「耳」は①の筆順

が普通である。

耳 ①


(b)「みみへん」は①も

②も行われるが、本書で

は(a)にあわせて、①を

とる。

取最職嚴



3 「必」の筆順は、いろいろあるが、㇀は熟しておらず、㇁よりも㇂が形をとりやすいので、本書では㇂をとる。

必

その他	心	ノ	・
	必	又	ソ
	――	又	又
		必	必
		必	必
		――	――
	ハ	口	イ

4 「はつがしら」の筆順は、いろいろあるが、本書では、左半と対称的で、かつ最も自然な㊦をとる。

発登

フ 八 フ
フ 八 八
フ 八 八

ハ
口
イ

5 「感」の筆順には、㇀と㇁とがあるが、本書では、

字体表の字体と一致し、大原則 1 にそうイをとる。

感

后	后
愿	咸
感	感
⋮	⋮
口	イ

6 「馬」の筆順には、㊦や
㊧などがあるが、本書で
は、大原則1にそう㊦を
とる。

馬

厂	厂
𠂇	𠂇
𠂇	𠂇
馬	馬
馬	馬
⋮	⋮
口	イ

7 「無」の筆順には、ㇿや
ㇾなどがあるが、本書で
は、大原則1にそうㇿを
とる。

無

一	一
二	無
無	無
⋮	⋮
○口	○イ

8 「興」の筆順としては、
イとロが考えられるが、
本書では大原則2にそう
イをとる。

興

同 𠂔

銅 銅

銅 銅

口 人

B
原則では説明できない

もの

1 「によう」には、さきに書く「によう」(a)と、あとに書く「によう」(b)とがある。

(a)

久	走	免	是
処	起	勉	題

(b)
主
及
L

近建直

2 さきを書く左払い (a)
と、あとに書く左払い
(b)とがある。

(a)
九及

(b) 力 刀 万 方 别

三 常用漢字の筆順表

・「当用漢字表」より増えた漢字（九五字）には⁺印をつけた。

・「学年別漢字配当表」の漢字（一〇〇六字）は赤色にし、1～6の数字で配当学年を示した。

(三省堂編修所注)

ア

亞	一
哀	二
𡇗	三
𡇘	四
𡇙	五
𡇚	六
𡇛	七
𡇜	八
𡇝	九
𡇞	十

惡	愛
3	4
一	一
二	二
三	三
四	四
五	五
六	六
七	七
八	八
九	九
十	十

偉	移	異	尉	為	胃	威	委	依	医	圉	位	衣	以		暗	案	安	扱	压	握
5	6				4		3		3	4	4	4	4		3	4	3		5	
亻	ニ	口	コ	、	冂	丿	ニ	亻	一	丨	ノ	、	丨	【イ】	丨	宀	、	一	一	扌
伟	禾	四	尸	ノ	冂	丿	禾	亻	一	冂	ノ	一	レ		丨	宀	、	一	冂	扌
偉	禾	里	尸	ノ	冂	丿	禾	亻	一	冂	ノ	一	レ		暗	安	宀	扌	冂	扌
偉	禾	里	尉	為	胃	威	委	依	医	圉	位	衣	以		暗	安	宀	扱	压	握
偉	移	異	尉	為	胃	威	委	依	医			衣	以		暗	案	安	扱	压	握


隱	飲	陰	院	員	姻	因	印	引	芋	逸	尗	一	育	域	緯	遺	慰	維	違	意
3		3	3	3		5	4	2				1	3	6		6				3
阝	人	阝	阝	口	女	丨	丨	コ	一	ノ	一	一	一	十	纟	口	コ	纟	丨	一
隱	今	陰	院	員	姻	因	印	引	芋	逸	尗		育	域	緯	遺	慰	維	違	意
隱	今	陰	院	員	姻	因	印	引	芋	逸	尗		育	域	緯	遺	慰	維	違	意
隱	今	陰	院	員	姻	因	印	引	芋	逸	尗		育	域	緯	遺	慰	維	違	意
隱	飲	陰	院	員	姻	因	印			逸	尗		育	域	緯	遺	慰	維	違	意

疫	易	衛	銳	影	詠	營	榮	映	英	泳	永		雲	運	雨	羽	宇	右		韻
5	5					5	4	6	4	3	5		2	3	1	2	6	1		
一	丨	彳	金	口	言	艹	艹	丨	艹	氵	一	【エ】	二	一	一	丁	、	ノ	【ウ】	一
广	口	律	金	日	言	艹	艹	日	艹	氵	丁		二	一	一	丁	、	ノ		音
广	日	律	金	日	言	艹	艹	日	艹	氵	丁		二	一	一	丁	、	ノ		音
广	日	律	金	日	言	艹	艹	日	艹	氵	丁		二	一	一	丁	、	ノ		音
疫	易	衛	銳	影	詠	營	榮	映	英	泳	永		雲	運	雨	羽	宇	右		韻
疫	易	衛	銳	影	詠	營	榮	映	英	泳	永		雲	運	雨	羽	宇	右		韻

縁	演	塩	鉛	遠	猿	煙	園	援	宴	炎	沿	延	円	閱	謁	越	悦	駅	液	益
5	4			2			2				6	6	1					3	5	5
糸	氵	十	金	辶	ノ	火	門	扌	宀	、	氵	一	丨	丨	言	十	心	丨	氵	艹
縁	氵	十	金	辶	ノ	火	門	扌	宀	、	氵	一	丨	丨	言	十	心	丨	氵	艹
縁	氵	十	金	辶	ノ	火	門	扌	宀	、	氵	一	丨	丨	言	十	心	丨	氵	艹
縁	氵	十	金	辶	ノ	火	門	扌	宀	、	氵	一	丨	丨	言	十	心	丨	氵	艹
縁	演	塩	鉛	遠	猿	煙	園	援	宴	炎	沿	延	円	閱	謁	越	悦	駅	液	益

才

力



簡	環	館	還	憾	緩	監	歡	閔	管	慣	漢	感	幹	寬	勸	閑	間	款	棺	敢
6		3						4	4	5	3	3	5				2			
簡	一	今	口	ハ	紆	尸	二	丨	竹	ハ	江	丨	一	宀	二	丨	丨	十	木	工
簡	丁	含	四	巾	紆	尸	丰	丨	竹	忙	江	后	市	宀	丰	丨	丨	士	木	工
簡	玨	館	罍	恒	經	監	丰	門	管	忙	江	咸	直	宀	丰	門	門	寺	木	干
簡	環	館	罍	憾	紆	監	丰	門	管	忙	江	咸	幹	宀	丰	門	門	崇	木	干
簡	環	館	還	憾	緩	監	歡	閔	管	慣	漢	感	幹	寬	勸	閑	間	款	棺	敢

奇	汽	忌	希	岐	気	机	危	企		願	顔	頑	眼	岩	岸	含	丸	鑑	艦	観
2		4		1	6	6				4	2		5	2	3		2			4
一	シ	フ	フ	フ	フ	一	ノ	ノ	【キ】	一	一	ニ	目	一	一	ノ	ノ	金	舟	一
大	シ	コ	メ	山	一	十	カ	人		戸	立	テ	目	山	山	人	九	金	舟	一
大	汽	己	大	山	一	才	大	个		戸	立	頑	眼	岩	岸	令	丸	鑑	艦	一
奇	汽	忌	希	岐	気	机	危	企		願	顔	頑	眼	岩	岸	含		鑑	艦	観
奇			希	岐	気	机	危	企		願	顔	頑	眼	岩	岸	含		鑑	艦	観

旗	棄	貴	棋	期	揮	幾	喜	規	寄	基	帰	鬼	飢	起	記	既	軌	紀	季	祈
4		6		3	6		4	5	5	5	2			3	2			4	4	
フ	一	口	一	一	扌	糸	一	二	宀	一	リ	一	人	十	二	一	一	一	一	一
旗	弃	口	十	廿	扌	糸	十	扌	宀	廿	归	巾	今	丰	言	既	車	糸	禾	禾
旗	弃	中	木	其	扌	幾	吉	知	寄	基	帰	鬼	食	起	記	既	車	糸	禾	禾
旗	弃	貴	棋	期	揮	幾	喜	規	寄	基	帰	鬼	飢	起	記	既	軌	紀	季	祈
旗	棄	貴	棋	期	揮	幾	喜	規	寄	基	帰	鬼	飢	起	記	既	軌	紀	季	祈

客	却	詰	喫	吉	菊	議	犧	擬	戲	儀	疑	義	欺	偽	宜	技	騎	機	輝	器
3						4					6	5				5		4		4
一	一	言	口	一	一	言	牝	扌	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六	十	言	口	十	一	言	牝	扌	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
客	去	詰	喫	吉	菊	議	犧	擬	戲	儀	疑	義	欺	偽	宜	技	騎	機	輝	器
客	却	詰	喫	吉	菊	議	犧	擬	戲	儀	疑	義	欺	偽	宜	技	騎	機	輝	器

球	救	宮	糾	級	急	泣	究	求	朽	吸	休	旧	丘	弓	及	久	九	虐	逆	脚
3	4	3		3	3	4	3	4		6	1	5		2		5	1		5	
一	十	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
球	求	宮	糾	級	急	泣	究	求	朽	吸	休	旧	丘	弓	及	久	九	虐	逆	脚
球	救	宮	糾	級	急	泣	究	求	朽	吸	休	旧	丘	弓	及	久	九	虐	逆	脚

享	京	狂	叫	共	凶	漁	御	魚	距	許	虚	拳	扱	拒	居	巨	去	牛	窮	給
2				4		4		2		5		4			5		3	2		4
ノ	ノ	ノ	ノ	一	ノ	ノ	ノ	ノ	口	言	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	一	ノ	宀	糸
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	十	×	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	言	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	十	ノ	宀	糸
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	言	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	言	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
亨	京	狂	叫	共		漁	御	魚	距	許	虚	拳	扱	拒	居	巨	去		窮	給
享	京	狂	叫	共		漁	御	魚	距	許	虚	拳	扱	拒	居				窮	給

仰	驚	響	競	鏡	矯	橋	境	郷	教	強	脅	胸	恭	恐	狹	挟	峽	況	協	供
			4	4		3	5	6	2	2		6							4	6
ノ	一	𠂇	十	金	ノ	木	十	ノ	十	ノ	ノ	月	一	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
仰	驚	響	競	鏡	矯	橋	境	郷	教	強	脅	胸	恭	恐	狹	挟	峽	況	協	供
仰	驚	響	競	鏡	矯	橋	境	郷	教	強	脅	胸	恭	恐	狹	挟	峽		協	供

銀	吟	襟	謹	緊	禁	筋	琴	勤	菌	金	近	均	斤	玉	極	局	曲	凝	業	曉
3					5	6		6		1	2	5		1	4	3	3		3	
金	ノ	衤	言	一	一	竹	一	一	一	ノ	ノ	一	一	一	木	一	一	一	一	一
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
銀	吟	襟	謹	緊	禁	筋	琴	勤	菌	金	近	均	斤	玉	極	局	曲	凝	業	曉
銀	吟	襟	謹	緊	禁	筋	琴	勤	菌	金		均			極	局	曲	凝	業	曉

群	郡	軍	薰	勳	訓	君	繰	掘	屈	遇	隅	偶	空	愚	具	驅	苦	句	区	
5	4	4			4	3							1		3		3	5	3	
ノ	ノ	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
群	郡	軍	薰	勳	訓	君	繰	掘	屈	遇	隅	偶	空	愚	具	驅	苦	句	区	
群	郡	軍	薰	勳	訓	君	繰	掘	屈	遇	隅	偶	空	愚	具	驅	苦	句		

傾	輕	景	敬	螢 ⁺	經 ⁺	溪	揭	啓	恵	計	契	型	係	莖	徑	系	形	刑	兄
3	4	6		5						2		4	3		4	6	2		2
亻	亻	口	一	〃	纟	氵	扌	亻	亻	讠	一	二	亻	一	彳	一	二	一	一
傾	輕	景	敬	螢	經	溪	揭	啓	恵	計	契	型	係	莖	徑	系	形	刑	兄

【ケ】

犬	月	潔	傑	結	決	血	穴	欠	激	擊	劇	鯨	迎	芸	鷄	警	憩	慶	繼	携
1	1	5		4	3	3	6	4	6		6			4		6				
一	丿	冫	亻	纟	冫	ノ	宀	ノ	冫	扌	一	ノ	一	一	𠂔	一	二	宀	纟	扌
犬	月	冫	傑	結	決	血	穴	欠	激	擊	劇	鯨	迎	芸	鷄	警	憩	慶	繼	携

權	遣	絹	猷	嫌 ⁺	檢	堅	圈	險	軒	劍	兼	健	儉	梟	研	建	肩	券	見	件
6		6			5			5				4		3	3	4		5	1	5
一	口	纟	一	ノ	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
權	遣	絹	猷	嫌	檢	堅	圈	險	軒	劍	兼	健	儉	梟	研	建	肩	券	見	件

戸	己	巖	源	減	現	原	限	弦	言	玄	幻	元	懸	驗	顯	蘭	謙	賢	憲
2	6	6	6	5	5	2	5		2			2		4					6
一	乚	一	氵	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
戸	己	巖	源	減	現	原	限	弦	言	玄	幻	元	懸	驗	顯	蘭	謙	賢	憲

【コ】

悟	娛	後	吳	午	互	五	顧	鼓	誇	雇	湖	庫	個	枯	故	弧	孤	固	呼	古
		2		2		1					3	3	5		5			4	6	2
ハ	レ	イ	イ	ノ	一	一	ヨ	一	言	ㄣ	ㄣ	ㄣ	介	一	一	ㄣ	了	丨	丨	一
忄	女	彳	口	ㄥ	ㄣ	ㄣ	尸	十	言	ㄣ	ㄣ	广	介	十	十	ㄣ	了	口	口	十
忄	如	彳	口	ㄥ	互	五	尸	吉	訃	尸	ㄣ	广	個	木	古	弘	弘	固	叫	古
悟	娛	後	吳	午	互	五	顧	鼓	誇	雇	湖	庫	個	枯	故	弧	孤	固	呼	古
悟	娛	後	吳				顧	鼓	誇	雇	湖	庫	個	枯	故	弧	孤	固	呼	古

坑	行	考	江	好	后	向	光	交	甲	広	巧	功	孔	公	工	口	護	誤	語	基
	2	2		4	6	3	2	2		2		4		2	2	1	5	6	2	
一	一	一	ㄣ	レ	一	ノ	丨	丨	丨	丨	一	一	了	ノ	一	丨	言	言	言	一
十	彳	十	ㄣ	女	尸	丨	丨	一	口	一	一	一	了	八	一	口	訃	言	言	一
坑	行	考	江	好	后	向	光	交	甲	広	巧	功	孔	公	工	口	訃	言	言	其
坑	行	考		好	后	向	光	交		広	巧	功		公			訃	言	其	
坑	行	考		好	后	向	光	交		広	巧	功		公			護	誤	語	基

航	耕	校	候	香	郊	荒	紅	皇	洪	恒	厚	侯	肯	拘	幸	効	更	攻	抗	孝
4	5	1	4				6	6			5				3	5				6
ノ	三	一	丨	二	十	一	夕	丨	ㄣ	ハ	一	丨	丨	一	一	十	一	一	一	一
舟	耂	十	丨	禾	六	一	夕	丨	ㄣ	ハ	一	丨	丨	一	十	六	一	一	十	十
舟	耂	村	但	禾	交	芒	糸	白	ㄣ	忄	尸	伊	丨	扌	十	六	一	一	十	土
航	耕	校	候	香	郊	荒	紅	皇	洪	恒	厚	侯	肯	拘	幸	効	更	攻	抗	孝
航		校	候	香	郊	荒	紅	皇	洪	恒	厚	侯	肯	拘	幸	効		攻	抗	孝

講	鋼	衡	興	稿	酵	綱	構	鉦	溝	項	絞	硬	港	慌	黃	控	康	高	降	貢
5	6		5				5	5					3		2		4	2	6	
言	金	彳	丨	二	酉	糸	木	金	ㄣ	一	夕	一	ㄣ	ハ	一	扌	一	一	了	一
訃	鉦	彳	印	禾	酉	糸	木	金	ㄣ	一	夕	一	ㄣ	ハ	一	扌	一	一	了	一
講	鋼	衡	興	稿	酵	綱	構	鉦	溝	項	絞	硬	港	慌	黃	控	康	高	降	貢
講	鋼	衡	興	稿	酵	綱	構	鉦	溝	項	絞	硬	港	慌	黃	控	康	高	降	貢
講	鋼	衡	興	稿	酵	綱	構	鉦	溝	項	絞	硬	港	慌	黃	控	康	高	降	貢

三	皿	雜	擦	撮	察	殺	刷	札	冊	咲	錯	搾	酢	策	索	咋	削	作	崎	罪
1	3	5			4	4	4	4	6					6		4		2		5
一	丩	ノ	扌	扌	宀	ノ	マ	一	丨	口	钅	扌	冫	竹	一	丨	丨	ノ	丨	冂
二	冂	𠄎	扌	扌	宀	𠄎	マ	十	冂	口	鉗	扌	冫	竹	一	日	𠄎	ノ	止	冂
三	皿	卒	扌	扌	宀	𠄎	尸	才	冂	吐	鉗	扌	冫	竹	𠄎	日	𠄎	ノ	止	冂
	皿	刳	擦	撮	察	殺	札	冊	冊	咲	錯	搾	酢	策	索	咋	削	作	崎	罪
		雜	擦	撮	察	殺	刷				錯	搾	酢	策	索	咋	削	作	崎	罪

史	仕	氏	止	支	子	士	暫	残	賛	酸	算	散	傘	産	惨	蚕	棧	参	山
4	3	4	2	5	1	4		4	5	5	2	4		4		6		4	1
ノ	ノ	ノ	丨	一	㇀	一	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	人	㇀	ハ	二	十	㇀	丨
口	イ	レ	ト	十	了	十	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	人	立	忙	天	木	𠂇	山
口	仁	氏	止	支	子	士	斬	残	賛	酸	算	散	傘	産	惨	吞	棧	参	山
史	仕	氏	止	支	子	士	斬	残	賛	酸	算	散	傘	産	惨	吞	棧	参	山
史	仕	氏	止	支	子	士	暫	残	賛	酸	算	散	傘	産	惨	蚕	棧	参	山

指	思	姿	肢	祉	枝	姉	始	刺	使	私	志	伺	至	糸	死	旨	矢	市	四	司
3	2	6			5	2	3		3	6	5		6	1	3		2	2	1	4
一	丨	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
十	口	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
指	思	姿	肢	祉	枝	姉	始	刺	使	私	志	伺	至	糸	死	旨	矢	市	四	司
指	思	姿	肢	祉	枝	姉	始	刺	使	私	志	伺	至	糸	死	旨	矢	市	四	司

次	寺	字	示	諮	賜	雌	誌	飼	資	詩	試	嗣	齒	詞	紫	視	脂	紙	師	施
3	2	1	5				6	5	5	3	4		3	6		6		2	5	
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
次	寺	字	示	諮	賜	雌	誌	飼	資	詩	試	嗣	齒	詞	紫	視	脂	紙	師	施
次	寺	字	示	諮	賜	雌	誌	飼	資	詩	試	嗣	齒	詞	紫	視	脂	紙	師	施

疾	室	失	七	軸	識	式	璽	磁	辞	慈	滋	時	持	治	侍	事	児	似	自	耳
	2	4	1		5	3		6	4			2	3	4		3	4	5	2	1
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
疾	室	失	七	軸	識	式	璽	磁	辞	慈	滋	時	持	治	侍	事	児	似	自	耳
疾	室	失	七	軸	識	式	璽	磁	辞	慈	滋	時	持	治	侍	事	児	似	自	耳

勺	蛇	邪	謝	遮	煮	斜	赦	捨	射	者	舍	車	社	写	芝	實	漆	湿	執
			5					6	6	3	5	1	2	3		3	5		
ノ	口	一	言	一	一	ハ	一	十	イ	一	人	一	ナ	一	一	一	一	一	+
勺	中	厂	訃	广	+	全	+	扌	身	+	人	厂	ネ	一	一	一	一	一	+
勺	虫	工	訃	户	土	全	青	扌	身	土	人	厂	ネ	一	一	一	一	一	+
	蛇	牙	謝	庶	者	余	赤	扌	身	老	舍	巨	社	写	芝	實	漆	湿	執
	蛇	邪	謝	遮	煮	斜	赦	捨	射	者	舍	車	社		芝	實	漆	湿	執
	蛇	邪	謝	遮	煮	斜	赦	捨	射	者	舍	車	社		芝	實	漆	湿	執

寿	趣	種	酒	珠	殊	首	狩	取	朱	守	主	手	寂	弱	若	爵	釈	酌	借	尺
		4	3			2		3		3	3	1		2	6				4	6
三	+	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
寿	丰	千	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
寿	起	稻	酒	珠	殊	首	狩	取	朱	守	主	手	寂	弱	若	爵	釈	酌	借	尺
寿	趣	種	酒	珠	殊	首	狩	取	朱	守	主	手	寂	弱	若	爵	釈	酌	借	尺
寿	趣	種	酒	珠	殊	首	狩	取	朱	守	主	手	寂	弱	若	爵	釈	酌	借	尺

衆	就	週	習	終	修	臭	秋	拾	宗	周	秀	舟	州	囚	収	樹	儒	需	授	受
6	6	2	3	3	5		2	3	6	4			3		6	6			5	3
一	古	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
而	京	月	习	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
血	京	月	习	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
中	就	周	習	終	修	臭	秋	拾	宗	周	秀	舟	州	囚	収	樹	儒	需	授	受
衆	就	週	習	終	修	臭	秋	拾	宗	周	秀	舟	州	囚	収	樹	儒	需	授	受

肅	淑	宿	祝	叔	縱	獸	銃	洩	從	重	柔	住	充	汁	十	襲	醜	酬	愁	集
		3	4		6				6	3		3			1					3
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
肅	淑	宿	祝	叔	縱	獸	銃	洩	從	重	柔	住	充	汁	十	襲	醜	酬	愁	集

処	遵	潤	準	順	循	純	殉	淮	盾	巡	旬	瞬	春	俊	術	述	出	熟	塾	縮
6			5	4		6							2		5	5	1	6		6
ノ	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	三	亻	亻	一	丨	宀	宀	纟
夕	冫	冫	冫	川	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	瞬	春	俊	術	十	丨	亨	亨	纟
久	冫	冫	冫	順	冫	冫	冫	冫	冫	冫	旬	瞬	春	俊	術	十	丨	亨	亨	纟
処	尊	潤	進	順	循	純	殉	淮	盾	巡	旬	瞬	春	俊	術	木	出	孰	孰	縮
処	尊	潤	進	順	循	純	殉	淮	盾	巡	旬	瞬	春	俊	術	木	出	孰	孰	縮
	遵	潤	準	順	循	純	殉	淮	盾		旬	瞬	春	俊	術	述		熟	塾	縮

床	匠	召	少	升	小	除	徐	叙	序	助	如	女	諸	緒	署	暑	庶	書	所	初
			2		1	6			5	3		1	6		6	3		2	3	4
一	一	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	女	言	糸	冫	冫	冫	冫	冫	冫
一	一	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	女	女	言	糸	冫	冫	冫	冫	冫	冫
广	广	冫	少	升	小	除	徐	叙	序	助	如	女	言	糸	冫	冫	冫	冫	冫	冫
广	广	召	少			除	徐	叙	序	助	如	女	言	糸	冫	冫	冫	冫	冫	冫
床	匠	召				除	徐	叙	序	助	如	女	言	糸	冫	冫	冫	冫	冫	冫
床	匠	召				除	徐	叙	序	助	如	女	言	糸	冫	冫	冫	冫	冫	冫

紹	章	涉	商	唱	笑	称	祥	症	消	将	宵	昭	沼	松	昇	承	招	尚	肖	抄
	3		3	4	4				3	6		3		4		5	5			
纟	一	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫
紹	章	涉	商	唱	笑	称	祥	症	消	将	宵	昭	沼	松	昇	承	招	尚	肖	抄
紹	章	涉	商	唱	笑	称	祥	症	消	将	宵	昭	沼	松	昇	承	招	尚	肖	抄
紹	章	涉	商	唱	笑	称	祥	症	消	将	宵	昭	沼	松	昇	承	招	尚	肖	抄
紹	章	涉	商	唱	笑	称	祥	症	消	将	宵	昭	沼	松	昇	承	招	尚	肖	抄

礁	償	賞	衝	障	彰	詳	照	獎	傷	象	証	詔	粧	硝	焦	燒	晶	掌	勝	訟
		4		6			4		6	4	5					4			3	
石	亻	一	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫
礁	償	賞	衝	障	彰	詳	照	獎	傷	象	証	詔	粧	硝	焦	燒	晶	掌	勝	訟
礁	償	賞	衝	障	彰	詳	照	獎	傷	象	証	詔	粧	硝	焦	燒	晶	掌	勝	訟
礁	償	賞	衝	障	彰	詳	照	獎	傷	象	証	詔	粧	硝	焦	燒	晶	掌	勝	訟
礁	償	賞	衝	障	彰	詳	照	獎	傷	象	証	詔	粧	硝	焦	燒	晶	掌	勝	訟

釀	讓	錠	嬢	壤	繩	蒸	暈	場	情	常	剩	淨	城	乘	狀	条	冗	丈	上	鐘
						6		2	5	5			6	3	5	5			1	
𠂇	讠	钅	女	土	纟	一	口	一	忄	忄	亻	冫	土	亻	丨	ノ	ノ	一	丨	钅
酉	讠	钅	女	土	纟	一	口	一	忄	忄	亻	冫	土	亻	丨	ノ	ノ	一	丨	钅
醅	讠	钅	嬢	嬢	絹	蒸	暈	場	情	常	剩	淨	城	乘	狀	条	冗	丈	上	鐘
醅	讠	钅	嬢	嬢	絹	蒸	暈	場	情	常	剩	淨	城	乘	狀	条	冗	丈	上	鐘
醅	讠	钅	嬢	嬢	絹	蒸	暈	場	情	常	剩	淨	城	乘	狀	条	冗	丈	上	鐘
釀	讓	錠	嬢	嬢	繩	蒸	暈	場	情	常	剩	淨	城	乘	狀	条				鐘

啓	神	津	信	侵	辛	身	臣	伸	申	心	辱	職	織	囑	觸	飾	殖	植	食	色
	3		4			3	4		3	2		5	5					3	2	2
一	礻	氵	亻	亻	一	一	丨	亻	丨	丨	一	丨	纟	囑	ノ	今	尸	十	ノ	ノ
厂	礻	氵	亻	亻	一	一	丨	亻	丨	丨	厂	耳	纟	囑	ノ	今	尸	十	ノ	ノ
尸	礻	氵	信	但	立	身	尸	但	曰	心	辱	職	織	囑	角	角	尸	木	今	今
唇	礻	氵	信	但	立	身	尸	但	曰	心	辱	職	織	囑	角	角	尸	木	今	今
唇	礻	氵	信	但	立	身	尸	但	曰	心	辱	職	織	囑	角	角	尸	木	今	今
唇	神	津	信	侵	辛	身	臣	伸			辱	職	織	囑	觸	飾	殖	植	食	色

仁	刃	人	親	薪	震	審	新	慎	寢	診	森	進	紳	深	針	真	浸	振	娠
6		1	2				2				1	3		3	6	3			
ノ	丁	ノ	亻	一	一	一	亻	忄	宀	言	一	亻	纟	冫	金	一	冫	扌	ノ
仁	刀	人	亻	薪	震	審	新	慎	寢	言	十	亻	纟	冫	金	一	冫	扌	ノ
仁	刀		辛	薪	震	審	新	慎	寢	言	十	亻	纟	冫	金	一	冫	扌	ノ
仁			親	薪	震	審	新	慎	寢	言	十	亻	纟	冫	金	一	冫	扌	ノ
			親	薪	震	審	新	慎	寢	言	十	亻	纟	冫	金	一	冫	扌	ノ
			親	薪	震	審	新	慎	寢	言	十	亻	纟	冫	金	一	冫	扌	ノ

随	鍾	穗	睡	遂	醉	推	衰	粹	帥	炊	垂	吹	水	囟	尋	陣	甚	迅	尽
						6				6			1	2					
辶	钅	禾	目	辶	酉	一	亻	亻	亻	火	亻	口	丨	丨	冫	阝	一	匕	冫
阝	钅	禾	目	辶	酉	一	亻	亻	亻	火	亻	口	丨	丨	冫	阝	一	匕	冫
阝	钅	禾	目	辶	酉	一	亻	亻	亻	火	亻	口	丨	丨	冫	阝	一	匕	冫
阝	钅	禾	目	辶	酉	一	亻	亻	亻	火	亻	口	丨	丨	冫	阝	一	匕	冫
随	鍾	穗	睡	遂	醉	推	衰	粹	帥	炊	垂	吹	水	囟	尋	陣	甚	迅	尽

船	旋	栓 ⁺	扇	染	洗	淺	泉	專	宣	先	占	仙 ⁺	川	千	絕	舌	說	節	攝	雪
2				6	6	4	6	6	6	1			1	1	5	5	4	4		2
舟	舟	一	三	シ	シ	シ	イ	百	ハ	ノ	ト	ノ	川	一	糸	一	言	竹	一	二
舟	舟	十	三	シ	シ	シ	白	百	ハ	ノ	ト	ノ	川	二	糸	二	言	竹	十	二
舟	舟	松	戸	汎	汎	汎	白	宙	宇	牛	ト	仙	川	千	糸	千	言	節	打	雨
船	旋	松	戸	汎	汎	汎	泉	車	官	生	占	仙			糸	千	言	節	打	雨
船	旋	栓	扇	染	洗	淺	泉	專	宣	先	占	仙			絶	舌	說	節	攝	雪

[illegible]

怠	待	耐	体	対	太	駄	惰	墮	妥	打	多	他		損	尊	孫	村	存	率	卒
3		2	3	2					3	2	3		【夕】	5	6	4	1	6	5	4
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀		㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁		㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁
㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂		㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂
㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃		㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃
怠	待	耐	体	対		駄	惰	墮	妥	打	多	他		損	尊	孫	村	存	率	卒
怠	待	耐	体	対		駄	惰	墮			多			損	尊	孫	村	存	率	卒

卓	沢	沢	宅	滝	題	第	台	代	大	態	滞	隊	貸	替	逮	袋	泰	帯	退	胎
			6		3	3	2	3	1	5		4	5					4	5	
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁
㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂
㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃
卓	沢	沢	宅	滝	題	第	台	代		態	滞	隊	貸	替	逮	袋	泰	帯	退	胎
卓			宅	滝	題	第	台	代		態	滞	隊	貸	替	逮	袋	泰	帯	退	胎

誕	端	嘆	短	淡	探	胆	炭	単	担	丹	棚	奪	脱	達	但	濁	諾	濯	託	拓
6			3		6		3	4	6					4						
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁
㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂
㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃
誕	端	嘆	短	淡	探	胆	炭	単	担		棚	奪	脱	達	但	濁	諾	濯	託	拓
誕	端	嘆	短		探	胆	炭	単	担		棚	奪	脱	達	但	濁	諾	濯	託	拓

竹	置	稚	痴	遲	致	恥	値	知	池	地		壇	談	暖	彈	斷	段	男	団	鍛
1	4						6	2	2	2	【㇀】		3	6		5	6	1	5	
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀		㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁		㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁	㇁
㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂		㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂	㇂
㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃		㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃	㇃
竹	置	稚	痴	遲	致	恥	値	知	池	地		壇	談	暖	彈	斷	段	男	団	鍛
竹	置	稚	痴	遲	致	恥	値	知	池	地		壇	談	暖	彈	斷	段	男	団	鍛

腸	超	脹	朝	鳥	頂	鈞 ⁺	眺 ⁺	彫	張	帳	挑 ⁺	長	町	兆	庁	弔	丁	貯	著	駐
4			2	2	6				5	3		2	1	4	6		3	4	6	
𠂇	丰	𠂇	一	𠂇	丁	金	目	月	弓	巾	扌	丨	丨	丿	宀	冫	一	丨	艹	丨
𠂇	丰	𠂇	古	广	厂	金	目	月	弓	巾	扌	乚	口	丿	宀	冫	丁	貝	艹	丨
𠂇	丰	𠂇	直	户	𠂇	金	目	月	引	巾	扌	乚	田	兆	庁	弔		貝	艹	馬
𠂇	起	𠂇	朝	𠂇	頂	金	目	周	彊	帳	扌	長	田	兆	庁	弔		貯	著	駐
𠂇	超	𠂇	朝	鳥	頂	鈞	眺	周	張	帳	挑	長	町				貯	著	著	駐
腸	超	脹	朝	鳥	頂	鈞	眺	彫	張	帳	挑	長	町				貯	著	著	駐

[illegible]

提	堤	偵	停	逋	訂	庭	帝	貞	亭	邸	抵	底	定	弟	呈	低	廷	坪	漬
5			4			3			4			4	3	2		4			
扌	一	亻	亻	尸	讠	宀	冫	丨	宀	阝	扌	广	宀	彡	丷	ノ	一	一	氵
扣	扌	伉	伉	户	言	庒	冫	上	宀	邑	扌	广	宀	彡	口	个	千	土	汜
捍	扌	仈	仈	戶	言	庒	冫	占	宀	氏	扌	广	宀	彡	旦	佞	壬	圪	汁
捍	扌	仈	仈	肩	言	庒	冫	占	宀	氏	扌	广	宀	彡	早	佞	壬	圪	津
提	扌	值	停	肅	訃	庭	帝	貞	亭	邸	抵	底	定	弟	呈	低	廷	坭	清
提	扌	堤	偵	逋	訂	庭	帝	貞	亭	邸	抵	底	定	弟	呈	低	廷	坪	漬

添	展	点	店	典	天	撒	徹	鉄	哲	迭	敵	適	滴	摘	笛	的	泥	締	艇	程
6	2	2	4	1				3		5	5				3	4				5
灬	一	丶	广	一	一	扌	彳	钅	一	辶	广	广	冫	扌	竹	丷	氵	纟	舟	辶
灬	一	ト	广	冂	二	扌	彳	钅	一	辶	广	广	冫	扌	竹	丷	氵	纟	舟	辶
沃	尸	ト	广	曲	天	扌	彳	金	扌	辶	广	广	冫	扌	竹	丷	氵	纟	舟	辶
沃	尸	占	广	曲	天	扌	彳	金	扌	辶	广	广	冫	扌	竹	丷	氵	纟	舟	辶
添	展	占	店	典		撒	徹	鉄	哲	迭	敵	適	滴	摘	笛	的	泥	締	艇	程
添	展	点	店	典		撒	徹	鉄	哲	迭	敵	適	滴	摘	笛	的	泥	締	艇	程

灯	冬	刀	怒	度	努	奴	土	塗	渡	都	途	徒	吐	斗		電	殿	伝	田	転
4	2	2		3	4		1			3		4				2		4	1	3
灬	ノ	刀	乚	一	乚	乚	一	灬	冫	一	辶	辶	口	勹	【ト】	二	宀	ノ	一	冂
灬	夕	刀	女	广	女	女	十	灬	冫	十	辶	辶	口	勹	【ト】	二	宀	ノ	一	冂
灬	夕		女	广	女	女	土	灬	冫	土	辶	辶	口	勹	【ト】	二	宀	ノ	一	冂
火	冬		奴	度	努	奴		塗	渡	者	余	徒	叶	斗		雷	殿	仁	田	車
灯	冬		怒	度	努	奴		塗	渡	都	途	徒	叶	吐		雷	殿	伝	田	転
灯			怒	度	努			塗	渡	都	途	徒	吐			電	殿	伝		転

湯	棟	搭	塔	陶	盜	悼	党	透	討	桃	鳥	唐	凍	倒	逃	到	東	豆	投	当
3							6		6		3						2	3	3	2
冫	十	扌	扌	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
冫	木	扌	扌	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
湯	栢	搭	塔	陶	盜	悼	党	透	討	桃	鳥	唐	凍	倒	逃	到	東	豆	投	当
湯	栢	搭	塔	陶	盜	悼	党	透	討	桃	鳥	唐	凍	倒	逃	到	東	豆	投	当
湯	栢	搭	塔	陶	盜	悼	党	透	討	桃	鳥	唐	凍	倒	逃	到	東	豆	投	当
湯	棟	搭	塔	陶	盜	悼	党	透	討	桃	鳥	唐	凍	倒	逃	到	東	豆	投	当

働	道	童	堂	動	胴	洞	同	騰	闕	騰	頭	糖	踏	稻	統	筒	等	答	登	痘
4	2	3	4	3			2				2	6			5		3	2	3	
亻	辶	立	一	亻	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
亻	辶	立	一	亻	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
働	道	童	堂	動	胴	洞	同	騰	闕	騰	頭	糖	踏	稻	統	筒	等	答	登	痘
働	道	童	堂	動	胴	洞	同	騰	闕	騰	頭	糖	踏	稻	統	筒	等	答	登	痘
働	道	童	堂	動	胴	洞	同	騰	闕	騰	頭	糖	踏	稻	統	筒	等	答	登	痘
働	道	童	堂	動	胴	洞	同	騰	闕	騰	頭	糖	踏	稻	統	筒	等	答	登	痘

博	舶	迫	泊	拍	伯	白	賠	買	媒	陪	培	梅	倍	壳	輩	廢	敗	排	配	俳
4						1		2				4	3	2			4		3	6
一	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
恒	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
恒	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
博	舶	迫	泊	拍	伯	白	賠	買	媒	陪	培	梅	倍	壳	輩	廢	敗	排	配	俳

伴	帆	犯	半	反	閥	罰	拔	伐	髮	𦏧	鉢	八	肌	畑	箱	爆	縛	漠	麦	薄
		5	2	3						3		1		3	3				2	
ノ	勹	ノ	勹	一	丨	冂	扌	ノ	丨	フ	金	ノ	丨	火	竹	火	纟	氵	一	艹
伴	帆	犯	半	反	閥	罰	拔	伐	髮	𦏧	鉢	八	肌	畑	箱	爆	縛	漠	麦	薄
伴	帆	犯	半	反	閥	罰	拔	伐	髮	𦏧	鉢	八	肌	畑	箱	爆	縛	漠	麦	薄
伴	帆	犯	半	反	閥	罰	拔	伐	髮	𦏧	鉢	八	肌	畑	箱	爆	縛	漠	麦	薄
伴	帆	犯	半	反	閥	罰	拔	伐	髮	𦏧	鉢	八	肌	畑	箱	爆	縛	漠	麦	薄

比	盤	蛮	番	晩	藩	繁	範	頒	煩	搬	飯	販	般	畔	班	版	板	坂	判
5			2	6							4				6	5	3	3	5
匕	角	方	立	日	一	七	竹	八	火	扌	今	丨	月	丨	一	丨	一	一	丨
匕	舟	亦	平	昭	藩	繁	範	頒	煩	搬	飯	販	般	畔	班	版	板	坂	判
匕	舟	亦	平	昭	藩	繁	範	頒	煩	搬	飯	販	般	畔	班	版	板	坂	判
比	盤	蛮	番	晩	藩	繁	範	頒	煩	搬	飯	販	般	畔	班	版	板	坂	判
比	盤	蛮	番	晩	藩	繁	範	頒	煩	搬	飯	販	般	畔	班	版	板	坂	判

美	尾	避	罷	碑	費	扉	悲	被	秘	疲	飛	卑	非	肥	披	彼	批	否	妃	皮
3					4		3		6		4		5	5			6	6		3
艹	乇	辶	罴	石	一	三	丨	衤	二	一	飞	丨	丨	一	扌	扌	扌	丷	丨	丨
美	尾	避	罷	碑	費	扉	悲	被	秘	疲	飛	卑	非	肥	披	彼	批	否	妃	皮
美	尾	避	罷	碑	費	扉	悲	被	秘	疲	飛	卑	非	肥	披	彼	批	否	妃	皮
美	尾	避	罷	碑	費	扉	悲	被	秘	疲	飛	卑	非	肥	披	彼	批	否	妃	皮
美	尾	避	罷	碑	費	扉	悲	被	秘	疲	飛	卑	非	肥	披	彼	批	否	妃	皮

猫	描	病	秒	苗	標	漂	評	票	俵	表	氷	百	姫	筆	泌	必	匹	鼻	微	備
		3	3		4		5	4	5	3	3	1		3		4		3		5
犭	扌	疒	二	一	木	氵	言	一	亻	一	冫	一	女	竹	氵	一	一	自	彳	亻
猫	描	病	秒	苗	標	漂	評	票	俵	表	氷	百	姫	筆	泌	必	匹	鼻	微	備
猫	描	病	秒	苗	標	漂	評	票	俵	表	氷	百	姫	筆	泌	必	匹	鼻	微	備
猫	描	病	秒	苗	標	漂	評	票	俵	表	氷	百	姫	筆	泌	必	匹	鼻	微	備
猫	描	病	秒	苗	標	漂	評	票	俵	表	氷	百	姫	筆	泌	必	匹	鼻	微	備

婦	浮	赴	負	附	怖	府	扶	布	付	父	夫	不	瓶	敏	頻	賓	貧	浜	品
5			3			4		5	4	2	4	4					5		3
く	フ	一	ノ	了	ハ	一	一	ノ	ノ	ノ	一	一	コ	一	一	宀	ノ	シ	一
如	浮	+	フ	尸	忄	广	扌	ナ	イ	ハ	二	フ	兰	一	ト	宀	ハ	シ	口
婦	浮	キ	个	附	忄	广	扌	ナ	仁	父	夫	不	并	一	ト	宀	分	シ	口
婦	浮	キ	个	附	忄	广	扌	ナ	仁	父	夫	不	并	一	ト	宀	分	シ	口
婦	浮	赴	負	附	怖	府	扶	布	付				瓶	敏	頻	賓	貧	浜	品
婦	浮	赴	負	附	怖	府	扶	布	付				瓶	敏	頻	賓	貧	浜	品

腹	福	復	幅	副	服	伏	風	封	舞	部	武	侮	譜	賦	膚	敷	腐	普	富	符
6	3	5		4	3		2			3	5								5	
月	礻	行	巾	冫	月	ノ	ノ	一	二	一	一	一	言	日	一	冫	一	一	宀	一
肚	和	行	巾	冫	月	ノ	ノ	一	二	一	一	一	言	日	一	冫	一	一	宀	一
肚	和	行	巾	冫	月	ノ	ノ	一	二	一	一	一	言	日	一	冫	一	一	宀	一
肚	福	復	幅	副	服	伏	風	封	舞	部	武	侮	譜	賦	膚	敷	腐	普	富	符
腹	福	復	幅	副	服	伏	風	封	舞	部	武	侮	譜	賦	膚	敷	腐	普	富	符

併	兵	平	丙	聞	文	分	奮	憤	墳	噴	雰	紛	粉	物	仏	沸	扌	覆	複
	4	3		2	1	2	6					4	3	5					5
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
併	兵	平	丙	聞	文	分	奮	憤	墳	噴	雰	紛	粉	物	仏	沸	扌	覆	複
併	兵	平	丙	聞	文	分	奮	憤	墳	噴	雰	紛	粉	物	仏	沸	扌	覆	複

勉	便	弁	編	遍	偏	變	返	辺	片	別	癖	壁	米	弊	幣	塀	閉	陛	柄	並
3	4	5	5			4	3	4	6	4			2				6	6		6
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
勉	便	弁	編	遍	偏	變	返	辺	片	別	癖	壁	米	弊	幣	塀	閉	陛	柄	並
勉	便	弁	編	遍	偏	變	返	辺	片	別	癖	壁	米	弊	幣	塀	閉	陛	柄	並

放	抱	宝	奉	邦	芳	包	方	簿	暮	慕	墓	募	母	舗	補	浦	捕	保	步
3		6				4	2		6		5		2		6			5	2
ノ	一	ハ	三	三	一	ノ	一	竹	一	苜	一	一	人	ト	ナ	シ	一	人	一
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ

【水】

防	忘	妨	坊	忙	乏	亡	縫	褒	飽	豊	報	訪	崩	砲	峰	倣	俸	胞	泡	法
5	6					6				5	5	6								4
フ	一	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ

撲	墨	僕	牧	朴	木	北	謀	膨	暴	貿	棒	帽	傍	望	紡	剖	冒	某	肪	房
			4		1	2			5	5	6			4						
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ

抹	末	又	膜	幕	埋	枚	妹	每	魔	磨	摩	麻	盆	凡	翻	奔	本	堀	没
	4			6		6	2	2									1		
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ

【マ】

娘	霧	夢	無	務	矛		眠	民	妙	脈	密	岬	魅	味	未		漫	慢	滿	万
		5	4	5				4		4	6			3	4				4	2
く	二	一	ノ	マ	マ	【ム】	目	一	く	月	宀	丨	巾	丨	一	【ミ】	氵	丨	氵	一
娘	霧	夢	無	務	矛		眠	民	妙	脈	密	岬	魅	味	未		漫	慢	滿	万
娘	霧	夢	無	務	矛		眠	民	妙	脈	密	岬	魅	味	未		漫	慢	滿	万
娘	霧	夢	無	務	矛		眠	民	妙	脈	密	岬	魅	味	未		漫	慢	滿	万

網	猛	耗	盲	妄	毛	模	茂		綿	面	免	滅	鳴	銘	盟	迷	明	命	名
					2	6			5	3			2		6	5	2	3	1
糸	ノ	三	丨	丨	一	一	一	【毛】	糸	一	ノ	氵	口	金	口	丨	ノ	ノ	【メ】
網	猛	耗	盲	妄	毛	模	茂		綿	面	免	滅	鳴	銘	盟	迷	明	命	名
網	猛	耗	盲	妄	毛	模	茂		綿	面	免	滅	鳴	銘	盟	迷	明	命	名
網	猛	耗	盲	妄	毛	模	茂		綿	面	免	滅	鳴	銘	盟	迷	明	命	名

輸	諭	愉	油	由		躍	藥	訊	約	役	厄	野	夜		匆	問	紋	門	默	目
5			3	3			3	6	4	3		2	2			3		2		1
車	言	丨	丨	丨	【ユ】	足	一	言	く	夕	一	口	一	【ヤ】	ノ	丨	く	丨	目	丨
輸	諭	愉	油	由		躍	藥	訊	約	役	厄	野	夜		匆	問	紋	門	默	目
輸	諭	愉	油	由		躍	藥	訊	約	役	厄	野	夜		匆	問	紋	門	默	目
輸	諭	愉	油	由		躍	藥	訊	約	役	厄	野	夜		匆	問	紋	門	默	目

譽	余	予	与		優	融	憂	誘	雄	遊	裕	猶	郵	悠	幽	勇	有	友	唯	癒
	5	3			6					3			6			4	3	2		
〃	ノ	マ	一	【ヨ】	人	人	人	言	一	一	一	ノ	三	イ	丨	マ	ノ	一	口	一
譽	余	予	与		優	融	憂	誘	雄	遊	裕	猶	郵	悠	幽	勇	有	友	唯	癒
譽	余	予	与		優	融	憂	誘	雄	遊	裕	猶	郵	悠	幽	勇	有	友	唯	癒
譽	余	予	与		優	融	憂	誘	雄	遊	裕	猶	郵	悠	幽	勇	有	友	唯	癒

臨	隣	輪	倫	厘	林	綠	力	糧	療	寮	領	僚	量	陵	獵	涼	料	良	兩	了
6		4			1	3	1				5		4				4	4	3	
1	3	百	亻	一	一	夕	丂	艹	宀	人	亻	口	3	ノ	冫	艹	丿	一	丂	
厂	阡	亘	亻	厂	十	紂	力	艹	宀	人	亻	口	阡	ノ	冫	艹	丿	一	了	
臨	隣	輪	倫	厘	林	綠	糧	療	寮	領	僚	量	陵	獵	涼	料	良	兩	了	
臨	隣	輪	倫	厘	林	綠	糧	療	寮	領	僚	量	陵	獵	涼	料	良	兩	了	

列	歴	曆	麗	齡	隸	靈	零	鈴	例	戾	勵	冷	礼	令	類	罍	累	淚
3	4								4			4	3	4	4			
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕
夕	歴	歴	歴	歴	歴	歴	歴	歴	例	戾	勵	冷	礼	令	類	罍	累	淚
列	歴	曆	麗	齡	隸	靈	零	鈴	例	戾	勵	冷	礼	令	類	罍	累	淚
列	歴	曆	麗	齡	隸	靈	零	鈴	例	戾	勵	冷	礼	令	類	罍	累	淚

六	漏	楼	廊	浪	朗	郎	劳	老	露	路	炉	鍊	練	廉	連	恋	裂	烈	劣
1					6		4	4		3		3			4				
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
六	漏	楼	廊	浪	朗	郎	劳	老	露	路	炉	鍊	練	廉	連	恋	裂	烈	劣
六	漏	楼	廊	浪	朗	郎	劳	老	露	路	炉	鍊	練	廉	連	恋	裂	烈	劣
	漏	楼	廊	浪	朗	郎	劳	老	露	路	炉	鍊	練	廉	連	恋	裂	烈	劣
	漏	楼	廊	浪	朗	郎	劳	老	露	路	炉	鍊	練	廉	連	恋	裂	烈	劣

腕	湾	桦	惑	賄	話	和	論	録
					2	3	6	4
月	一	一	一	一	一	一	一	一
肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
腕	湾	桦	惑	賄	話	和	論	録

学年別漢字配当表

ウ	イ	ア	学年
右雨	一		1
羽雲	引		2
運	飲 医委意育員院	悪安暗	3
	以衣位围胃印	愛案	4
	移因	圧	5
宇	異遺域		6

・平成元年三月一五日文部省告示「小学校学習指導要領」(平成四年四月施行)では、学年別漢字配当表の漢字(一〇〇六字)を小学校各学年で指導するように定めている。(この表の漢字を学習漢字・教育用漢字などと呼ぶ。)

・小学校では、その学年に配当されている漢字を読み、その大体を書くことができるように指導する。(必要に応じて、一学年前または後の学年で指導してもよい。)

・ここには、学年別漢字配当表の漢字を音別に並べかえ、見やすくして掲げた。

・表の「総数」とは、その学年までに配当さ

れている漢字の総数という意味である。

・「漢字の指導においては、学年別漢字配当表に示す漢字の字体を標準とすること」とされている。しかし、「常用漢字表」(昭和五六年一〇月一日内閣告示)の「字体についての解説」には、「筆写の楷書では、点画の長短、方向、つけるかはなすか、はらうかとめるか、はねるかとめるか等については、いろいろな書き方がある」旨書かれており(八ページ参照)、厳密にこの「標準字体」どおりでなければならぬというわけではない。漢字というものは骨組みさえしっかりしていれば

よく、細部の筆遣いにまでこだわる必要はない。未と末、千と干、大と丈のように別の字になってしまうものは細部まで注意する必要があるが、例えば「標準字体」の女^レ年^外宮^レ牧^を女^年外^レ宮^レ牧と書いても一向に差し支えない。「標準字体」は、その漢字を初めて学習する児童を指導する際の手本とするために設けられたものであろう。学校で習う前にすでにその漢字を習得している児童もいることであり、書き取りテストでは「標準字体」どおりではないからといって誤りとしてはならない。

・本告示は昭和五二年七月二三日付告示を改定したもの。旧表から一〇字(竜勧飲兼釈需称是俗式)削られ、新たに二〇字(桜激札皿枝飼松盛昔巢装束誕笛豆梅箱並暮夢)加えられた。(三省堂編修所注)

	工	才	力	キ	夕	ケ	コ	サ	
子四系字	円	王音	学 下火花貝	金 氣九休玉	空	月犬見	五口校	左三山	
止市矢姉思紙	園遠		何科夏家歌画 回会海絵外角 樂活間丸岩顔	汽記帰弓牛魚 京強教近		兄形計元言原	戸古午後語工 公広交光考行 高黄合谷国黒 今	才細作算	
仕死使始指齒	泳駅	央横屋温	化荷界開階寒 感漢館岸	起期客究急級 宮球去橋業曲 局銀	区苦具君	係輕血決研県	庫湖向幸港号 根	祭皿	
士氏史司試児治	英栄塩	億	加果貨課芽改械 害街各覚完官管 関觀願	希季紀喜旗器機 議求泣救給拳漁 共協鏡競極	訓軍郡	徑型景芸欠結建 健験	固功好候航康告	差菜最材昨札刷 殺察参産散残	
支志枝師資飼示	永宮衛易益液演	応往桜恩	可仮価河過賀快 解格確額刊幹慣 眼	基寄規技義逆久 旧居許境均禁	句群	経潔件券険検限 現減	故個護効厚耕鉦 構興講混	查再災妻採際在 財罪雜酸賛	
至私姿視詞誌	映延沿		我灰拡革閣割 株干卷看簡	危机揮貴疑吸 供胸郷勤筋		系敬警劇激穴 絹権憲源嚴	己呼誤后孝皇 紅降鋼刻穀骨 困	蚕 砂座済裁策冊	

学年	チ	タ	ソ	セ	ス	シ
1	竹中虫町	大男	早草足村	先石赤千川 正生青夕	水	耳七車手 十出女小 上森人
2	鳥朝直 地池知茶昼長	多太体台	組走	船線前 西声星晴切雪	回数	寺自時室社弱 首秋週春書少 場色食心新親
3	着注柱丁帳調	他打對待代第 題炭短談	相送想息速族	世整昔全		詩次事持式実 写者主守取酒 受州拾終習集 住重宿所暑助 昭消商章勝乘 植申身神真深 進
4	置仲貯兆腸	帶隊達単	孫争倉巢束側続卒	成省清静席積折 節說浅戦選然		辞失借種周祝順 初松笑唱焼象照 賞臣信
5	築張	退貸態団断	測属率損 祖素総造像増則	制性政勢精製税 責績接設舌絶銭		似識質舎謝授修 述術準序招承証 条状常情織職
6	潮賃 値宙忠著庁頂	宅担探誕段暖	藏臈存尊 奏窓創装層操	洗染善 盛聖誠宣専泉	垂推寸	磁射捨尺若樹 収宗就衆従縦 縮熟純処署諸 除将傷障城蒸 針仁

マ	ホ	ヘ	フ	ヒ	ハ	ノ	ネ	ニ	ナ	ト	テ	ツ
	木本		文	百	白八		年	二日入		土	天田	
毎妹万	歩母方北	米	父風分聞		馬売買麦半番			肉	内南	同道読 刀冬当東答頭	弟店点電	通
	放	平返勉	負部服福物	皮悲美鼻筆氷 表秒病品	波配倍箱畑発 反坂板	農				登等動童 都度投豆島湯	定庭笛鉄転	追
末満	包法望牧	兵別辺変便	不夫付府副粉	飛費必票標	敗梅博飯		熱念			毒 徒努灯堂働特得	低底停の典伝	
	保墓報豊防貿暴	編弁	布婦富武復復仏	比肥非備俵評貧	破犯判版	能	燃	任		統銅導徳独	提程適敵	
枚幕	棒 補暮宝訪亡忘	並陞閉片	腹奮	否批秘	晚 派拝背肺俳班	納脳		乳認	難	討党糖届	展	痛

学年	総数	計	ワ	ロ	レ	ル	リ	ラ	ヨ	ユ	ヤ	モ	メ	ム	ミ
1	八〇	八〇		六			立力林					目	名		
2	二四〇	一六〇	話				里理	来	用曜	友	夜野	毛門	明鳴		
3	四四〇	二〇〇	和	路	礼列練		流旅両緑	落	予羊洋葉陽様	由油有遊	役薬	問	命面		味
4	六四〇	二〇〇		老勞録	令冷例歴連	類	利陸良料量輪		要養浴	勇	約			無	未脈民
5	八二五	一八五					略留領		余預容	輸			迷綿	務夢	
6	一〇〇六	一八一		朗論			裏律臨	乱卵覧	幼欲翌	郵優	訳	模	盟		密

「異字同訓」の漢字の用法

・「当用漢字音訓表」が告示された昭和四八年六月
一八日に「参考資料」として発表されたもので、
国語審議会漢字部会の作成による。

(三省堂編修所注)

1 この表は、同音で意味の近い語が、漢字で書かれる
場合、その慣用上の使い分けの大体を、用例で示した
ものである。

2 その意味を表すのに、二つ以上の漢字のどちらを使
うかが一定せず、どちらを用いてもよい場合がある。
又、一方の漢字が広く一般的に用いられるのに対して、
他方の漢字はある限られた範囲にしか使われないもの
もある。

3 その意味を表すのに、適切な漢字のない場合、又は
漢字で書くことが適切でない場合がある。このときは、
当然仮名で書くことになる。

あう

合う——計算が合う 目が合う 服が体に合う 好みに
合う 割に合わない仕事 駅で落ち合う
会う——客と会う時刻 人に会いに行く

遭う——災難に遭う にわか雨に遭う

あがる・あげる

上がる・上げる——地位が上がる 物価が上がる 腕前
を上げる お祝いの品物を上げる

揚がる・揚げる——花火が揚がる 歓声が揚がる たこ
を揚げる 船荷を揚げる てんぷらを揚げる

挙げる——例を挙げる 全力を挙げる 国を挙げて 犯
人を挙げる

あく・あける

明く・明ける——背の明いた服 目明き千人夜が明ける
空く・空ける——席が空く 空き箱 家を空ける 時間
を空ける

開く・開ける——幕が開く 開いた口がふさがらない
店を開ける 窓を開ける

あし

足——足の裏 手足 足しげく通う 客足
脚——机の脚(足) えり脚(足) 船脚(足)

あたい

価——価が高くて買えない 商品に価を付ける
値——そのものの持つ値 未知数xの値を求める 称賛
に値する

あたたかい・あたたかだ・あたたまる・あたためる
暖かい・暖かだ・暖まる・暖める——暖かい心 暖かな

毛布 暖まった空気 室内を暖める

温かい・温かだ・温まる・温める——温かい料理 温か

な家庭 心温まる話 スーパを温める

あたる・あてる

当たる・当てる——ボールが体に当たる 任に当たる

予報が当たる 出発に当たって 胸に手を当てる 日

光に当てる 当て外れ

充てる——建築費に充(当)てる 保安要員に充(当)てる

あつい

暑い——今年の夏は暑い 暑い部屋 暑がり屋

熱い——熱い湯

厚い——厚い壁で隔てる 支持者の層が厚い 手厚いもてなし

あと

跡——足の跡 苦心の跡が見える 容疑者の跡を追う

跡目を継ぐ

後——後の祭り 後を頼んで行く 後から行く 後にな

り先になり

あぶら

油——油を流したような海面 ごまの油で揚げる 水と

油 火に油を注ぐ

脂——脂がのる年ごろ 牛肉の脂 脂ぎった顔

あやまる

誤る——適用を誤る 誤りを見付ける

謝る——謝って済ます 手落ちを謝る

あらい

荒い——波が荒い 気が荒い 金遣いが荒い

粗い——網の目が粗い きめが粗い 仕事が粗い

あらわす・あらわれる

表す・表れる——言葉に表す 喜びを顔に表す 喜びの表れ

現す・現れる——姿を現す 太陽が現れる 怪獣が現れる

著す——書物を著す

ある

有る——財産が有る 子が有る 有り合わせ 有り金 有様

在る——日本はアジアの東に在る 在り方

あわせる

合わせる——手を合わせて拝む 時計を合わせる 調子

を合わせる 力を合わせる

併せる——二つの会社を併せる 両者を併せて考える

併せて健康を祈る

いたむ・いためる

痛む・痛める——足が痛む 腰を痛める

傷む・傷める——家が傷む 傷んだ果物 建物を傷める

悼む——死を悼む 故人を悼む

いる

入る——念の入った話 気に入る 仲間入り 恐れ入る

要る——金が要る 保証人が要る 親の承諾が要る 何

も要らない

うける

受ける——注文を受ける 命令を受ける 保護を受ける

相談を受ける

請ける——請け負う 下請け

うつ

打つ——くぎを打つ 碁を打つ 電報を打つ 心を打つ

話 打ち消す

討つ——賊を討つ 義士の討ち入り 相手を討ち取る

撃つ——鉄砲を撃つ いのししを猟銃で撃つ

うつす・うつる

写す・写る——書類を写す 写真を写す 風景を文章に

写す 写真の中央に写っている人

映す・映る——幻燈を映す スクリーンに映す 壁に影

が映る 鏡に姿が映る 着物がよく映る

うむ・うまれる

生む・生まれる——新記録を生む 傑作を生む 下町生

まれ 京都に生まれる

産む・産まれる——卵を産み付ける 産みの苦しみ 産

み月 予定日が来てもなかなか産まれない

うれい・うれえ

憂い・憂え——後顧の憂い(え) 災害を招く憂い(え)がある

愁い——春の愁い 愁いに沈む

える

得る——勝利を得る 許可を得る 得物を振り回す

獲る——獲物をねらう

おかす

犯す——過ちを犯す 法を犯す

侵す——権利を侵(犯)す 国境を侵(犯)す

冒す——危険を冒す 激しい雨を冒して行く

おくる

送る——荷物を送る 卒業生を送る 順に席を送る 送り状

贈る——お祝いの品を贈る 感謝状を贈る 故人に位を贈る

おくれる

遅れる——完成が遅れる 列車が遅れる 会合に遅れる

後れる——気後れする 人に後れを取る 後れ毛

おこす・おこる

起こす・起こる——体を起こす 訴訟を起こす 朝早く

起こす 事件が起こる 持病が起こる 物事の起こり

興す・興る——産業を興す 国が興る

おさえる

押さえる——紙の端を押さえる 証拠を押さえる 要点

を押さえる 差し押さえる

抑える——物価の上昇を抑える 要求を抑える 怒りを抑える

おさまる・おさめる

収まる・収める——博物館に収まる 争いが収まる 効

果を収める 成功を収める 目録に収める

納まる・納める——品物が納まった 国庫に納まる 税

を納める 注文の品を納める

治まる・治める——国内がよく治まる 痛みが治まる

領地を治める

修まる・修める——身持ちが修まらない 学を修める

おす

押す——ベルを押す 横車を押す 押し付けがましい

推す——会長に推す 推して知るべしだ

おどる

踊る——リズムに乗って踊る 踊らされて動く 盆踊り 踊り子

躍る——馬が躍り上がる 小躍りして喜ぶ 胸が躍る

おもて

表——裏と表 表で遊ぶ 表向き

面——面も振らずまっしぐらに 矢面に立つ

おりる・おろす

降りる・降ろす——電車を降りる 高所から飛び降りる

月面に降り立つ 霜が降りる 次の駅で降ろして下さ

い 主役から降ろされた

下りる・下ろす——幕が下りる 錠が下りる 許可が下

りる 枝を下ろす 貯金を下ろす

卸す——小売りに卸す 卸値 たな卸し

かえす・かえる

返す・返る——もとの持ち主に返す 借金を返す 恩返し

貸した金が返る 正気に返る 返り咲き

帰す・帰る——親もとへ帰す 故郷へ帰る 帰らぬ人と

なる 帰り車

かえりみる

顧みる——過去を顧みる 顧みて他を言う

省みる——自らを省みる 省みて恥じるところがない

かえる・かわる

変える・変わる——形を変える 観点を変える 位置が

変わる 心変わりする 声変わり 変わり種

換える・換わる——物を金に換える 名義を書き換える

車を乗り換える 金に換わる

替える・替わる——振り替える 替え地 替え歌 二の

替わり 入れ替わる 社長が替わる

代える・代わる——書面をもってあいさつに代える 父

に代わって言う 身代わりになる

かおる

薫る——風薫る (三省堂編修所注 「常用漢字表」では、

香り——茶の香り 「香」に訓「かおる」が掲げられている。)

かかる・かける

掛かる・掛ける——迷惑が掛かる 腰を掛ける 保険を

掛ける 壁掛け 掛け売り

懸かる・懸ける——月が中天に懸かる 優勝が懸かる

賞金を懸ける 命を懸けて

架かる・架ける——橋が架かる 橋を架ける 電線を架ける
係る——本件に係る訴訟 係り結び 係員

かげ

陰——山の陰 陰の声 陰口を利く

影——障子に影が映る 影を隠す 影も形もない 影が薄い

かた

形——自由形 跡形もなく

型——型にはまる 一九七〇年型 血液型 鋳型

かたい

堅い——堅い材木 堅炭 手堅い商売

固い——団結が固い 固練り 頭が固い 固く信じる

硬い——硬い石 硬い表現

かわ

皮——皮をはぐ とらの皮 木の皮 化けの皮 面の皮

革——革のくつ なめし革

かわく

乾く——空気が乾く 干し物が乾く 乾いた土

渴く——のどが渴く 渴きを覚える

きく

聞く——物音を聞いた 話し声を聞く うわさを聞く

聞き流しにする

聴く——音楽を聴く 国民の声を聴く

きく

効く——薬が効く 宣伝が効く 効き目がある

利く——左手が利く 目が利く 機転が利く

きわまる・きわめる

窮まる・窮める——進退窮まる 窮まりなき宇宙 真理

を窮(究)める

極まる・極める——不都合極まる言動 山頂を極める

栄華を極める 見極める 極めて優秀な成績

究める——学を究(窮)める

くら

倉——倉敷料 倉荷証券

蔵——蔵座敷 蔵払い

こえる・こす

越える・越す——山を越える 峠を越す 年を越す 引

つ越す

超える・超す——現代を超(越)える 人間の能力を超

(越)える 百万円を超(越)える額 一千万人を超(越)

す人口

こおる・こおり

凍る——湖水が凍る 土が凍る

氷——氷が張った 氷をかく 氷砂糖

さがす

捜す——うちの中を捜す 犯人を捜す

探す——空き家を探(搜)す あらを探(搜)す

さく

裂く——布を裂く 仲を裂く 引き裂く

割く——時間を割く 紙面を割く 人手を割く

さげる

下げる——値段を下げる 軒を下げる

提げる——手に提げる 手提げかばん

さす

差す——腰に刀を差す かさを差す 差しつ差されつ

行司の差し違え 抜き差しならぬ 差し支え 差し出す

指す——目的地を指して進む 名指しをする 指し示す

刺す——人を刺す 布を刺す 本塁で刺されるとげが刺さる

さます・さめる

覚ます・覚める——太平の眠りを覚ます 迷いを覚ます

目が覚める 寢覚めが悪い

冷ます・冷める——湯冷まし 湯が冷める 料理が冷め

る 熱が冷める

しずまる・しずめる

静まる・静める——心が静まる あらしが静まる 鳴り

を静める 気を静める

鎮まる・鎮める——内乱が鎮まる 反乱を鎮める 痛み

を鎮める

沈める——船を沈める

しぼる

絞る——手ぬぐいを絞る 絞り染め

搾る——乳を搾る 搾り取る

しまる・しめる

締まる・締める——ひもが締まる 引き締まった顔 帯

を締める ねじを締める 心を引き締める 申し込み

の締め切り

絞まる・絞める——首が絞まる 首を絞める 羽交い絞め

閉まる・閉める——戸が閉まる ふたを閉める 店を閉める

すすめる

進める——前へ進める 時計を進める 交渉を進める

勧める——入会を勧める 転地を勧める

薦める——候補者として薦める

する

刷る——名刺を刷る 刷り物

擦る——転んでひざを擦りむく 擦り傷 洋服が擦り切れる

そう

沿う——川沿いの家 線路に沿って歩く

添う——影の形に添うように 連れ添う 付き添い

そなえる・そなわる

備える・備わる——台風に備える 調度品を備える 老

後の備え 必要品はすべて備わっている 人徳が備わる

供える——お神酒を供える お供え物

たえる

堪える——任に堪える 鑑賞に堪えない 遺憾に堪えない

耐える——重圧に耐(堪)える 風雪に耐(堪)える 困苦

欠乏に耐(堪)える

たずねる

尋ねる——道を尋ねる 由来を尋ねる 尋ね人

訪ねる——知人を訪ねる 史跡を訪ねる 明日お訪ねします

たたかう

戦う——敵と戦う

闘う——病氣と闘う

たつ

断つ——退路を断つ 快刀乱麻を断つ 茶断ち

絶つ——命を絶つ 縁を絶つ 消息を絶つ 後を絶たない

裁つ——生地を裁つ 紙を裁つ 裁ちばさみ

たつ・たてる

立つ・立てる——演壇に立つ 席を立つ 使者に立つ

危機に立つ 見通しが立つ うわさが立つ 立ち合う

柱を立てる 計画を立てる 手柄を立てる 顔を立て

る 立て直す

建つ・建てる——家が建つ ビルを建てる 銅像を建て

る 建てる

たつとい・とうとい

尊い——尊い神 尊い犠牲を払う

貴い——貴い資料 貴い体験

たま

玉——玉にきず 目の玉 玉をみがく

球——電気の球 球を投げる

弾——ピストルの弾

つかう

使う——機械を使って仕事をする 重油を使う

遣う——気遣う 心遣い 小遣い 銭 仮名遣い

つく・つける

付く・付ける——墨が顔に付く 味方に付く 利息が付

く 名を付ける 氣を付ける 条件を付ける 付け加

える

着く・着ける——席に着く 手紙が着く 東京に着く

船を岸に着ける 仕事に手を着ける 衣服を身に着ける

就く・就ける——床に就く 緒に就く 職に就く 役に就ける

つぐ

次ぐ——事件が相次ぐ 富士山に次ぐ山 取り次ぐ 次の間

継ぐ——布を継ぐ 跡を継ぐ 引き継ぐ 継ぎ目 継ぎを当てる

接ぐ——木を接ぐ 骨を接ぐ 接ぎ木

つくる

作る——米を作る 規則を作る 小説を作る まぐろを

刺身に作る 生け作り

造る——船を造る 庭園を造る 酒を造る

つ　つしむ

慎む——身を慎む　酒を慎む　言葉を慎む
 謹む——謹んで聞く　謹んで祝意を表する

つ　とめる

努める——完成に努める　解決に努める　努めて早起する
 勤める——会社に勤める　永年勤め上げた人　本堂でお勤めをする人　勤め人
 務める——議長を務める　主役を務める　主婦の務めを果たす

とく・とける

解く・解ける——結び目を解く　包囲を解く　問題を解く
 会長の任を解かれる　ひもが解ける　雪解け　疑いが解ける
 溶く・溶ける——絵の具を溶く　砂糖が水に溶ける　地域社会に溶け込む

と　とのう・と　とのえる

整う・整える——整った文章　隊列を整える　身辺を整える
 調子を整える
 調う・調える——嫁入り道具が調う　晴れ着を調える
 味を調える　費用を調える

と　ぶ

飛ぶ——鳥が空を飛ぶ　アフリカに飛ぶ　うわさが飛ぶ
 海に飛び込む　家を飛び出す　飛び石
 跳ぶ——みぞを跳ぶ　三段跳び　跳びはねる

と　まる・と　める

止まる・止める——交通が止まる　水道が止まる　笑いが止まらない　息を止める　通行止め
 留まる・留める——小鳥が木の枝に留(止)まる　ボタンを留める　留め置く　書留
 泊まる・泊める——船が港に泊まる　宿直室に泊まる
 友達を家に泊める

と　る

取る——手に取る　着物の汚れを取る　資格を取る　メモを取る　連絡を取る　年を取る
 採る——血を採る　高校の卒業生を採る　会議で決を採る
 執る——筆を執る　事務を執る　式を執り行う
 捕る——ねずみを捕る　生け捕る　捕り物
 撮る——写真を撮る　映画を撮る

な　い

無い——金が無い　無い物ねだり
 亡い——亡き父をしのぶ

な　お　す・な　お　る

直す・直る——誤りを直す　機械を直す　服装を直す
 故障を直す　ゆがみが直る
 治す・治る——風邪を治(直)す　けがが治(直)る
 治(直)らない病気

な　か

中——箱の中 両者の中に入る

仲——仲がいい 仲を取り持つ 仲働き

ながい

長い——長い髪の毛 長い道 気が長い 枝が長く伸びる
永い——ついに永い眠りに就く 永の別れ 末永く契る

ならう

習う——先生にピアノを習う 見習う
倣う——前例に倣う

のせる・のる

乗せる・乗る——母を飛行機に乗せて帰す 電波に乗せる
計略に乗せる 電車に乗って行く 馬に乗る 風
に乗って飛ぶ 時流に乗る 相談に乗る
載せる・載る——自動車に貨物を載せる たなに本を載
せる 雑誌に広告を載せる 机に載っている本 新聞
に載った事件

のばす・のびる

伸ばす・伸びる——手足を伸ばす 勢力を伸ばす 草が
伸びる 身長が伸びる 学力が伸びる 伸び伸びと育つ
延ばす・延びる——出発を延ばす 開会を延ばす 地下
鉄が郊外まで延びる 寿命が延びる 支払いが延び延
びになる

のぼる

上る——水銀柱が上る 損害が一億円に上る 川を上る

坂を上る 上り列車

登る——山に登る 木に登る 演壇に登る

昇る——日が昇(上)る 天に昇(上)る

はえ・はえる

映え・映える——夕映え 紅葉が夕日に映える
栄え——栄えある勝利 見事な出来栄え 見栄えがする

はかる

図る——合理化を図る 解決を図る 便宜を図る
計る——時間を計る 計り知れない恩恵 まんまと計られる
測る——水深を測る 標高を測る 距離を測る 面積を
測る 測定器で測る

量る——目方を量る 升で量る 容積を量る

謀る——暗殺を謀る 悪事を謀る

諮る——審議会に諮る

はじまる・はじめ・はじめ・はじめ

初め・初めて——初めこう思った 初めての経験
始まる・始め・始める——会が始まる 始めと終わり
御用始め 仕事を始める

はな

花——花も実もない 花の都 花形

華——華やか 華々しい

はなす・はなれる

離す・離れる——間を離す 駅から遠く離れた町 離れ

島 職を離れる 離れ離れになる

放す・放れる——鳥を放す 見放す 放し飼い 矢が弦を放れる 放れ馬

はやい

早い——時期が早い 気が早い 早く起きる 早変わり

早口 矢継ぎ早

速い——流れが速い 投手の球が速い テンポが速い 車の速さ

ひ

火——火が燃える 火に掛ける 火を見るより明らか 燈——燈がともる 遠くに町の燈が見える

ひく

引く——綱を引く 線を引く 例を引く 車を引く 弾く——ピアノを弾く ショパンの曲を弾く

ふえる・ふやす

殖える・殖やす——財産が殖える 財産を殖やす 増える・増やす——人数が増える 水かさが増える

人数を増やす

ふく

吹く——風が吹く 笛を吹く 噴く——火を噴き出す 火山が煙を噴く

ふける

更ける——夜が更ける 秋が更ける

老ける——老けて見える 老け込む

ふた

二——二重 二目と見られない 二つ折り

双——双子 双葉

ふね

舟——舟をこぐ 小舟 ささ舟

船——船の甲板 船で帰国する 船旅 親船

ふるう

振るう——士気が振るう 事業が振るわない 刀を振るう

震う——声を震わせる 身震い 武者震い

奮う——勇気を奮って立ち向かう 奮って参加する 奮い立つ

まざる・まじる・まぜる

交ざる・交じる・交ぜる——麻が交ざっている 漢字仮名交じり文 交ぜ織り

混ざる・混じる・混ぜる——酒に水が混ざる 西洋人の

血が混じる 異物が混じる 雑音が混じる セメントに砂を混ぜる 絵の具を混ぜる

まち

町——町と村 町ぐるみの歓迎 町役場 下町

街——街を吹く風 学生の街 街の明かり

まるい

丸い——背中が丸くなる 丸く治める 丸ごと 丸太 日の丸

円い——円(丸)い窓 円(丸)く輪になる

まわり

回り——身の回り 胴回り

周り——池の周り 周りの人

みる

見る——遠くの景色を見る エンジンの調子を見る 面倒を見る

診る——患者を診る 脈を診る

もと

下——法の下に平等 一撃の下に倒した

元——火の元 出版元 元が掛かる

本——本を正す 本と末

基——資料を基にする 基づく

や

屋——屋根 酒屋 屋敷

家——二階家 家主 家賃

やぶる・やぶれる

破る・破れる——約束を破る 障子が破れる 平和が破れる

敗れる——競技に敗れる 勝負に敗れる 人生に敗れる

やわらかい・やわらかだ

柔らかい・柔らかだ——柔らかい毛布 身のこなしが柔

らかだ 物柔らかな態度

軟らかい・軟らかだ——表情が軟(柔)らかい 軟(柔)ら

かい話 軟(柔)らかな土

よい

良い——品質が良い 成績が良い 手際が良い

善い——善い行い 世の中のために善いことをする

よむ

読む——本を読む 字を読む 人の心を読む 秒読み

詠む——和歌を詠む 一首詠む

わかれる

分かれる——道が二つに分かれる 意見が分かれる 勝

敗の分かれ目

別れる——幼い時に両親と別れる 友と駅頭で別れる

家族と別れて住む

わざ

業——至難の業 離れ業 軽業 業師

技——柔道の技 技をみがく

わずらう・わずらわす

煩う・煩わす——思い煩う 人手を煩わす 心を煩わす

患う——胸を患う 三年ほど患う

同音異義語の使い分け

・音読みが同じで意味が異なるために、使い分けに迷ったり、間違ったりすると思われる語を集めて、五十音順に配列した。
 ・中段に意味や使い分けのヒントを、下段にその用例を示した。*印は「常用漢字表」外の漢字である。
 ・この項は三省堂編修所で作成したものである。

(三省堂編修所注)

哀惜	悲しむ	哀惜の念に堪えない
愛惜	大切にする	愛惜の品々を手放す
異義	異なる意味	同音で異義の言葉
異議	異なる意見	異議はありませんか
偉業	立派な仕事	偉業を成し遂げる
遺業	死者が残した仕事	父の遺業を継ぐ
意思	考え	本人の意思 意思表示
意志	強い気持ち	意志の強い人 意志薄弱
遺志	生前の考え	故人の遺志を生かす
異状	変化・変調	身体には異状がない
異常	アブノーマル	性格異常者 異常乾燥
一律	一樣	一律に扱う 千編一律
一率	同じ率	一率に増額する
移動	一般的	机を移動させる
異動	人事	人事異動 営業部に異動
引退	職や地位から退く	社長を引退する
隠退	俗世から身を引く	郷里に隠退する

運行	一般的	列車の運行 天体の運行
運航	船舶・航空機	連絡船の運航
営利	金もうけ	営利を目的とする
榮利	名誉と利益	榮利をむさぼる
温情	思いやり	温情主義の悪い面
恩情	いつくしみ	先生の恩情 恩情を謝す
回顧	顧みる	幼時を回顧する 回顧録
懷古	懷しむ	懷古の情 懷古趣味
会席料理	日本式の宴会で出す料理	
懷石料理	茶の湯の席で出す料理	
開帳	寺院	秘仏を開帳する 出開帳
開張	ばくち	とばく場を開張する
改定	改正	運賃を改定する
改訂	訂正	辞書を改訂する
改締	結び直し	条約を改締する
回答	返事	要求に回答する
解答	答え	正しい解答 模範解答

外灯	屋外の電灯	外灯をつける
街灯	街路灯	街灯がともる
回復	一般的	元氣回復 失地の回復
快復	病氣が治る	御快復を祈る
解放	自由にする	奴隸解放 民族解放運動
開放	開放す	校庭の開放 門戸開放
科学	サイエンス	自然科学 科学技術
化学	ケミストリー	物理と化学 化学反応
夏季	季節・一般的	夏季特別大廉売
夏期	期間	夏期休暇 夏期講習会
家業	家の職業	家業に精出す 家業専従
稼業	仕事	豆腐屋稼業は朝が早い
格差	格付けの差・一般的	格差は正 賃金格差
較差	最高と最低の差	業種間較差 年較差
学習	一般的	語学の学習 学習指導
学修	修得	学修単位 学修した課程
加重	加え重なる	刑を加重する 加重平均
過重	重すぎる	過重な労働 責任過重
荷重	限界の重量	荷重に耐える
過小	小さすぎる	過小評価 過小な資本
過少	少なすぎる	所得を過少に申告する
寡少	少ない	寡少勢力
仮説	物理学・化学	仮説を立てる
仮設	数学・論理学	命題の仮設
仮設	仮に設ける	仮設の小屋 仮設停留場
架設	敷設	鉄橋の架設 電話架設費
過程	プロセス・一般的	事件の過程 製造過程

課程	教育	中学の課程	教科課程
科料	刑の名	科料または拘留	
過料	行政処分	過料に処する	
観	見える	別人の観がある	
感	感じる	隔世の感がある	
監査	監督検査	会計監査 定期監査	
鑑査	美術	出品を鑑査する 無鑑査	
觀察	注意深く見る	生態を觀察する 保護觀察	
監察	監督検査	行政監察	
幹事	世話役	旅行の幹事 同窓会幹事	
監事	監査役	学会の監事	
觀賞	見て楽しむ	景色を觀賞する	
鑑賞	芸術品を味わう	映画を鑑賞する	
感心	感服	出来栄えに感心する	
関心	興味	なりゆきに関心を持つ	
歓心	喜び	上役の歓心を買う	
寒心	憂慮	寒心に堪えない非行問題	
歓声	喜びの声	記録達成に歓声を上げる	
喚声	叫び声	喚声を上げて突進する	
感知	知る	計画を相手に感知された	
関知	関係する	当社の関知しないことだ	
議員	人	議員の特典 市議会議員	
議院	国会	議院の意思 議院規則	
機械	複雑なしくみ	工作機械 精密機械	
器械	道具	測定器械 器械体操	
帰還	任務を終えて	本国に帰還する	
帰館	自宅や旅館へ	連日深夜の御帰館	
寄港	途中で寄る	横浜に寄港する	
帰航	帰る	帰航の途につく	
帰港	出発港に戻る	任務を終えて帰港する	
規制	統制	営業を規制する 交通規制	
規正	公正に	政治資金を規正する	
既製	製品	既製の洋服 既製品	
既成	存在	既成の事実 既成の概念	
期成	やり遂げようとする	反対期成同盟	
規定	個々の条項	前項の規定による	
規程	規則(の題名)	退職金規程 出張規程	
起点	始まる点	起点と終点 鉄道の起点	
基点	距離の原点	：を基点として五キロ	
急迫	差し迫る	事態が急迫する 情勢急迫	
窮迫	困る	生活が窮迫する 財政窮迫	
究明	明らかにする	原因を究明する 真相究明	
糾明	たどす	犯人を糾明する 罪状糾明	
狂喜	夢中で喜ぶ	優勝に狂喜乱舞する	
驚喜	驚いて喜ぶ	思わぬ出会いに驚喜する	
競争	一般的	販売競争 生存競争	
競走	レース	駅伝競走 百メートル競走	
共同		共同で行う 共同作業	
協同		協同して行う 協同組合	
脅迫	刑法	暴行脅迫 脅迫状	
強迫	心理	強迫観念に悩む	
局限	限る	範囲を局限して考える	
極限	限界	極限に達する	
極言	極端な言い方	：とまで極言する	
局地	限られた土地	局地交渉 局地的大雨	
極地	南北両極の地	極地を探検する 極地法	
極致	最上	快楽の極致 美の極致	
訓示	職務上・書面	幹部に訓示する 訓示伝達	
訓辞	教え・口頭	校長の訓辞を聞く	
群集	集まる	群集する大衆 群集心理	
群衆	人々	数千の群衆 群衆整理	
係数	数学・物理	係数を掛ける 膨脹係数	
計数	算用・数字	計数に明るい人 計数管理	
決済	精算	現金で決済する 手形決済	
決裁	裁定	部長が決裁する 未決裁	
原形	元の形	原形をとどめない	
原型	元になる型	胸像の原型 原型を作る	
現状	現在の状態	現状を打破する 現状維持	
現場	行われた場所	殺人の現場に急行する	
原状	元の状態	原状に復する 原状回復	
好意	友好心	好意を持つ 好意的	
厚意	親切心	厚意を謝す 厚意に甘える	
向学	学問に志す	向学心に燃える	
好学	学問を好む	好学の士が集まる	
後学	後輩・将来	後学のために話す	
交換	取り換える	部品の交換 ちり紙交換	
交歓	懇親	留学生との交歓 交歓試合	
好機	チャンス	好機を逸する 好機到来	
好期	よい時節	登山の好期になる	
広言	相手構わず	無遠慮に広言する	
公言	表立って言う	公言した手前 天下に公言	

巧言	うまい口先	巧言に惑う	巧言令色
広告	宣伝	雑誌の広告	求人広告
公告	公示	官報に公告する	競売公告
考察	一般的	原因を考察する	
高察	尊敬して	御高察願います	
厚情	親切心	御厚情を感謝いたします	
交情	交際	今後とも御交情のほどを	
厚生	生活を豊かに	福利と厚生	厚生施設
更生	再起・再建	自力で更生	会社更生法
購読	買って読む	雑誌を購読する	購読料
講読	書物の講義	万葉集の講読	
広報	PR	広報活動	広報車
公報	官庁からの報告	選挙公報	戦死の公報
紅葉	赤くなる	カエデが紅葉する	
黄葉	黄色くなる	イチョウが黄葉する	
勾留	未決	被疑者を勾留する	
拘留	刑の名	三十日未満の拘留に処す	
五官	器官―目耳鼻皮膚舌	五官に感じる	
五感	感覚―視聴臭触味	五感が鋭い	
固持	しっかり持つ	信念を固持する	
固辞	辞退	固辞して引き受けない	
今期	決算期	今期の売上げ	今期は欠損
今季	シーズン	今季の首位打者	
採決	可否の決定	採決の結果	強行採決
裁決	処分の決定	申請に裁決	裁決に従う
債券	借金の証書	債券の発行	電話債券
債権	貸し手の権利	債権と債務	債権者

最後	おしまい	最後を飾る	最後の願い
最期	死ぬ	壮烈な最期	最期の地
作為	つくりごと	作為の跡がある	無作為
作意	作品の意図	作意がよくわからない	
作成	内容を作る	計画を作成	予算案の作成
作製	具体物を作る	受信機を作製する	
試案	一般的	試案を作成する	一試案
私案	自分の案	私案にすぎない	
思索	考える	思索に余る	思索顔
死角	届かない所	死角に入る	ライトの死角
視角	見える範囲	視角が広い	
時期	一般的	紅葉の時期	時期尚早
時機	チャンス	時機を失する	時機到来
志向	意図	志向するところに従う	
指向	向かう	一点に指向する	指向性
指示	示す	指示を与える	指示に従う
支持	支える	支持する政党	
時世	時代	ありがたい御時世	
時勢	成り行き	時勢に順応する	
実体	実物	実体がない	
実態	実際の状態	使用の実態	実態調査
辞典	ことばが主	国語辞典	英和辞典
字典	文字が主	常用漢字字典	康熙字典
事典	事柄が主	百科事典	音楽事典
試問	試験・質問	口頭試問	試問に答える
諮問	意見を聞く	審議会に諮問する	
秋季	一般的・季節	秋季大運動会	

秋期	期間	秋期講習会	
就業	仕事をする	就業規則	就業時間
修業	身に着ける	修業年限	修業証書
終業	終わる	終業と始業	終業時刻
修正	一般的	原文を修正する	修正案
修整	写真	原板を修整する	修整液
周知	知れ渡る	周知の事実	周知徹底させる
衆知	みんなの知恵	衆知を集める	
收容	一般的	負傷者を收容する	收容能力
収用	法律・強制的	土地収用法	収用権
終了	一般的	会期を終了する	試合終了
修了	学業	課程を修了する	修了証書
修業	一般的	住み込みで修業中	花嫁修業
修行	仏教・武芸	仏道を修行する	武者修行
肅正	事態が対象	綱紀を肅正する	肅正選挙
肅清	人物が対象	反対派を肅清する	血の肅清
主催	開催	農協主催	展覧会的主催者
主宰	運営管理	会議を主宰	俳誌の主宰者
主席	最高責任者	政府主席	故毛沢東主席
首席	第一位	首席で卒業	代表団首席
主題	テーマ	小説の主題	主題歌
首題	標題	首題の件について	
需要	要求	需要と供給	潜在需要
需用	入用	電力の需用者	需用者負担
春季	一般的・季節	春季大特売	春季攻勢
春期	期間	春期休暇	春期補講
紹介	引き合わせ	友人を紹介する	自己紹介

照会	問い合わせ	手紙で照会する 照会中
障害	妨げ	障害の排除 障害物競走
傷害	負傷	傷害致死 傷害事件
少額	額が少ない	多額と少額 少額の貯蓄
小額	額面が小さい	小額紙幣 小額公債
招集	一般的	総会を招集する 休日招集
召集	天皇が	国会を召集する 召集令状
条令	一般的	条令に違反する
条例	法規名	東京都条例 公安条例
初期	初めの時期	初期の症状が表れる
所期	期待	所期の目的を達成する
食料	食べ物	食料品店 生鮮食料品
食糧	主食	食糧不足 食糧の確保
所用	用事	所用のため外出する
所要	入用	所要の金額 所要時間
新規	新しい	新規に始める 新規採用
新奇	珍しい	新奇をてらう 新奇な型
信書	書状	信書の秘密 信書を開く
親書	自筆の書面	親書を携える 親書を頂く
侵食	一般的	隣国が国境を侵食する
浸食	自然が侵す	川の浸食作用
心身	精神と身体	心身鍛練 心身障害者
心神	精神	心神耗弱者 心神喪失
人身	からだ	人身事故 人身売買
人心	こころ	人心を惑わす 人心一新
深長	深い	意味深長 深長なニュアンス
慎重	じつくり	慎重に構える 慎重審議
進入	中へ	列車が進入する 進入路
侵入	無理に	敵国に侵入 怪漢が侵入
浸入	水しみる	濁水が浸入 皮膚から浸入
進路	一般的	将来の進路 進路指導
針路	船舶・航空機	船の針路
推奨	勧める	新製品の推奨 推奨銘柄
推賞	ほめる	推賞に値する業績
制圧	一般的	反対派を制圧する
征圧	病菌	ガンを征圧する
成育	一般的	わが子の成育を見守る
生育	植物	稲の生育 苗が生育する
生氣	活気	生氣にあふれる 生氣回復
正氣	正しい気風	天地の正氣 正氣の歌
精氣	魂	万物の精氣 精氣を集中
生業	職業	生業に励む 農を生業とする
正業	正当な職業	正業に就く 正業に戻る
成型	型で作る	合成樹脂の成型 成型加工
成形	形を作る	陶器の成形 プレスで成形
整形	形や機能を整える	整形外科 整形手術
精根	根気	精根が尽きる 精根不足
精魂	精神	精魂を傾ける 不屈の精魂
正座	上座・正しく座る	正座に着く 正座を崩す
静座	修養	仏前に静座する 食後の静座
製作	一般的	家具を製作する 製作費
制作	芸術	制作に没頭 絵画の制作
精算	詳しい差引計算	概算と精算 運賃の精算
清算	結末をつける	借金の清算 過去の清算
正装	正式な服装	正装の軍人 正装して臨席
盛装	晴れ着	盛装で外出 盛装を凝らす
成長	動物・一般的	子供が成長する 経済成長
生長	植物	木が生長する
正当	正しく当然	正当な理由 正当防衛
正統	正しい系統	正統を継ぐ 正統派
成年	二十歳	成年に達する 未成年
青年	若者	青年団 青年学級
勢力	勢い	勢力を伸ばす 勢力範囲
精力	活動力	精力を傾ける 精力絶倫
節制	控えめ	節制を保つ 酒を節制する
摂生	養生	病後の摂生 不摂生
潜行	一般的	地下に潜行する 敵地潜行
潜航	水中に	深海に潜航する 急速潜航
専有	一人で	専有と共有 専有する土地
占有	所持	他人の占有する物 占有権
専用	その人だけ	専用と共用 社長専用車
占用	占拠使用	道路を占用する 占用料
壮図	壮大な計画	壮図を抱く 壮図空しく
壮途	壮図の門出	壮途に就く 壮途に上る
阻害	妨げる	計画を阻害する 阻害行為
疎外	退ける	自己を疎外する 人間疎外
速成	早く仕上げる	速成を期する 速成講座
促成	成長を促す	促成栽培 促成教育
即製	その場で作る	即製のうどん 即製販売
即断	その場で	即断を下す 即断できない
速断	早まって	速断を戒める 速断するな

即決	速決	即効	速効	大系	体系	体系	体形	体型	対象	対照	対称	体制	態勢	体勢	退避	待避	探究	探求	丹精	丹誠	坦々	坦々	淡々	徴収	徴集	調製	調整	著名
その場で 早まって	面談の上即決 速戦即決 速決を避ける	一般的 特に即効がある 即効薬	すぐ 速効と遅効 速効肥料	シリーズ 世界文学大系 化学大系	システム 学問の体系 体系的知識	フォーム 体形が崩れる	タイプ 体型に合わせる 標準体型	オブジェクト 調査の対象 学生を対象に	コントラスト 色の対照 原文と対照する	シンメトリー 左右対称 対称の位置	システム 資本主義体制 非常体制	身構え 決戦の態勢 協力態勢	フォーム 崩れた体勢 不利な体勢	一般的 校庭に退避する 退避訓練	交通 急行列車の待避 待避線	きわめる 原因を探究 真理の探究	求める 平和を探求 犯人の探求	心を込める 丹精したかいがある	真心 丹誠込めて育てる	平たい 坦々とした道路 平々坦々	あつさり 淡々たる心境 淡々と語る	取り立てる 会費を徴収する 税の徴収	集める 物資を徴集する 馬の徴集	作る 靴を調製する 特別調製品	整える 機械の調整 意見の調整	有名 著名な学者 著名な場所		

著明	沈静	鎮静	沈痛	鎮痛	追究	追求	追及	定形	定型	適正	適性	轉化	轉嫁	伝染	伝線	伝道	伝導	伝動	冬季	冬期	同形	同型	同系	同志	動静
はつきり	落ち着く	落ち着かせる	心を痛める	痛みを鎮める	きわめる	求める	追い詰める	一定の形	一定の型	正しい	適した性質	変わる	他に負わせる	病氣	繊維	宗教	物理	機械	一般的・季節	期間	形が同じ	型が同じ	系統が同じ	仲間	同じ考えの人
著明な事実 著明な意図	景気が沈静する	神経を鎮静させる 鎮静剤	沈痛な顔	鎮痛剤を飲む	真理を追究する	利潤の追求 幸福の追求	犯人を追及する 責任追及	定形を保つ 定形郵便物	定型どおり 定型詩	適正な価格 適正に配置	適性のない人 適性検査	糖分がぶどう糖に轉化する	責任を轉嫁する	はしかが伝染する 伝染病	ほつれの伝線 靴下の伝線	キリスト教の伝道 伝道師	熱の伝導 電気の伝導	動力の伝動装置	冬季オリンピック	冬期休暇 冬期特別練成会	同形の車両 同形の窓	同型の器具 同型の靴	同系の会社 同系に属する	女同志の集まり 同志打ち	同志を募る 同志の人々
																									動静を探る 最近の動静

動勢	内向	内攻	配水	排水	廃水	反抗	反攻	半切	半折	反面	半面	微小	微少	必死	必至	表記	標記	表決	票決	表示	標示	標題	表題	不純	不順	不信
動き方 人口の動勢 世界の動勢	性格 内向性の人 内向型	病気 病気が内攻する 内攻症状	配る 各戸に配水する 配水管	外へ出す 排水をよくする 排水溝	汚水 廃水を川へ流す 工場廃水	手向かう 先生に反抗する 反抗期	攻め返す 反攻に転じる 反攻作戦	半分に切る カードを半切にする	書画用紙 半折に書き初めを書く	反対の面 安い反面劣悪だ 反面教師	半分 物の半面だけ見る	小さい 微小な生物 微小な傷	少ない 微少な金額 微少な量	全力で 必死の努力 必死に走る	必ず 成功は必至だ 必至の情勢	書き表す・表書き 漢字表記 表記の住所	見出し・しるし 標記の件につき	議決権の行使 表決に加わる 表決権	投票で決定 票決に入る 票決の結果	一般的・明示 価格表示 添加物の表示	交通関係 標示に従う 道路標示	題目 書類の標題 講演の標題	書名・作品名 本の表題 詩の表題	純粋でない 不純物 不純な動機	順調でない 不順な気候 生理不順	信用しない 不信の念 不信を招く

不審	疑わしい	不審な行動	不審な点あり
夫人	妻	夫人同伴	賢夫人
婦人	女	婦人参政権	貴婦人
敷設	一般的	鉄道を敷設する	機雷敷設
布設	水道	水道を布設する	
不断	断えざる	不断的努力	不断的香
普段	平素の	普段からの努力	普段着
不用	用いない	不用品	予算の不用額
不要	いらぬ	不要の買い物	不急不要
並行	並んで	並行して行く	並行路線
平行	交わらない	平行する直線	平行棒
平衡	つりあい	平衡を保つ	平衡感覚
別条	変わったこと	別条のない毎日	
別状	変わった様子	命に別状はない	
偏在	一部だけにある	西日本に偏在する	
遍在	どこにでもある	全国に遍在する	
編集	一般的	雑誌を編集する	編集後記
編修	史書・辞書等	古代史の編修	辞典の編修
編成	一般的	番組の編成	五両編成
編制	集め組織する	学級の編制	戦時編制
変体	異なった形	変体仮名	
変態	異常・変わる	変態的	昆虫の変態
報償	償う	報償金	役務に対する報償
報奨	奨励	報奨金	売上げ増の報奨
報賞	賞品	功労者の報賞	
褒章	栄典制度	紫綬褒章	紺綬褒章
法令	法律・命令	法令で定める	法令の施行
法例	法令の適用例	商法の法例	適用法例
保険	損害補償制度	火災保険	生命保険
保健	健康保持増進	保健衛生	保健所 保健婦
補習	学習	放課後の補習	補習授業
補修	修理	屋根を補修する	補修工事
保証	請け合う	身元を保証する	保証人
保障	守る	身分を保障する	社会保障
補償	償う	損害を補償する	補償金
未到	到達しない	前人未到の記録	
未踏	足を入れない	人跡未踏の地	
民族	人間集団	民族意識	少数民族
民俗	風俗習慣	民俗芸能	民俗語彙*
無常	はかない	無常の人生	諸行無常
無情	情け心がない	無情の雨	ああ無情
夢想	種々考える	夢想到にふける	夢想家
無想	何も考えない	無念無想	無想の境地
明快	筋道が明らか	明快に答える	論旨明快
明解	解釈が明らか	明解を与える	明解な注釈
名答	優れた答え	御名答	名答でなく迷答
明答	明確な答え	明答が得られない	
野生	自然のままに育つ	野生の馬	野生の植物
野性	自然のままの性質	野性に返る	野性的
遊戯	一般的	室内遊戯	幼稚園の遊戯
遊技	営業許可の娯楽	遊技場	
優生	素質改善	優生学	優生保護法
優性	遺伝因子	優性と劣性	優性遺伝
優勢	勢力	優勢な相手	優勢を保つ
雄図	計画	雄図空しく引き返す	
雄途	雄図の門出	雄途に就く	雄途に上る
要件	用事	要件を話す	山ほどの要件
要件	重要・必要	要件の処理	成功の要件
要項	必要な事項	要項をメモする	募集要項
要綱	要約した大綱	国語学要綱	講演の要綱
幼児	五、六歳の子供	幼児を預かる	幼児教育
幼時	幼年時代	幼時を回想する	
用談	用事の話	用談を済ませる	
要談	重要な相談	役員室で要談中	要談あり
用地	一般的	用地を買収する	住宅用地
要地	重要な土地	交通の要地	軍事上の要地
用務	仕事	会社の用務	用務員
要務	重要な任務	要務を帯びて出張する	
来期	決算期	来期の売上げ目標	
来季	シーズン	来季期待の選手	
両用	使い道	切削研磨両用	水陸両用
両様	様式・やり方	両様の解釈	和戦両様
劣性	遺伝因子	優性と劣性	劣性遺伝
劣勢	勢力	劣勢を盛り返す	
連係	一般的	連係を保つ	連係動作
連携	連絡提携	連携して事に当たる	
労使	労働者と使用者	労使の交渉	労使の代表
労資	労働者と資本金	労資の対立	労資協調
路次	途中	出張の路次	都への路次
路地	狭い道	路地で遊ぶ	路地裏
露地	露天	露地栽培	

書き間違いやすい漢字

・漢字には、読みの同じものや形の似ているものが多いが、一般に書き間違いやすいと思われる語を集めて、五十音順に配列した。
・見出しは現代かなづかい。正しい漢字を赤色で示し、誤字の右には×印をつけた。中段の*印の字は「常用漢字表」外の漢字である。
・この項は三省堂編修所で作成したものである。

(三省堂編修所注)

あいあいがさ	相合い傘で行く	相々・合々	いきしょうてん	意気衝天	意気昇天	いはん	規則に違反する	違反	みれる
あいくるしい	愛くるしい少女	愛苦しい	いきとうごう	意気投合	意気当合	いみしんちょう	意味深長	深重・慎重	
あいほう	仕事の相棒	合棒・相坊	いきようよう	意気揚々	意気洋洋	いりよく	威力を発揮する	偉力	
あおにさい	青二才のくせに	青二歳	いくじ	意気地がない	意久地	いわや	岩屋にひそむ	岩家	
あくぎょう	悪行がやまない	悪業	いくどうおん	異口同音	異句同音	いんえい	陰影に富んだ文章	陰影	
あくたい	悪態をつく	悪体	いこん	遺恨を晴らす	意恨	いんご	仲間で使う隠語	陰語	
あつせん	仕事を幹旋する	幹施	いさい	異彩を放つ	偉彩	いんさん	陰惨な光景	陰酸	
あつとう	相手を圧倒する	圧到	いしゅ	意趣を晴らす	遺趣	いんじゅんこそく	因循姑息な方法	因循姑息	
あて	本人宛の手紙	当て	いせき	移籍した選手	移席	いんぜん	隠然たる勢力	陰然	
あとかた	跡形もなく焼けた	跡方	いそがしい	忙しい毎日	急がしい	いんそつ	児童を引率する	引卒	
あとづける	発展を跡付ける	後付ける	いちがい	一概に言えない	一概	いんど	引導を渡す	引道	
あやまち	過ちを改める	誤ち	いちげん	一見の客	一現	いんとく	陰徳と陽報	陰徳	
あやかた	誤りを正す	過り	いちどう	一堂に会する	一同	いんとく	物資を隠匿する	陰匿・隠得	
あんじる	基本方針の在り方	有り方	いちようらいふく	一陽来復	一陽来福	いんにんじちよう	隠忍自重	陰忍自重	
あんび	案じるより産むが…	安じる	いつかくせんきん	一獲(攫)千金を夢みる	一獲	いんべい	隠蔽された事実	陰蔽	
いがい	安否を尋ねる	安非	いつきかせい	一気呵成にやる	一気加勢	いんぼう	陰謀をたくらむ	陰謀	
いがた	意外な出来事	以外	いつしどうじん	一視同仁	一視同人	うきめ	憂き目を見る	浮き目	
いぎ	鋳型に流し込む	鋳形	いつしゅうき	一周忌の法要	一週忌				
	威儀を正す	威義							

うけおう	建築を請け負う	受け負う	おかしらつき	鯛の尾頭付き	お頭付き	かくぶち	絵を額縁に入れる	額縁
うけたまわる	謹んで承る	受け賜る	おかん	風邪で悪寒がする	悪感	かくれい	学齢に達する	学令
うちようてん	有頂天になる	有頂点	おそまき	遅蒔きながら	遅巻き	かげのこえ	陰の音が教える	影の声
うのけ	兎の毛で突いたほど	鶉の毛	おちいる	危機に陥る	落ち入る	かげひなた	陰日向なく働く	影日向
うのめ	鶉の目鷹の目	兎の目	おとろえる	勢力が衰える	劣える	かげぼうし	影法師を踏む	陰法師
うるさがた	うるさ型のおやじ	うるさ方	おなじみ	お馴染みの客	同じみ	かげむしや	影武者が取り巻く	陰武者
うわずる	声が上がずる	浮わずる	おもかげ	面影(倅)をしのぶ	思影	かじ	鍛冶屋 刀鍛冶	鍛冶・鍛冶
えいし	参議院の衛視	衛士	おもしろい	面白い話を聞く	思白い	かしやく	仮借ない取り立て	苛借
えいぞう	テレビの映像	影像	おんき	三百年の遠忌	御忌	がしんしょうたん	臥薪嘗胆	臥薪嘗炭
エムばん	M判のシャツ	M番	おんぎよく	歌舞音曲の類	音玉	かす	一万円貸す	借す
えんえん	延々(蜿蜒)長蛇の列	遠々	おんけん	穏健な思想	温健	かたがみ	洋裁の型紙	形紙
えんがわ	縁側に腰掛ける	縁測	おんこう	温厚な性質	温好	かたよる	一方に偏る	傾よる
えんぎ	縁起を担ぐ	縁喜	おんこちしん	温故知新	温古知新	かつこ	括弧でくくる	括弧
えんぜつ	選挙演説	演舌	おんのじ	一万円なら御の字	恩の字	かとうきようそう	過当競争	過等競走
えんだん	演壇に上る	演段	おんぴようもじ	音標文字で示す	音表文字	かどまつ	正月の門松	角松
えんぼう	遠謀深慮	遠望	がい	志士の概がある	慨	かなづかい	仮名遣いを直す	仮名遣い
えんゆうかい	園遊会の名士	宴遊会	かいき	怪奇小説	怪気	かひ	可否を問う	可非
おうおう	往々にして不在だ	応々	かいき	回帰熱 北回帰線	回起	かび	華美な服装	花美
おうぎ(おくぎ)	奥義を究める	奥儀	かいきいらい	快気祝い	回気	かへい	貨幣の価値	貨幣
おうしん	医者に往診を頼む	応診	かいきゆう	懐旧の念がつのる	回旧・壊旦	がりゅうてんせい	画竜点睛を欠く	点晴・天晴
おうだ	友人を殴打する	欧打	かいてき	快適な生活	快的	かりる	金を借りる	貸りる
おうたい	受付で応対する	応待	かえうた	替え歌を歌う	変・代え歌	かわいそう	可哀相な子供	可愛相
おうふく	自動車で往復する	往復・住腹	かえりざく	王座に返り咲く	帰り咲く	かん	勘に頼る	感に頼る
おおいに	大いに遊ぼう	多いに	かくう	架空の人物	仮空	かんいっばつ	間一髪セーフ	間一発
おおせい	大勢の人々	多勢	かくしよく	学殖豊かな先生	学植	かんか	誤りを看過する	観過
おおだてもの	財界の大立て者	大立て物	かくしん	成功を確信する	確心	かんがい	感慨にふける	感慨
おおもの	政界の大物	大者	かくとく	資格を獲得する	獲得	かんげい	訪問を歓迎する	観仰

かんこ	歓呼の声を上げる	きけん	危険を冒す	きゅうち	窮地に追い込む	究地
かんこつだつたい	換骨奪胎の文章	きげん	紀元前 紀元元年	きゅうてんちよつか	急転直下の解決	九天
かんしょうちたい	緩衝地帯を設ける	きげん	機嫌をそこねる	きゅうやくせいしよ	旧約聖書	旧訳聖書
がんぜん	眼前に展開する	きこう	不順な気候	きようい	驚異の目をみはる	驚威
かんだい	歓待を受ける	きこう	着心地のよい洋服	きようかい	陣容を強化する	強加
かんでつ	要求を貫徹する	きこち	疑似赤痢	きようくう	鉄鋼業界 業界紙	業会
かんどころ	勘所を押さえる	ぎじ	喜捨を求める	きようくう	恵まれた境遇	境遇
かんねん	だめだと観念する	きしや	犠牲を払う	きようせい	欠点を矯正する	恐荒
かんば	意図を看破する	ぎせい	季節の替わり目	きようせき	業績を上げる	矯整・矯正
かんべき	完璧な仕上がり	きせつ	機先を制する	きようねん	享年七十八歳	業積・業績
かんぼう	流行性感冒	きせん	文書を偽造する	きようねん	享年	享年
かんぼうやく	漢方薬	ぎぞう	奇態な事件	きようみしんしん	興味津津々	深々
かんまん	緩慢な動作	きたい	汽笛が鳴る	きようらく	享楽にふける	興楽・享楽
かんめい	感銘を受ける	きてき	発展の基盤を作る	きようりよく	仕事に協力する	共力
かんゆう	保険の勧誘	きばん	規模が小さい	ぎよく	漁獲量が多い	魚獲・漁獲
かんれき	還暦を祝う	きぼ	生まじめな性格	ぎぎよう	遠洋漁業	魚業
きいっぼん	生一本な性格	きまじめ	相手を欺瞞する	ぎよしよう	魚礁を設ける	魚礁
きおく	記憶をたどる	ぎまん	先生の肝煎り	ぎよしよう	北洋の漁場	魚場
ぎおん	祇園の舞妓	きもり	客観的	ぎよせん	漁船を建造する	魚船
きがい	気概のない男	きやつかんてき	救援の物資	ぎよもう	ナイロンの漁網	魚網
きがた	靴の木型	きゅうえん	救急車 救急病院	きんがわ	金側の腕時計	金皮・金革
きかん	消化・呼吸の器官	きゅうきゅう	窮境を切り抜ける	きんけん	勤儉貯蓄に励む	勤儉
きかん	連日深夜の御帰館	きゅうきよう	窮屈な座席	きんこう	均衡が破れる	均衡
ききいっばつ	危機一髪	きゅうくつ	知識を吸収する	きんじょうとうち	金城湯池	湯池
ききゅう	危急存亡の時	きゅうしゅう	反対派の急先鋒	きんしん	自宅で謹慎する	勤慎
きくう	奇遇に驚く	きゅうせんぼう	旧態依然として	きんせいひん	禁制品を売る	禁製品
きけつ	議論の帰結する所	きゅうたい		ぐうぜん	偶然出会った	遇然

くうはつてき
くがい
くく
くすだま
くちきき
くちく
くちよう
くつしん
くのう
くはい
くびじつけん
くめん
くもり
くよう
くろうしよう
ぐんしょう
ぐんとう
ぐんぶう
ぐんゆう
けいき
けいさつしよ
けいしきてき
けいしやう
けいそつ
けいたい
けいど
けいとう

偶発的な事故
苦界に身を沈める
掛け算の九九
薬玉を割る
先生の口利きで
敵を駆逐する
口調を整える
身体を屈伸する
苦悩が絶えない
苦杯を喫する
犯人の首実検をする
金を工面する
曇りのち雨
先祖の供養をする
苦勞性の人
群小の零細企業
薰陶を受ける
五月の薰風
群雄が割拠する
：を契機として
警察署
形式的なあいさつ
軽少な損害
軽率な行動
特異な形態
経度と緯度
学説に傾倒する

遇発的
苦海
九々
楠玉
口聞き
駆逐
句調
屈身
若脳
苦敗
首実検
苦面
雲り
供要
苦勞症
群少・郡小
訓陶・薰陶
勲風・董風
郡雄
契期
驚察所
型的
軽小
軽卒
形体
徑度
傾到

けいふく
けいほ
けいもう
けいゆ
けいらい
げきぶつ
げきやく
げきらい
げきりん
げざい
けしん
けつかい
けつきよく
けつじよ
けつしん
けつせい
けつせんとうひよう
けつそん
けつべつ
けつぼう
けつまくえん
けつれつ
けつろん
げどく
げねつ
けんいん
げんいん
げんいん

意見に敬服する
先生を敬慕する
大衆を啓蒙する
大阪經由で行く
係累が多い
劇物の取り扱い
劇薬を飲む
相手を毛嫌いする
逆鱗に触れる
下剤を掛ける
仏様の化身
決壊した堤防
結局だめだった
責任感の欠如
次回で結審する
血清を注射する
決選投票
欠損を埋める
親友と決(訣)別する
食糧が欠乏する
結膜炎の治療
交渉が決裂する
結論が出る
解毒剤 解毒薬
解熱剤 解熱錠
牽引車 牽引力
原因がわからない

敬伏
敬慕
啓旨
徑由
系累
激物
激薬
激鱗
氣謙い
解劑
化神
欠懷
結極・決局
欠除
決審
血精
決戦投票
決損
袂別
欠亡
血膜炎
決烈・欠裂
決論
下毒
下熱
索引
元困・源囚

けんおん
げんか
けんかい
げんかしやうきやく
げんご
けんし
けんし
けんじつ
げんしてき
げんしゅ
げんじゆうみん
げんしやう
けんしんてき
けんせい
げんせい
けんせつ
けんせん
げんせん
げんぞう
げんそく
けんとう
けんびきやう
けんぶん
けんぼうしやう
けんめい
けんやく
こういしやう

一日四回の検温
原価を計算する
見解を表明する
減価償却
原語で歌う
変死者を検討する
原資を確保する
堅実な考え方
原始的な方法
一国の元首
原住民の生活
人口が減少する
献身的な努力
敵を牽制する
原生林 原生動物
ビルを建設する
健全な精神
源泉課税
写真を現像する
原則に従う
検討に値する
顕微鏡
現場を検分する
健忘症
懸命に努力する
儉約を旨とする
後遺症

験温
元価
見界
原価消却
源語
験視
源資
健実
元始的
元主
現住民
減小
献心的
索制
源世
健全
源泉
現象
元則
研討・験討
検徴境
見分
健忘性
県命
儉約
後遺症

こうか	効果を上げる	効果	こうほしや	議長の候補者	候補者	さいくつ	鉱石を採掘する	採掘
こうかんしんけい	交感神経	交換神経	こうまん	高慢な態度	高漫	さいげん	財源を捜す	財原
こうぎ	教室で講義する	講義	こうめいせいだい	公明正大	光明正大	さいこうちよう	最高潮に達する	最高調
こうきしゆくせい	網紀肅正	網規肅清	こうり	功利的 功利主義	効利	さいじき	俳句の歳時記	歳事記
こうきゅう	剛球投手	鋼球	こうわ	講(講)和条約	講和	さいせいちゆう	故人の在世中は	在生中
こうけい	口径四十五センチ	口径	こがいしや	子会社と親会社	小会社	さいそく	返事を催促する	再捉
こうげん	灯台の光源	光源	こきよう	故郷をしのぶ	古郷	さいだいもらさず	細大漏らさず	最大
こうげんれいしよく	巧言令色	好言冷色	こくそ	暴力事件で告訴する	告訴	さいてい	最低の生活	最低
こうこう	病膏育に入る	膏盲	こくめい	克明に記録する	刻明	さいばい	野菜を栽培する	栽培
こうし	御厚志を謝する	好志	こころよく	快く承諾する	心快く	さいばんしよ	裁判所	裁判署
こうしゃく	侯爵	候爵	こじ	孤児を収容する	孤児・孤児	さいほう	裁縫を習う	裁縫・裁方
こうじよう	強情を張る	剛情	こぞう	お寺の小僧	子僧	さいりよう	裁量の余地なし	採量
こうせいぶっしつ	抗生物質	抗性物質	こづかい	お小遣いをもらう	小使い	ざせつ	計画が挫折する	座折
こうせき	功績をたたえる	効績・功績	こどく	孤独を味わう	孤独	さつこん	昨今の陽気は	昨近
こうそう	豪壮な邸宅	豪莊	こども	子供と遊ぶ	小供	さつとう	見物人が殺到する	殺倒
こうたい	交代 交替	交代・更替	ごへい	語弊があるが：	誤弊・語弊	ざんぎやく	残虐な行為	惨虜
こうたいし	皇太子	皇太子	こべつほうもん	選挙の戸別訪問	個別訪問	ざんしん	斬新なデザインの車	暫新・漸親
こうたいじんぐう	皇大神宮	皇太神宮	こもん	会社の顧問	顧問	ざんにん	残忍な性格	惨忍
こうたん	豪胆(剛胆)な男	強胆	こゆう	固有の性質	個有	さんび	酸鼻を窮める現場	惨鼻
こうてつ	大臣を更迭する	交送	ごらく	娯楽の殿堂	誤楽	さんまん	注意が散漫だ	散漫
こうとうしもん	口頭試問	口答試問	こりつ	敵中に孤立する	孤立・孤立	さんみいったい	三位一体	三身一体
こうにゆう	資材を購入する	購入	ごりむちゅう	五里霧中	五里夢中	さんをみだす	算を乱す	散を乱す
こうばい	購買部 購買力	購売・購買	ごんごどうだん	言語道断	言語同断	しあい	野球の試合	仕合
こうはいち	港の後背地	向背地	こんじよう	根性を鍛える	根情・根生	しおけむり	潮煙が上がる	塩煙
こうびん	幸便に託する	好便	こんてい	根底から覆る	根低	しかたがない	仕方がない	仕形
こうふく	敵に降伏する	降覆	さいか	裁可を仰ぐ	載下・裁可	しきゆうしき	始球式を行う	試球式
こうぼく	坑道の坑木	杭木	さいきかんばつ	才気煥発	才機煥発	じく	字句を訂正する	辞句

しげき	刺激を与える	刺激	しゅうぎ	開店の祝儀	祝義	じゅんぱい	霊場を巡拝する	順拝
しげん	資源を大切に	資源	しゅうぎよう	集魚灯をつける	集漁灯	じょうき	蒸気を発生させる	蒸汽
じげん	次元が違う 三次元	次元	しゅうしふ	終止符を打つ	終止譜	しやうけい	小憩のち出発	小憩
じこ	自己を見失う	自個・自己	しゅうしゅう	事態を收拾する	拾収・收拾	じやうけい	情景の描写	状景
しこうさくご	試行錯誤	思考錯誤	しゅうたい	醜態を演じる	醜体	しやうこ	証拠を示す	証固
しこうひん	嗜好品を贈る	趣向品	じゅうにしちやう	十二指腸	十二支腸	しやうこう	小康を保つ	小康
じさん	弁当を持参する	自参	しゅうねん	五周年の記念日	週年	しやうこくみん	少国民の教育	少国民
しそうけんご	志操堅固	思想堅固	しゅうふく	本殿を修復する	修復	しやうさ	小差で負ける	少差
したい	美しい姿態	姿体	じゅうふく	記事が重複する	重複	しやうじ	少時休憩する	少時
しつうはつたつ	四通八達	四通八達	しゅかん	主観と客観 主観的	主感	しやうしんしやうめい	真正正銘	真正証明
じつし	試験を実施する	実験	じゅぎやう	英語の授業 授業料	受業	じやうたい	正常な状態	状態・状態
じつせき	実績を上げる	実績・実績	しゅくさつばん	縮刷版の辞書	縮刷版	じやうだん	冗談じゃない	笑談
してき	ミスを指摘する	指摘	しゅくしやう	機構を縮小する	縮少	じやうてい	委員会に上程する	上提・上呈
してんのう	一門の四天王	四天皇	しゅこう	趣向を凝らす	趣好	しやうど	大火で焦土と化す	焼土
しとめる	一発で仕留める	刺止める	しゅじい	主治医の診断	主事医	しやうどう	合併を唱道する	称道
しにものぐるい	死に物狂いで進む	死に者狂い	しゅちやう	自治体の首長	主長	しやうとつ	車が衝突する	衝突
じばん	地盤が沈下する	地磐	しゅつしやしんたい	出処進退	出所進退	しやうにか	小児科の医者	小児科
しふく	雌伏十年	雌服	しゅと	日本の首都は東京	主都	しやうねん	少年と少女	少年
しへい	紙幣を偽造する	紙弊	しゅとけん	首都圏の交通網	主都県	しやうばい	商売を始める	商買
しまつ	きちんと始末する	仕末	しゅはん	一味の主犯	首犯	じやうひ	冗費を省く	剩費
じまん	仕上がりを自慢する	自漫	しゅはん	内閣の首班	主班	しやうぶん	損な性分	生分
しめい	役員を指名する	指名	しゅふ	世界各国の首府	主府	じやうまん	冗漫な説明	冗慢
じやくしやう	弱小の国々	弱少	しゅぼうしや	事件の首謀者	主媒者	しやうみ	正味二〇キロ	正身
しやだつ	洒脱な人柄	酒悦	じゅわき	電話機の受話器	受話機	しやうゆ	醤油で味を付ける	正油
じやっかん	弱冠二十歳で…	若冠	じゅんかん	血液が循環する	巡環・循環	じやがい	適用を除外する	徐外
しやれ	洒落がうまい	洒落	じゅんぎやう	地方を巡業する	巡行	しよくさん	殖産を図る	植産
しゅうかんし	週刊誌を買う	週刊誌	じゅんしん	純真な心	純心	しよくぜん	食膳に供する	食前

しょくもつ	植毛の手術	殖毛	しんとう	浸(滲)透する	侵透	せいふく	敵を征服する	征伏
しょくりん	山に植林する	殖林	しんにん	内閣を信任する	信認	ぜいむしょ	税務署	税務所
しょうこう	諸侯の領地	諸候	しんぷく	先生に心服する	心伏	せいらい	生来の病弱	性来
じょうこう	徐行して通る	徐行	しんぼう	辛抱が足りない	辛棒	せいれき	西暦紀元	西歴記元
しょうさい	書斎の本棚	書斎	しんみ	親身の指導	親味	せきしゅつ	成分を析出する	析出・析出
しょうし	初志を貫徹する	所思	しんみょう	神妙な態度	真妙	せきべつ	惜別の情	寂別・借別
じょうじよに	徐々に動く	除々	しんめい	身命を賭して	心命	せきをおく	：に籍を置く	席を置く
しょうせいじゅつ	処世術にたける	処生術	しんやくせいしょ	新約聖書	新訳聖書	せつかい	切開手術	切解
しょうばつ	嚴重に処罰する	所罰	しんゆう	無二の親友	真友	せつきょう	信者に説教する	説経
しょうほう	処方薬を誤る	処方箋*	しんらい	信頼を裏切る	親頼	せつしゅう	土地を接収する	接収・接集
しりめつれつ	支離滅裂	四離滅列	すいがら	たばこの吸い殻	吹い殻	せつしやう	外国と折衝する	接衝
しれい	指令を発する	使令	すいげんち	水源地の森林	水原池	せつたい	客を接待する	接待・接待
しんがい	権利を侵害する	侵害	すいばん	水盤に花を生ける	水磐	せつたい	絶対にありえない	絶体
しんかん	森閑と静まる	森閑	すうき	数奇な運命	数寄	せつたい	絶対にありえない	絶体
しんぎ	真偽を確かめる	真疑	ずがいこつ	頭蓋骨の骨折	頭骸骨	せつたい	絶対にありえない	絶体
しんきいつてん	心機一転	心気一転	すじやう	素性が知れる	素生・素状	せつぱく	締切日が切迫する	切迫
しんきくさい	辛気臭い	心気臭い	ずのう	鋭い頭脳	頭悩	せつぱん	利益を折半する	切半
しんきんかん	親近感を持つ	身近感	せいえい	精鋭を率いる	清英	せつぷく	反対派を説伏する	説服
しんげんち	地震の震源地	震源地	せいおん	静穏を保つ	静隠	せつりん	精力絶倫	絶倫
しんじいどう	人事異動	人事移動	せいか	芸術の精華	精花	ぜひ	是非を論じる	是非
しんじつ	真実を述べる	信実	せいかかく	生化学の研究	生科学	せんかい	上空を旋回する	施回
じんせいかん	人生観を記す	人世感	せいけいげか	整形外科	整形・成形	せんごさく	善後策を講じる	前後策
じんせきみとう	人跡未踏の地	人跡未到	せいし	事態を正視する	静視	ぜんじ	漸次回復している	漸次
しんぞく	同居の親族	親属	せいじゆく	実が成熟する	生熟	ぜんしよ	善処を約束する	善所
しんたく	信託銀行 投資信託	信託	せいしようねん	青少年の団体	青小年	ぜんじんみとう	前人未到の記録	未踏
じんちく	人畜に無害	人蓄	せいせき	成績を上げる	成績	せんせい	専制政治 専制君主	専政
しんちやう	慎重に計画する	深長	せいてんはくじつ	青天白日	晴天白日	ぜんぜん	全然わからない	全々

せんでん	特売の 宣伝	宣伝	そくじ	即時 撤去する	速時	たいへいよう	太平洋	大太平洋
せんとう	町の 銭湯 へ行く	洗湯	そくしん	計画を 促進 する	速進	たいよう	大洋 系 太陽 暦	太洋
ぜんときん	前渡金 を払う	前途金	そくせき	即席 で料理する	速席	たいよう	大洋州	大洋州
せんにゆうかん	先入観 を持つ	先入感	そくせんそつけつ	速戦即決	即戦速決	たいようしゅう		
せんばん	旋盤 で加工する	施盤・旋盤	ぞつかい	会議を 続開 する	続会	だいろうつかん	第六感 が働く	第六官
せんふうき	扇風機 を回す	旋風器	そつこく	即刻 解散せよ	速刻	だかい	局面を 打開 する	打解
せんべつ	餞別 を贈る	餞別	そつせん	率先 して行う	卒先	たかみ	高み の見物	高見
せんぺんいちりつ	千編 (篇) 一律	千遍一率	そつせんきゅうこう	率先躬行	卒先躬行	だき	情気 満々	随気・堕気
せんもん	専門家 専門店	専門	そつとう	会場で 卒倒 する	卒到	たきよう	他郷 へ働きに出る	他境
そうかい	掃海作業 掃海艇	捜海	そりん	松の 疎林 が続く	粗林	たしせいせい	多士 済々	多子齊々
そうけん	壮健な 身体	壮建	そろう	工事の疎漏	疏漏	たしょう	多少 の点は	多少
そうこ	相互 に行う	双互	そんぞく	尊属 殺人 直系尊属	尊族	たしょうのえん	他生 の縁	多少・多生
そうこう	装甲車 装甲板	装鋼	たいいんれき	太陰暦	大陰暦	だせい	情性 で生きている	情勢・墮性
そうごん	莊嚴な 寺院	壮嚴	たいき	自宅で 待機 する	侍期	たちんぼう	立ちん坊	立ちん棒
ぞうさく	造作 のいい家	雑作	たいぎめいぶん	大義名分	大議明文	たつかん	人生を 達観 する	達感
そうしそうあい	相思相愛	想思想愛	たいぐう	待遇 が悪い	侍偶・対遇	だつきやく	危機を 脱却 する	脱脚
そうじょうこうか	相乗効果	双乗効果	たいくつ	退屈 で困る	怠屈	だっこく	稲を 脱穀 する	脱穀
そうじょうせき	相乗積	総乗積	たいこ	太古 の遺跡	大古	だらく	墮落 した幹部たち	惰落・随落
そうだい	壮大な 建築物	莊大	たいこ	太鼓 をたたく	大鼓	だりよく	情力 で走る	墮力・随力
そうたいてき	相対的 に見て	双対的	たいこう	計画の 大綱	大項・大綱	だんあつ	弾圧 に抵抗する	断圧
そうちよう	莊重な 儀式	壯重	たいこうしゃ	対向車 のライト	対行車	たんか	担架 に乗せる	担荷
そうへき	学界の 双壁 *	双壁	たいこうぼう	太公望	太公望	たんぐつ	短靴 を買う	単靴
そうほう	双方 の言い分	相方	だいじんぐう	大神宮 の宮司	太神宮	たんでき	端的 に言えば	単的・短的
そうらんざい	騒乱罪 を適用する	争乱罪	たいせいよう	大西洋	太西洋	たんとうちよくにゅう	単刀直入	短刀直入
そうれい	壮麗な 宮殿	莊麗	たいてい	大抵 は大丈夫だ	大低	たんぱくしつ	蛋白質	淡泊質
そえん	疎遠な 間柄	粗遠	たいねつ	耐熱 ガラス	対熱	たんぺいきゅう	短兵急 に言う	単兵急
そくざ	即座 に承知する	速座	たいふう	台(颱)風 の襲来	大風	ちぐう	知遇 を得る	知偶

ちくじ	逐次連絡する	ていこう	激しく抵抗する	低抗	でんわき	電話機の受話器	電話器
ちくしょう	畜生にも劣る	ていさい	体裁を整える	態裁・体裁	いとしよく	徒衣徒食	徒為徒食
ちくじょう	逐条審議に入る	ていじょう	記念品を呈上する	提上	とうかい	倒壊した家屋	到壊・倒壊
ちくせき	利益を蓄積する	ていせい	帝政ロシア	帝制	とうかしたしむ	灯火親しむ	灯下親しむ
ちせき	治績を調べる	ていそくすう	定足数に達する	定則数	どうかせん	導火線に点火する	道火線
ちたい	遅滞なく調べる	ていたい	景気が停滞する	低滞	とうき	地価が騰貴する	騰貴
ちやくしゅつし	嫡出子	ていとう	低当に入れる	低当	どうぎ	動議を提出する	動義
ちやくふく	公金を着服する	ていのう	低能な学生	低脳	とうげんきよう	桃源郷を夢みる	桃源境
ちゅうけい	伝達を中継する	ていめい	暗雲が低迷する	停迷	どうこういきよく	同工異曲の案	同巧委曲
ちゅうこく	忠告に逆らう	てきざい	適材を適所に	適才・敵財	とうさい	貨物を搭載する	塔裁・搭載
ちゅうさい	仲裁に入る	てきれいき	適齢期の娘	適令季	とうししんたく	投資信託	投資信託
ちゅうする	天に沖する煙	てっかい	提案を撤回する	撤回・撤回	とうしやばん	騰写版の印刷	騰写判
ちゅうぶらりん	宙ぶらりん	てつきよ	建物を撤去する	徹去	とうじよう	飛行機に搭乗する	塔乗
ちようこうぜつ	長広舌を振るう	てっしゅう	テントを撤収する	徹収	とうじん	遺産を蕩尽する	湯尽
ちようしゅう	聴衆に訴える	てったい	米軍が撤退する	徹退	どうすい	導水管 導水路	道水
ちようする	意見を徴する	てつてい	徹底を図る 徹底的	徹低	とうぜん	当然のなりゆき	当前
ちようだい	頂戴の品々	てつとうてつび	徹頭徹尾反対する	徹頭徹尾	とうそつ	部下を統率する	統卒
ちようふく	重複した説明	てつぱい	制限を撤廃する	徹廢・撤廢	とうてい	到底不可能だ	到低・到底
ちよくじょうけいこう	直情径行	てばなす	宝を手放す	手離す	とうのむかし	疾うの昔	遠の昔
ちよすいち	貯水池のダム	てらこや	寺子屋式の授業	寺小屋	どうひよう	道標に従って行く	導標
ちよちく	貯蓄に励む	てんかたいへい	天下太平	天下太平	どうほう	海外の同胞	同朋
ちよつけい	直径を測る	てんき	：を転機として	転期	とうほん	戸籍謄本	騰本
ついおく	追憶にふける	でんげん	電源を切る	電原	とうらい	時節到来 到来物	当来・到来
つうへい	役人の通弊として	てんしゅかく	城の天守閣	天主閣	とおりいっぺん	通り一遍の手紙	通り一辺
つまようじ	爪楊枝	てんじよう	高い天井 天井裏	天上	ときようそう	徒競走で一着	徒競争
ていか	実力が低下する	てんじようむきゆう	天壤無窮	天壤無窮	とくぎ	特技のある人	得技
ていきよう	無償で提供する	てんしんらんまん	天真爛漫	天身・天心	どくごかん	読後感を話す	読後観

とくしか	篤志家の寄付	特・徳志家	につしんげつぽ	日進月歩の科学	日新月歩	はかい	破壊されたビル	破壊・破壊
とくしゅ	特殊な形	特種	にゅうか	資材が入荷する	入貨	はくりよく	迫力ある試合	薄力・魄力
どくしよひゃつぺん	読書百遍	読書百編	にゅうぎよけん	入漁権の確保	入魚権	はけん	役員を派遣する	派遣
どくぜつ	毒舌を振るう	毒説	にんしょう	認証式 認証官	任証	はつおんびん	撥音便	撥音便
どくせん	利益を独占する	独専	(じ)んめんじゅうしん	人面獣心の男	人面獣身	はつき	威力を発揮する	発輝
どくそうてき	独創的な発明	独想的	にんよう	条件を認容する	認用	はつしょう	回教発祥の地	発生
どくだんじょう	彼の独壇場だ	独壇上	ねつげん	熱源を確保する	熱原	はつぼうさい	八宝菜を注文する	八芳菜
とくてん	会員の特典	特点	ねむる	一人で眠る	寝むる	はつらつ	元氣潑刺	発刺
とくよう	お徳用の品 徳用米	特用	ねんしょう	年少の者 年少組	年少	はつろ	愛情の発露	発露
としのこう	亀の甲より年の功	年の甲	のうかんき	農閑期の出稼ぎ	農閑季	はてんこう	破天荒の事業	破天候
としょう	川を徒渉する	徒渉	のうきぐ	農機具の販売	農器具	はなお	下駄の鼻緒	花諸・鼻尾
とじょう	土壌の改良	土壤	のうさつ	男性を悩殺する	悩殺	はながた	一座の花形	花型
とつぜんへんい	突然変異	突然変移	のうずい	脳髓の活動	脳随・悩髓	はながみ	鼻紙でかむ	花紙
とほう	途方に暮れる	途法	のうはんき	農繁期の作業	農煩季	はらん	波乱(瀾)万丈	破乱
どろじあい	泥仕合いになる	泥試合	のうふ	納付金 納付期限	納附	はわたり	刃渡り二〇センチ	破渡り
どんよく	貪欲な男	貧欲	のきば	軒端のつらら	軒場	はんえい	性格を反映する	反影
ないじょう	内情を探る	内状	のほうず	野放図に育てる	野方図	はんけい	円の半径	半径
ないぞう	電源を内蔵する	内臓	はいか	配下の者	拝下	ばんじきゅうす	万事休す	万事窮す
なかがい	魚の仲買	中買	はいき	書類を廃棄する	廢棄	はんしよく	菌が繁殖する	繁殖
なや	農家の納屋	納家	はいぐうしゃ	配偶者あり	配遇者	はんしんふずい	半身不随	半身不随
なんぎ	悪路で難儀する	難義	はいし	規約を廃止する	廢止	ばんぜん	万全を期する	万善
なんぎようくぎょう	難行苦行	難業苦業	はいしゅつ	学者が輩出する	配出	はんぶ	特別に頒布する	頒付
なんこう	交渉が難航する	難行	ばいしょう	損害を賠償する	賠償・倍賞	はんぶく	練習を反復する	反復
なんなく	難なく合格した	何なく	ばいしん	陪審制度 陪審員	倍審・培審	ばんりよくそうちゅう	万緑叢中紅一点	万緑草中
にくしん	肉親と別れる	肉身	はいせき	外資を排斥する	排斥	ひかん	将来を悲観する	悲感
にくはく	敵に肉薄する	肉迫	はいふく	拝復	拝復	ひこう	非行を重ねる	否行
にそくさんもん	二束三文の値打ち	二足三文	ばいよう	菌を培養する	倍養	ひこうかい	非公開の審議	否公開

ひこうしき	非公式の発言	ふしぎ	不思議な事件	へいじょう	平常の生活	平生
ひこうにん	非公認の候補者	ふしまつ	火の不始末	へいせつ	幼稚園を併設する	並設
ひじゅん	条約を批准する	ふしよ	各人の部署	へいはつ	余病を併発する	並発
ひそう	皮相な見解	ふしょうぶしょう	不承不承	へいふく	平伏して謝る	平服
ひそう	悲壮な覚悟	ふしよく	勢力を扶植する	へんくつ	偏屈な性格	変屈
ひだち	産後の肥立ち	ふそくふり	不即不離	へんけん	偏見を持つ	遍見・変見
ひつてき	彼に匹敵する者は	ふたく	委員会に付託する	へんさい	借金を返済する	返済
ひてい	うわさを否定する	ぶつだん	仏壇を飾る	ほうがい	法外な要求	方外
ひとごと	人事のように	ふつとう	湯が沸騰する	ほうがい	安眠を妨害された	妨害
ひなん	相手を非難する	ふはい	腐敗した政界	ほうかご	放課後の運動	放科後
ひにん	事実を否認する	ふへん	普遍的 普遍性	ほうがちょう	奉加帳を回す	奉賀帳
ひのこ	火の粉を浴びる	ふへんふとう	不偏不党	ほうかつ	全体を包括する	抱括
ひへい	国が疲弊する	ふわらいどう	付和雷同	ほうけん	冒險をする	冒険
びみょう	微妙な問題	ふんいき	静かな雰囲気	ほうこ	資源の宝庫	豊庫
ひょうしょう	功績を表彰する	ふんがい	汚職に憤慨する	ほうし	騒音を防止する	妨止
びょうじょう	病状を尋ねる	ふんき	負けて奮起する	ほうしゃ	神社に報謝する	報捨
びんぼう	貧乏暇なし	ふんきゅう	会議が紛糾する	ほうじやくぶじん	傍若無人	暴若無尽
ふうこうめいび	風光明媚	ふんげき	憤激して帰る	ほうとう	地価が暴騰する	暴騰
ふうてい	怪しい風体の者	ふんこつさいしん	粉骨碎身	ほうねまんざく	豊年満作	豊年万作
ふかけつ	不可欠の要件	ふんさい	岩石を粉碎する	ほうまん	放漫な経営	放慢
ふくざつ	複雑な事情	ふんしつ	書類を紛失する	ほうもん	新居を訪問する	訪問
ふくしゃ	資料を複写する	ふんしよく	決算を粉飾する	ほうよう	法要を営む	法養
ふくしん	腹心の部下	ぶんせき	成分を分析する	ほうれつ	カメラの放列	砲列
ふくせい	名画を複製する	ふんそう	紛争が続発する	ほかく	鯨を捕獲する	捕獲
ふくせん	伏線を張る	ふんぱつ	祝儀を奮発する	ほけん	生命保険の保険料	保検・保俵
ふくせん	複線の線路	ふんぱんもの	噴飯物の計画	ほんさい	盆栽をいじる	盆栽
ふくぞう	腹藏のない意見	へいがい	弊害を除く	まぎわ	出発の間際	真際

ますい	麻酔を掛ける	魔酔・麻睡	もくひ	黙秘する 黙秘権	黙否	ようしょう	幼少のころ	幼小
まちか	間近に迫る	真近	もけい	客船の模型	模形	ようせい	人材を養成する	養生
まぶか	目深にかぶる	真深	もじばん	文字盤の字	文字板	よぎない	余儀ない事情	余義・子儀
まやく	麻薬の中毒	魔薬	もちこむ	材料を持ち込む	持ち越む	よきん	銀行へ預金する	予金
まんじょういつち	満場一致	万場一致	もはん	模範とする人物	模範	よくせい	行動を抑制する	抑勢
まんせい	慢性の中耳炎	慢性	もよう	模様を描く	模様	よご	手術の予後	余後
まんぜん	漫然と暮らす	漫然	もんびよう	門標を掲げる	門表	よせい	余生を送る	余世
まんてん	満点の成績	万点	やかたぶね	屋形船	家型船	よだん	予断を許さない	余断
まんべんなく	万遍なく見る	万辺	やごう	料理屋の屋号	家号	よゆう	余裕を持つ	余猶・予裕
まんゆう	諸国を漫遊する	漫遊	やつき	搜索に躍起になる	躍気	よろん	輿論の動向	与論
みきわめる	限界を見窮める	見決める	やぬし	横柄な家主	屋主	らっかん	情勢を楽観する	楽感
みせいねん	未成年の男子	未成年	やね	屋根を修理する	家根	りしよく	利殖を目的とする	利殖・利食
みせや	店で買う	店家	ゆいごん	父の遺言 遺言状	遺言	りちぎ	律義(儀)な人	律気
みぜん	火事を未然に防ぐ	未前	ゆうこう	友好関係 友好的	交友	りやくぎ	略儀ながら	略義
みつげつ	蜜月の思い出	密月	ゆうすいち	上流の遊水池	遊水地	れいき	礼儀を重んじる	礼義
みつせつ	密接な関係	密切	ゆうぜん	友禅の着物	友染・友仙	れいげん	霊験あらたか	靈顕
むがむちゆう	無我夢中	無我無中	ゆうそう	勇壮なマーチ	雄壯	れいふじん	令夫人を同伴	令婦人
むちゆう	夢中で走る	無中	ゆうたい	社長を勇退する	優退	れきじつ	山中暦日なし	歴日
むほう	無謀な行為	無暴・無媒	ゆうだい	雄大な景色	勇大	れんしよ	名前を連署する	連書
むよう	無用の長物	無要	ゆうひ	海外に雄飛する	勇飛	れんたい	連帯感 連帯責任	連体
めいがら	酒の銘柄	名柄	ゆうふく	裕福な暮らし	有福・祐副	ろうこう	老巧な選手	老功
めいき	名義を変更する	名儀	ゆうもう	勇猛な軍人	雄猛	ろうせき	狼藉を働く	浪籍
めいし	名刺を出す	名刺	ゆうよ	支払いを猶予する	猶余・裕予	ローマほうおう	ローマ法王	法皇
めいめい	銘々が注意する	名々	ゆるがせ	忽せにできない	揺るがせ	ろうれい	老齢に達する	老令
もうかんじゅうそう	盲管銃創	盲貫銃創	ようぎよじよう	養魚場を営む	養漁場	わいきよく	事実を歪曲する	否曲
もうじや	金の亡者	妄者	ようじ	楊枝でほじくる	揚枝	わいろ	賄賂を贈る	賄賂
もくそう	目礼し目送する	黙送	ようじやく	幼弱な時期	幼若			

同音の漢字による書きかえ

・昭和三十一年七月五日国語審議会から文部大臣に報告されたもの。

・教科書や新聞・雑誌などでは広く用いられているが、中には、しっくりしない感じを与えるものもあるのは否めない。（三省堂編修所注）

1 当用漢字の使用を円滑にするため、当用漢字表以外の漢字を含んで構成されている漢語を処理する方法の一つとして、表中同音の別の漢字に書きかえることが考えられる。ここには、その書きかえが妥当であると認め、広く社会に用いられることを希望するものを示した。

2 同字で、単に字体の異なるだけのものも掲げている。（例 紕明→糾明）

3 字音の中には、いわゆる慣用音によったものもある。（例 撒水→散水）

矢印の上は当用漢字表にない漢字で書かれる漢語、下は書きかえである。一字のものは、上の字は下の字に書きかえてさしつかえないことを示す。

（法）法令用語改正例 （化） （化学編）
（物）学術用語集（物理学編） （船） （船舶工学編）
（土） （土木工学編） （建） （建築学編）
（鉦） （採鉦や金学編） （医）医学用語集（第一次選定）

および現在文部省学術用語分科審議会医学用語専門部会で採用のもの。
×…当用漢字表にない漢字
（*は常用漢字 三省堂注）

穎×叡×	陰	一	遺	衣	慰藉×	意	闇×按×暗	暗	安	闇×	愛	あ	お	苑×掩×	焰×			
才	翳×	挺×	蹟×	裳×	料	嚮×	夜	分	誦×	翳×	佚×					慾×	地	護
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓					↓	↓	↓
英	英	陰	一	遺	衣	慰	暗	案	暗	暗	安	愛	お	園	援			
才	知	影	丁	跡	装	謝料	夜	分	唱	影	逸	欲				地	護	
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓	
潰×潰×	恢×	廻×	蛔×	廻×	開	誠×	快	外	か	恩	臆×	臆×	お	園	援			
乱	滅	復	転	虫	送	鑿×	告	廓×		誼×	測	説				地	護	
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		↓	↓	↓				↓	↓	↓
壊	壊	回	回	回	開	戒	快	外	回	恩	憶	憶	お	園	援			
乱	滅	復	転	虫	削	告	活	郭	戒	義	測	説				地	護	
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓	
企	饑×	氣	稀×	畸×	乾	旱×	肝	管	間	旱×	活	劃×	廓×	郭	火	廻×		
劃×	餓	焰×			溜×	天	腎×	歇×	害	潑×	劃×	廓×	然				劃×	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦	欠	害	発	期	大	然				画	廊
↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓
企	飢	氣	希	奇	乾	干	肝	管	間	干	活	面	郭	郭	火	回		
画	餓	炎			天	心	弦											

兇×教	饗×兇×	兇×	旧	糾×糾×	糾×	稀×吃×機	綺×稀×奇	徽×稀×稀×稀×畸×												
漢	誨×応	悪		兇×馭×	蹟×明	彈	糾×	薄	水	智×談	代	蹟×章	少	釈	素	形				
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
凶	教	供	凶	凶	御	旧	糾	糾	糾	希 ^(法)	喫 ^(船)	機	奇	希	奇	記	希	希 ^(化)	希	奇
漢	戒	応 ^(法)	悪			跡	明	彈		薄	水	知	談	代	跡	章	少 ^(化)	釈	素	形
繫×繫×繫×繫×				燠×	訓	掘	区			吟	技	稀×	漁	馭×	兇×	兇×	兇×	兇×	鞏×	兇×
留	属	争	船	製	誠×	鑿×	劃×			誦×	倆×	酸	撈×	者	暴	変	刃	行	固	器
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
係	係	係 ^(法)	係 ^(船)	薰	訓	掘	区			吟	技	希	漁	御	凶	凶	凶	凶	強	凶
^(法) 留	^(法) 属	争	船	製	戒 ^(鉦)	削	画			唱	量	硫酸	劳	者	暴	変	刃	行	固	器
甦×	扣×	交	鯁×	礦×	交					儼×	研	嶮×	元	絃×		訣×	月	蹶×	決	下
生	除	又×	骨	業	驩×	礦×	宏×	倖×		然	磨×	岨×	兇×	歌	絃×	別	蝕×	起	潰×	上
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
更	控	交	硬	鉦	交					嚴	研	險	元	弦		決	月	決	決	下
生 ^(法)	除 ^(法)	差	骨	業	歡	鉦	広	幸		然 ^(鉦)	摩	阻	凶	歌	弦	別	食	起	壊	上
昏×	根	混	雇	骨	古	古	涸×	媾×	強	昂×	曠×	弘×	昂×	広	昂×	香	宏×	宏×	礦×	
迷	柢×	淆×	傭×	骼×	蹟×	稀×	渴	和	慾×	揚	野	報	亢 ^(亢)	汎×	騰	奠×	大	壯	石	
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
混	根	混	雇 ^(動)	骨 ^(医)	古	古	枯	講	強	高	広	広	興	広	高	香	広	広	鉦	
迷	底	交 ^(法)	用 ^(医)	格	跡	希	渴	和	欲	揚	野 ^(法)	報	奮	範	騰	典	大	壯 ^(鉦)	石	
死	七	屍×	史	刺	色		撒×	讚×	讚×	撒×	讚×	讚×	三		雜	坐×	坐×	坐×	醋×	
歿×	顛×	体	蹟×	戟×	慾×		布	美	嘆	水	辞	仰	絃×	讚×	沓×	洲×	礁	視	酸	坐×
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
死	七	死	史	刺	色		散	賛	賛	散	賛	賛	三	賛	雜	座	座 ^(船)	座 ^(化)	酢	座
没	八 ^(医)	体	跡	激	欲		布	美	嘆	水	辞	仰	弦	賛	踏	州 ^(船)	礁	視	酸	

牆×銷×焦	陞×称	情	障	銷×銷×	駿×手	聚×終	蒐×蒐×	輯×洲×	車	射
壁	沈	躁×叙	(賞)誼×	碍×却	才	蹟×落	熄×集	荷	輜×	倖×
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
障	消	焦	昇	情	障	消	消	俊	手	集
(法)壁	沈	燥	叙	(賞)賛	害	却	夏	才	跡	落
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
蹟×	性	棲×	制	衰	訊×	侵	滲×	伸	真	浸
慾×	慾×	(栖)息	馭×	頽×	問	掠×	透	暢×	蹟×	蝕×
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
蹟	性	生	制	衰	尋	侵	浸	伸	真	浸
(医)跡	欲	息	御	退	問	略	透	長	跡	食
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
装	惣×	相	綜×	蒼×	象	惣×	沮×	戰	煽×	擅×
釘×	菜	剋×	合	惶×	嵌×	惣×	沮×	戰	洗	煽×
(幘)↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	戰	滌×	情
装	総	相	総	倉	象	総	阻	戰	洗	扇×
丁	菜	克	合	皇	眼	総	阻	戰	洗	扇×
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	戰	洗	扇×
媛×	媛×	短	端	炭	歎×	奪	大	颯×	頽×	頽×
炉	房	篇×	坐×	礦×	願	掠×	慾×	風	廢	勢
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
媛	媛	短	端	炭	嘆	奪	大	台	退	退
(建)炉	(建)房	編	座	鉦	願	略	欲	風	廢	勢
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
顛×	顛×	手	碇×	叮×	鄭×	抵×	低×	沈	長	註×
覆	倒	帖×	泊	嚀×	重	(舐)觸	徊×	澱×	篇×	文
と	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
転	転	手	停	丁	丁	抵	低	沈	長	注
(法)覆	(法)倒	(法)帳	(法)泊	寧	重	(法)觸	回	(化)殿	編	文
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
智×	智×	智×	智×	智×	智×	智×	智×	智×	智×	智×
謀	能	慧×	智×	智×	智×	智×	智×	智×	智×	智×
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知
謀	能	惠	知	知	知	知	知	知	知	知

反	蕃 [×]	蕃 [×]	叛 [×]	叛 [×]	拔	薄	醱 [×]	破	曝 [×]	破	悖 [×]	日	杜 [×]	特	蹈 [×]	倒	
撥 [×]	族	殖	逆	旗	萃 [×]	倖 [×]	酵	摧 [×]	露	毀 [×]	德	蝕 [×]	絶	輯 [×]	襲	潰 [×]	蹈 [×]
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
反	蛮	繁	反	反	拔	薄	爰	破	暴	破	背	日	途	特	踏	倒	
発	族 ^(法)	殖	逆	旗	粹	幸	酵	碎 ^(法)	露 ^(法)	棄	德	食	絶	集	襲	壊	踏
抛 [×]	妨	崩	哺 [×]		編	辺		腐	物	符	腐	諷 [×]	病	筆	蜚 [×]	叛 [×]	
棄	碍 [×]	潰 [×]	育		輯 [×]	疆 [×]		爛 [×]	慾 [×]	牒 [×]	蝕 [×]	刺	歿 [×]	蹟 [×]	語	乱	
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
放	妨	崩	保		編	辺		腐	物	符	腐	風	病	筆	飛	反	
棄 ^(法)	害	壊	育	補	集	境	編	乱	欲	丁	食	刺	没	跡	語	乱	
妄 [×]	摸 [×]		棉 [×]	名 [×]	無	無	磨 [×]	保	輔 [×]	鋪 [×]	輔 [×]	抛 [×]	庖 [×]	庖 [×]	繃 [×]	防	
動		も	花	慾 [×]	慾 [×]	智 [×]	滅	姆 [×]	導	装	佐	物線	丁	大	帶	禦 [×]	
↓	↓		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
盲	模		綿	名 [×]	無	無	摩	保	補	鋪	補	放	包	膨	包	防	
動			花	譽欲	欲	知	滅 ^(土)	母	導	装	佐	物線	丁	大 ^(医)	帶	御	
諒 [×]	俚 [×]	掠 [×]	離	理	悞 [×]	理	落		慾 [×]	熔 [×]	鎔 [×]	熔 [×]	鎔 [×]	鎔 [×]	野	摸 [×]	
	謡	奪	叛 [×]	智 [×]	巧	窟 [×]	磐 [×]		接	鎔 [×]	鎔 [×]	鎔 [×]	鎔 [×]	鎔 [×]	鄙 [×]	索	
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
了	里	略	離	理	利	理	落 ^(鉦)	欲 ^(鉦)	溶 ^(鉦)	溶 ^(鉦)	溶 ^(鉦)	溶 ^(鉦)	溶 ^(鉦)	野	模		
	謡	奪	反	知	口	屈	盤	接	鎔 ^(鉦)	鎔 ^(鉦)	鎔 ^(鉦)	鎔 ^(鉦)	卑	索			
彎 [×]	彎 [×]		聯 [×]	聯 [×]	聯 [×]	聯 [×]	煉 [×]	煉 [×]	聯 [×]	聯 [×]	連	聯 [×]	連	輪	諒 [×]	諒 [×]	
入	曲	彎 [×]	立	絡	盟	邦	乳	炭	珠	想	坐 [×]	合	繫 [×]	廓 [×]	承	解	輻 [×]
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
湾	湾	湾	連	連	連	連	練 ^(医)	練 ^(化)	連	連	連	連	連	輪	了	了	両
入 ^(法)	曲		立	絡	盟	邦	乳	炭	珠	想	座	合	係	郭	承	解	

日本新聞協会の、同音の漢字による書きかえ

詭	氣	毀	義	貫	恰	恰	臆	一	萎
弁	魄	損	捐	祿	幅	好	病	攫	縮
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
奇	氣	棄	義	貫	格	格	憶	一	委
弁	迫	損	援	祿	幅	好	病	獲	縮

破棄

憶憶
測說

耕	勾×	眩×	激	敬	燠×	均	禁	橋	饗×
耘×								頭	
機	引	惑	昂×	虔×	蒸	齊×	錮×	堡×	宴
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
耕	拘	幻	激	敬	薰	均	禁	橋	供
運								頭	
機	引	惑	高	謙	蒸	整	固	保	宴
			高揚	高騰	薰製				供應

・国語審議会報告「同音の漢字による書きかえ」(一九六九ページ)にならって、日本新聞協会の新聞用語懇談会が定めたもの。新聞・雑誌などでは広く用いられている。ここには「新訂 新聞用語集」(昭和四四年七月 同協会刊)から、漢字の書きかえに関するもののみを抜粋した。(その後の改訂で削除されたものもある。)

・矢印の上は本来の漢字、下はその書きかえ、×は「当用漢字(音訓)表」にない漢字(ただし、*は常用漢字)や読みである。

・点線の下には、国語審議会報告「同音の漢字による書きかえ」中の関連事項を掲げた。

數(布)衍	風光明媚	披瀝	飄然	斑點	波瀾	廢墟	鳥瞰	抽籤	擡頭	尖兵	食餌療法	饒舌	醇朴	駿足	紫斑	質種	三叉路	鑿岩機	渾然	昂(亢)進
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
敷延	風光明美	披歷	漂然	班點	波乱	廢虚	鳥觀	抽選	台頭	先兵	食事療法	冗舌	純朴	俊足	紫班	質草	三差路	削岩機	混然	高進
										先端				俊才			交差	掘削	開削	高揚

練(鍊)磨	了(料)簡	溜 [×] 飲	落 [×] 伍	油槽 [×] 船	悠 [×] 然	優 [×] 駿	友 [×] 誼	妄 [×] 念	妄 [×] 想	妄 [×] 執	名譽毀損	脈 [×] 搏	磨 [×] 耗	拇 [×] 指	堡 [×] 壘	芳 [×] 醇	捧 [×] 持	防 [×] 遏	扮 [×] 裝	不 [×] 恰好
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
練摩	了見	留 [×] 飲	落 [×] 後	油送船	裕 [×] 然	優 [×] 俊馬	友 [×] 宜	盲 [×] 念	盲 [×] 想	盲 [×] 執	名譽棄損	脈 [×] 拍	摩 [×] 耗	母 [×] 指	保 [×] 壘	芳 [×] 純	奉 [×] 持	防 [×] 压	粉 [×] 裝	不 [×] 格好
摩研減	摩	乾留	蒸留			俊才	情義	恩義	"	"	盲動	破棄			摩研減					

人名用漢字別表

・子供の名前に用いる文字は戸籍法と戸籍法施行規則によって定められている。このうち、漢字は、常用漢字（一九四五字）と人名用漢字別表の漢字（二八五字）の計二二三〇字に制限されている。

・字体は新字体に限られるが、常用漢字一九五字（「附則別表一」参照）と人名用漢字別表の漢字一〇字（「附則別表二」参照）については、当分の間、旧字体も用いることができる。なお、漢字の読み方は制限されていない。

・漢字の読み方については、「新明解漢和辞典」「三省堂漢和辞典」の巻末付録を参照されたい。

・昭和二六年に発表された人名用漢字別表の漢字は九二字であったが、五一年に二八字、五六年に五四字（常用漢字表に加えられた八字を削除）、平成二年に一一八字、九年に一字追加された。

（三省堂編修所注）

戸籍法 第五十条

- ①子の名には、常用平易な文字を用いなければならない。
 - ②常用平易な文字の範囲は、命令でこれを定める。
- 戸籍法施行規則 第六十条（平成二年四月一日施行）
戸籍法第五十条第二項（常用平易な文字の範囲）の常

用平易な文字は、左に掲げるものとする。

- 一 常用漢字表（昭和五十六年内閣告示第一号）に掲げる漢字（括弧書きが添えられているものについては、括弧の外のものに限る。）

- 二 別表第二に掲げる漢字

- 三 片仮名又は平仮名（変体仮名を除く。）

別表第二 人名用漢字別表（第六十条関係）

丑 丞 乃 之 也 亘 亥 亦 亨 亮 伊 伍 伎 伶 伽 佑 侃
侑 倖 倭 偲 允 冴 冶 凌 凜 風 凱 勁 匡 卯 叡 只 叶
吾 呂 哉 唄 啄 喬 圭 堯 奈 奎 媛 嬉 孟 宏 宥 寅
峻 峻 嵐 嵩 嵯 嶺 巖 巳 巴 巽 庄 弘 弥 彗 彦 彪 彬
伶 恕 悌 惇 惟 惣 慧 懂 拳 捷 捺 敦 斐 於 旦 旭 旺
昂 昌 昴 晃 晋 晏 晟 晨 智 暉 暢 曙 朋 朔 李 杏 杜
柊 柚 桎 栗 栞 桂 桐 梓 梢 梧 梨 棕 椎 椰 椿 楊 楓
楠 榛 槓 槻 樺 橘 檀 欣 欽 毅 毬 汀 汐 汰 沙 洲 洵
洸 浩 淳 渚 渥 湧 滉 湫 濤 熙 熊 燎 燦 燿 爽 爾 猪
玖 玲 琢 琉 琳 瑚 瑛 瑞 瑠 瑤 瑳 璃 甫 皐 皓 眉 眸
睦 瞭 瞳 矩 碧 碩 磯 祐 祿 禎 秦 稀 稔 稜 穰 竣 笙
笹 紗 紘 紬 紘 絢 綜 綸 綺 綾 緋 翔 翠 耀 耶 聰 肇
胡 胤 脩 舜 艷 芙 芹 苑 茱 茄 茅 茜 莉 莞 菖 董 萌
萩 葵 蒔 蒼 蓉 蓮 蔦 蕉 蔞 藍 藤 蘭 虎 虹 蝶 衿 袈
袈 詢 誼 諄 諒 赳 輔 辰 迪 遙 邕 那 郁 酉 醇 采

錦鎌阿隼雛霞靖鞠須頌颯馨駒駿魁鮎鯉
鯛鳩鳳鴻鵬鶴鷹鹿麟磨黎黛龜

〔三省堂注 *印の漢字は旧字体でも用いることができる。〕

附 則

2 当分の間、子の名には、この省令による改正後の戸籍法施行規則第六十条各号に掲げる文字のほか、附則別表に掲げる漢字を用いることができる。

附則別表 人名用漢字許容字体表(附則第二項関係)

〔三省堂注 一〕内は第六十条規定の字体で、新字体

一 常用漢字表に掲げる漢字に関するもの

亞(亜)惡(悪)爲(為)逸(逸)衛(衛)謁(謁)緣(縁)
應(応)櫻(桜)奧(奥)横(横)溫(温)價(価)禍(禍)
悔(悔)海(海)壞(壊)懷(懷)樂(楽)渴(渴)卷(卷)
陷(陥)寬(寛)漢(漢)氣(気)祈(祈)器(器)偽(偽)
戲(戯)虛(虚)峽(峽)狹(狭)響(響)曉(晓)勤(勤)
謹(謹)勳(勳)薰(薰)惠(恵)揭(掲)鷄(鶏)藝(芸)
擊(撃)縣(県)儉(儉)劍(剣)險(険)圈(圈)檢(検)
顯(顕)驗(験)嚴(嚴)廣(広)恆(恒)黃(黄)國(国)
黑(黒)穀(穀)碎(碎)雜(雑)祉(祉)視(視)兒(児)
濕(湿)社(社)者(者)煮(煮)壽(寿)收(収)臭(臭)
從(従)澁(渋)獸(獣)縱(縦)祝(祝)暑(暑)署(署)

緒(緒)諸(諸)敍(叙)將(将)祥(祥)涉(渉)燒(焼)
獎(奨)條(条)狀(状)乘(乗)淨(浄)剩(剩)疊(疊)
孃(嬢)讓(讓)釀(醸)神(神)眞(真)寢(寝)愼(愼)
盡(尽)粹(粹)醉(酔)穗(穂)瀨(瀬)齊(齊)靜(静)
攝(摂)節(節)專(専)戰(戦)纖(繊)禪(禅)祖(祖)
壯(壮)爭(争)莊(荘)搜(捜)巢(巢)裝(装)僧(僧)
層(層)騷(騷)增(増)憎(憎)藏(蔵)贈(贈)臧(臧)
卽(即)帶(帯)滯(滞)單(単)嘆(嘆)團(団)彈(弾)
晝(昼)鑄(鑄)著(著)廳(庁)徵(徴)聽(聴)懲(懲)
鎮(鎮)轉(転)傳(伝)都(都)燈(灯)盜(盗)稻(稻)
德(徳)突(突)難(難)拜(拝)賣(売)梅(梅)髮(髪)
拔(抜)繁(繁)晚(晩)卑(卑)祕(秘)碑(碑)賓(賓)
敏(敏)侮(侮)福(福)拂(払)佛(仏)勉(勉)步(歩)
墨(墨)翻(翻)每(毎)默(黙)藥(薬)與(与)搖(揺)
樣(様)謠(謡)來(来)賴(頼)覽(覧)欄(欄)龍(竜)
虜(虜)綠(緑)淚(涙)壘(塁)類(類)曆(暦)歷(歴)
練(練)鍊(錬)郎(郎)朗(朗)廊(廊)錄(録)

二 別表第二に掲げる漢字に関するもの

互(亙)巖(巖)彌(弥)渚(渚)猪(猪)琢(琢)祐(祐)
祿(禄)禎(禎)穰(穰)

現代仮名遣い

- ・昭和六一年七月一日内閣告示第一号。
 - ・この告示により、内閣告示「現代かなづかい」(昭和二十二年一月一六日付)は廃止された。
 - ・旧「現代かなづかい」は「大体、現代語音にもとづいて、現代語をかなで書きあらわす場合の準則を示したもの」であるが、新「現代仮名遣い」の性格は「前書き1・2」以下のとおりである。ただし、両者の内容はほとんど変わらない。
 - ・旧「現代かなづかい」のきまりは、仮名の表四表・細則三三項目・備考一〇項目などで示されている。新「現代仮名遣い」は、原則五項目(第1)・特例六項目(第2)・付記一項目などで示されている。
 - ・原文は横書き。
- (三省堂編修所注)

前書き

- 1 この仮名遣いは、語を現代語の音韻に従って書き表すことを原則とし、一方、表記の慣習を尊重して一定の特例を設けるものである。
- 2 この仮名遣いは、法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表すための**仮名遣いのよりどころ**を示すものである。
- 3 この仮名遣いは、科学、技術、芸術その他の各種専

門分野や個々人の表記にまで及ぼそうとするものではない。

- 4 この仮名遣いは、主として現代文のうち口語体のものに適用する。原文の仮名遣いによる必要のあるもの、固有名詞などでこれによりがたいものは除く。
- 5 この仮名遣いは、擬声・擬態的描写や嘆声、特殊な方言音、外来語・外来音などの書き表し方を対象とするものではない。
- 6 この仮名遣いは、「ホオ・ホホ(頬)」「テキカク・テツカク(的確)」のような発音にゆれのある語について、その発音をどちらかに決めようとするものではない。
- 7 この仮名遣いは、点字、ローマ字などを用いて国語を書き表す場合のきまりとは必ずしも対応するものではない。
- 8 歴史的仮名遣いは、明治以降、「現代かなづかい」(昭和二十二年内閣告示第三三三号)の行われる以前には、社会一般の基準として行われていたものであり、今日においても、歴史的仮名遣いで書かれた文献などを読む機会が多い。歴史的仮名遣いが、我が国の歴史や文化に深いかかわりをもつものとして、尊重されるべきことは言うまでもない。また、この仮名遣いにも歴史的仮名遣いを受け継いでいるところがあり、この仮名遣いの理解を深める上で、歴史的仮名遣いを知ることには有用である。付表において、この仮名遣いと歴史的仮名遣いとの対照を示すのはそのためである。

本文

凡例

1 原則に基づくきまりを第1に示し、表記の慣習による特例を第2に示した。

2 例は、おおむね平仮名書きとし、適宜、括弧内に漢字を示した。常用漢字表に掲げられていない漢字及び音訓には、それぞれ*印及び△印をつけた。

第 1

語を書き表すのに、現代語の音韻に従って、次の仮名を用いる。

ただし、下線を施した仮名は、第2に示す場合にだけ用いるものである。

1
直
立
目

例	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
あ	さ	ひ		り	み	ひ	に	ち	し	き	い
(朝日)			る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
き			れ	め		へ	ね	て	せ	け	え
(菊)	を	ろ	よ	も		ほ	の	と	そ	こ	お
さ						は	ば		だ	ざ	が
くら						び	び		ち	じ	ぎ
(桜)						ふ	ふ		づ	ず	ぐ
						ぺ	べ		で	ぜ	げ
						ぽ	ぽ		ど	ぞ	ご

2

ついやす(費) にわ(庭) ふで(筆) もみじ(紅葉)
 ゆずる(譲) れきし(歴史) わかば(若葉)
 えきか(液化) せいがか(声楽家) さんぽ(散歩)
 拗音 よたう

ひ	に	ち	し	き
や	や	や	や	や
ひ	に	ち	し	き
ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ
ひ	に	ち	し	き
よ	よ	よ	よ	よ
ひ	び	ぢ	じ	ぎ
や	や	や	や	や
ひ	び	ぢ	じ	ぎ
ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ
ひ	び	ぢ	じ	ぎ
よ	よ	よ	よ	よ

り み
や や
り み
ゆ ゆ
り み
よ よ

〔例〕

しゃかい(社会) しゆくじ(祝辞)
かいじよ(解除) りやくが(略画)

注意

拗音に用いる「や、ゆ、よ」は、なるべく書きにする。

3

撥音
ん

例

まなんで(学) みなさん しんねん(新年)
しゅんぶん(春分)

4

促音

例

はしって(走) かつき(活気) がっこう(学校)
せっけん(石^{*}鹼)

注意

促音に用いる「つ」は、なるべく小書きにする。

5

長立日

(1) ア列の長音

ア列の仮名に「あ」を添える。

例 おかあさん おばあさん

(2) イ列の長音

イ列の仮名に「い」を添える。

例 にいさん おじいさん

(3) ウ列の長音

ウ列の仮名に「う」を添える。

例 おさむうございます(寒) くうき(空気)

ふうふ(夫婦)

うれしゅう存じます きゅうり

ぼくじゅう(墨汁) ちゅうもん(注文)

(4) エ列の長音

エ列の仮名に「え」を添える。

例 ねえさん ええ(応答の語)

(5) オ列の長音

オ列の仮名に「う」を添える。

例 おとうさん とうだい(灯台)

わこうど(若人) おうむ

かおう(買) あそぼう(遊) おはよう(早)

おうぎ(扇) ほうる(*抛) とう(塔)

よいでしよう はっぴよう(発表)

きよう(今日) ちようちよう(*蝶々)

第2 特定の語については、表記の慣習を尊重して、次のように書く。

1 助詞の「を」は、「を」と書く。

例 本を読む 岩をも通す 失礼をばいたしました

やむをえない いわんや・ををやよせばよいものを
てにをは

2 助詞の「は」は、「は」と書く。

例 今日は日曜です 山では雪が降りました

あるいは または もしくは

いずれは さては ついては ではさようなら

とはいえ

惜しむらくは 恐らくは 願わくは

これはこれは こんにちは こんばんは

悪天候ものかは

〔注意〕 次のようなものは、この例にあたらな

のとする。

いまわの際 すわ一大事

雨も降るわ風も吹くわ 来るわ来るわ

きれいだわ

3 助詞の「へ」は、「へ」と書く。

例 故郷へ帰る …さんへ 母への便り 駅へは数分

4 動詞の「いう(言)」は、「いう」と書く。

例 ものをいう(言) いうまでもない

昔々あったという

どういうふうに 人というもの こういうわけ

5 次のような語は、「ぢ」「づ」を用いて書く。

(1) 同音の連呼によって生じた「ぢ」「づ」

例 ちぢみ(縮) ちぢむ ちぢれる ちぢこまる

つづみ(鼓) つづら つづく(続)
つづめる(△約) つづる(*綴)

〔注意〕「いちじく」「いちじるしい」は、この例にあたららない。

(2) 二語の連合によって生じた「ぢ」「づ」

例 はなぢ(鼻血) そえぢ(添乳) もらいぢぢ

そこちから(底力) ひぢりめん

いれぢえ(入知恵) ぢぢのぢぢやわん

まぢか(間近) こぢんまり

ぢかぢか(近々) ぢりぢり

みかづき(三日月) たけづつ(竹筒)

たづな(手綱) ともづな にいづま(新妻)

けづめ ひづめ ひげづら

おこづかい(小遣) あいそづかし わしづかみ

こころづくし(心尽) てづくり(手作)

こづつみ(小包) ことづて はこづめ(箱詰)

はたらきづめ みちづれ(道連)

かたづく こづく(小突) どくづく もとづく

うらづける ゆきづまる ねばりづよい

つねづね(常々) つくづく つれづれ

なお、次のような語については、現代語の意識では一般に二語に分解しにくいもの等として、それぞれ「じ」「ず」を用いて書くことを本則とし、「せかいぢゅう」「いなづま」のように「ぢ」「づ」を用いて書くこともできるものとする。

例 せかいじゅう(世界中)

いなづま(稲妻) かたず(固*唾) きずな(*絆)

さかづき(杯) ときわず ほおずき みみずく

うなずく おとずれる(訪) かしずく

つまずく ぬかずく ひざまずく

あせみずく くんずほぐれつ さしずめ

でずっぱり なかんずく

うでずく くらずくめ ひとりずつ

ゆうずう(融通)

〔注意〕 次のような語の中の「じ」「ず」は、漢字の音読みでもともと濁っているものであって、

上記(1)、(2)のいずれにもあたらず、「じ」「ず」を用いて書く。

例 じめん(地面) ぬのじ(布地)

ずが(図画) りやくず(略図)

6 次のような語は、オ列の仮名に「お」を添えて書く。

例 おおかみ おおせ(仰) おおやけ(公)

こおり(氷・郡) こおろぎ ほお(*頬・△朴)

ほおずき ほのお(炎) とお(十)

いきどおる(憤) おおう(覆) こおる(凍)

しおおせる とおる(通) とどこおる(滞)

もよおす(催)

いとおいしい おおい(多) おおきい(大)

とおい(遠)

おおむね おおよそ

付記

これらは、歴史的仮名遣いでオ列の仮名に「ほ」又は「を」が続くものであって、オ列の長音として発音されるか、オ・オ、コ・オのように発音されるかにかかわらず、オ列の仮名に「お」を添えて書くものである。

次のような語は、エ列の長音として発音されるか、エイ、ケイなどのように発音されるかにかかわらず、エ列の仮名に「い」を添えて書く。

例 かれい せい(背)

かせいで(稼) まねいて(招) 春めいて

へい(塀) めい(銘) れい(例)

えいが(映画) とけい(時計) ていねい(丁寧)

付表

凡例

1 現代語の音韻を目印として、この仮名遣いと歴史的仮名遣いとの主要な仮名の使い方を対照させ、例を示した。

2 音韻を表すのには、片仮名及び長音符号「ー」を用いた。

3 例は、おおむね漢字書きとし、仮名の部分は歴史的仮名遣いによった。常用漢字表に掲げられていない漢字及び音訓には、それぞれ*印及び△印をつけ、括弧内に仮名を示した。

4 ジの音韻の項には、便宜、拗音の例を併せ挙げた。

現代語 の音韻	イ	ウ	エ	オ	カ	ガ	ジ	ズ	ワ	
この仮名遣いで用いる仮名	い	う	え	お	か	が	じ	ず	わ	
歴史的仮名遣いで用いる仮名	ひ ゐ い	ひ う	ゑ	お	か	が	じ	ず	わ	
例	石 報いる 赤い 意図 愛 井戸 居る 参る 胃 権威 貝 合図 費やす 思ひ出 恋しさ	歌 馬 浮かぶ 雷雨 機運 買ふ 吸ふ 争ふ 危ふい	柄 枝 心得 見える 栄誉 声 植ゑる 絵 円 知恵 家 前 考へる 帰る 救へ 西へ進む	奥 大人 起きる お話 雑音 男 十日 踊る 青い 悪寒 顔 氷 滞る 直す 大きい 仰ぐ 倒れる 花を見る	蚊 紙 静か 家庭 休暇 火事 歡迎 結果 生活 愉快	石垣 学問 岩石 生涯 発芽 画家 外国 丸薬 正月 念願	初め こじあける 字 自慢 術語 味 恥ぢる 地面 女性 正直	縮む 鼻血 底力 近々 入れ知恵	鈴 物好き 知らずに 人数 洪水 水 珍しい 一つづつ 図画 大豆 鼓 続く 三日月 塩漬け 常々	輪 泡 声色 弱い 和紙 川 回る 思はず 柔らか *琵琶(びは)

ユー	は	ゆう	は	我は海の子 又は
ゆう	ゆう	ゆう	ゆう	勇気 英雄 金融
いう	いう	いう	いう	夕方
いふ	いふ	いふ	いふ	遊戯 郵便 勧誘 所有
言ふ	言ふ	言ふ	言ふ	都*邑(といふ)
おう	おう	おう	おう	負うて 応答 欧米
あう	あう	あう	あう	桜花 奥義 中央
あふ	あふ	あふ	あふ	扇 押収 凹凸
わう	わう	わう	わう	弱う 王子 往来 卵黄
はう	はう	はう	はう	買はう 舞はう 怖うございます
こう	こう	こう	こう	功績 拘束 公平 気候 振興
こふ	こふ	こふ	こふ	*劫(こふ)
かう	かう	かう	かう	咲かう 赤う かうして 講義 健康
かふ	かふ	かふ	かふ	甲乙 太*閤(たいかふ)
くわう	くわう	くわう	くわう	光線 広大 恐慌 破天荒
ごう	ごう	ごう	ごう	皇后
ごふ	ごふ	ごふ	ごふ	業 永*劫(えいごふ)
がう	がう	がう	がう	急がう 長う 強引 豪傑 番号
がふ	がふ	がふ	がふ	合同
ぐわう	ぐわう	ぐわう	ぐわう	*轟音(ぐわうおん)
そう	そう	そう	そう	僧 総員 競走 吹奏 放送
さう	さう	さう	さう	話さう 浅う さうして 草案 体操
さふ	さふ	さふ	さふ	挿話
ぞう	ぞう	ぞう	ぞう	増加 憎悪 贈与
ざう	ざう	ざう	ざう	象 蔵書 製造 内臓 仏像
ざふ	ざふ	ざふ	ざふ	雑煮
とう	とう	とう	とう	弟 統一 冬至 暴投 北東
たう	たう	たう	たう	峠 勝たう 痛う 刀剣 砂糖
たふ	たふ	たふ	たふ	塔 答弁 出納
ドー	どう	どう	どう	どうして 銅 童話 運動 空洞
のー	のう	のう	のう	堂 道路 *葡*萄(ぶだう)
のふ	のふ	のふ	のふ	問答
なう	なう	なう	なう	能 農家 濃紺
なふ	なふ	なふ	なふ	昨日
ほう	ほう	ほう	ほう	死なう 危なうございます 脳 苦惱
ほう	ほう	ほう	ほう	納入
ほう	ほう	ほう	ほう	奉祝 俸給 豊年 霊峰
ほう	ほう	ほう	ほう	法会
はう	はう	はう	はう	葬る 包囲 芳香 解放
はふ	はふ	はふ	はふ	はふり投げる はふはふの体 法律
ぼー	ぼう	ぼう	ぼう	某 貿易 解剖 無謀
ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	正法
ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	遊ばう 飛ばう 紡績 希望 堤防
ぼう	ぼう	ぼう	ぼう	貧乏
ぽー	ぽう	ぽう	ぽう	本俸 連峰
ぽふ	ぽふ	ぽふ	ぽふ	説法
ぽう	ぽう	ぽう	ぽう	鉄砲 奔放 立方
ばう	ばう	ばう	ばう	立法
ばふ	ばふ	ばふ	ばふ	もう一つ 啓*蒙(けいもう)
ばう	ばう	ばう	ばう	申す 休まう 甘う 猛獣 本望
まう	まう	まう	まう	見よう ようございます 用 容易 中庸
よう	よう	よう	よう	八日 早う 様子 洋々 太陽
やう	やう	やう	やう	幼年 要領 童謡 日曜
えう	えう	えう	えう	紅葉
えふ	えふ	えふ	えふ	楼 漏電 披露
ろう	ろう	ろう	ろう	かげろふ ふくろふ
らう	らう	らう	らう	祈らう 暗う 廊下 労働 明朗
らふ	らふ	らふ	らふ	候文 *蠟*燭(らふそく)
キュー	きゅう	きゅう	きゅう	弓術 宮殿 貧窮

ギョー	ギョー	キョー	リョー	ビョー	ヒョー	ニョー	チュー	ジュー	シュー	ギュー	
ぎょう	ぎょう	きょう	りょう	びょう	ひょう	にょう	ちゅう	じゅう	しゅう	ぎゅう	
きふ	ぎふ	きふ	りふ	びふ	ひふ	にふ	ちふ	じふ	しふ	ぎふ	きふ
休養 丘陵 永久 要求	及第 急務 給与 階級	牛乳	宗教 衆知 終了 周囲 収入 晩秋	執着 習得 襲名 全集	充実 従順 臨終 獵銃	柔軟 野獸	十月 渋滞 墨汁	住居 重役 世界中	抽出 衷心 注文 昆虫	乳酸 柔和	*埴△生(はにふ) 入学
誤*謬(ごびう)	竜 隆盛	留意 流行 川柳	粒子 建立	共通 恐怖 興味 吉凶 熱狂	兄弟 鏡台 経文 故郷	教育 矯正 絶叫 鉄橋	今日 脅威 協会 海峡	凝集	仰天 修行 人形	今晚	業務
昇格 承諾 勝利 自称 訴訟	詳細 正直 商売 負傷 文章										
リョー	ミョー	ピョー	ビョー	ヒョー	ニョー	チュー	ジュー	シュー	ギュー		
りょう	みょう	ぴょう	びょう	ひょう	にょう	ちゅう	じゅう	しゅう	ぎゅう		
れふ	めう	びやう	べう	ひやう	ねう	ちやう	ぢやう	ぢやう	ぢやう	せう	せう
漁 獵	領土 両方 善良 納涼 分量	名代 明日 寿命	結氷 信*憑性(しんぴようせい)	論評 一票 本表	病氣 平等 秒読み 描写	拍子 評判 兵糧	表裏 土俵 投票	尿 女房	徴収 清澄 尊重	腸 町会 聴取 長短 手帳	調子 朝食 弔電 前兆 野鳥

送り仮名の付け方

- ・昭和四八年六月一八日内閣告示第二号「送り仮名の付け方」は、常用漢字表の告示に伴い、昭和五六年一〇月一日内閣告示第三号によって一部改正された。ここには、改正された部分を含めた全文を示した。
 - ・原文は「本文」のみが横書き。
 - ・これを個々の語にどう適用するかについては、「**必携 用字用語辞典**」(三省堂刊)を参照されたい。
- (三省堂編修所注)

前書き

一 この「送り仮名の付け方」は、法令・公用文書・新聞・雑誌・放送など、一般の社会生活において、「常用漢字表」の音訓によって現代の国語を書き表す場合の**送り仮名の付け方のよりどころ**を示すものである。

二 この「送り仮名の付け方」は、科学・技術・芸術その他の各種専門分野や個々人の表記にまで及ぼそうとするものではない。

三 この「送り仮名の付け方」は、漢字を記号的に用いたり、表に記入したりする場合や、固有名詞を書き表す場合を対象としていない。

「本文」の見方及び使い方

一 この「送り仮名の付け方」の本文の構成は、次のとおりである。

単独の語

1 活用のある語

通則 1 (活用語尾を送る語に関するもの)

通則 2 (派生・対応の関係を考慮して、活用語尾の部分から送る語に関するもの)

2 活用のない語

通則 3 (名詞であって、送り仮名を付けない語に関するもの)

通則 4 (活用のある語から転じた名詞であって、もとの語の送り仮名の付け方によって送る語に関するもの)

通則 5 (副詞・連体詞・接続詞に関するもの)

複合の語

通則 6 (単独の語の送り仮名の付け方による語に関するもの)

通則 7 (慣用に従って送り仮名を付けない語に関するもの)

付表の語

- 1 (送り仮名を付ける語に関するもの)
- 2 (送り仮名を付けない語に関するもの)

二 通則とは、単独の語及び複合の語の別、活用のある語及び活用のない語の別等に応じて考えた送り仮名の付け方に関する基本的な法則をいい、必要に応じ、例外的な事項又は許容的な事項を加えてある。

したがって、各通則には、本則のほか、必要に応じて例外及び許容を設けた。ただし、通則7は、通則6の例外に当たるものであるが、該当する語が多数に上るので、別の通則として立てたものである。

三 この「送り仮名の付け方」で用いた用語の意義は、次のとおりである。

単独の語…………… 漢字の音又は訓を単独に用いて、漢字

一字で書き表す語をいう。

複合の語…………… 漢字の訓と訓、音と訓などを複合さ

せ、漢字二字以上を用いて書き表す語をいう。

付表の語…………… 「常用漢字表」の付表に掲げてある語

のうち、送り仮名の付け方が問題となる語をいう。

活用のある語…………… 動詞・形容詞・形容動詞をいう。

活用のない語…………… 名詞・副詞・連体詞・接続詞をいう。

本則…………… 送り仮名の付け方の基本的な法則と考え

られるものをいう。

例外…………… 本則には合わないが、慣用として行われ

ていると認められるものであって、本則によらず、これによるものをいう。

許容…………… 本則による形とともに、慣用として行われていると認められるものであって、本則以外に、これによってよいものをいう。

四 単独の語及び複合の語を通じて、字音を含む語は、その字音の部分には送り仮名を要しないのであるから、必要のない限り触れていない。

五 各通則において、送り仮名の付け方が許容によることのできる語については、本則又は許容のいずれに従ってもよいが、個々の語に適用するに当たって、許容に従ってよいかどうか判断し難い場合には、本則によるものとする。

本文

単独の語

1 活用のある語

通則1

本則 活用のある語（通則2を適用する語を除く。）は、

活用語尾を送る。

〔例〕 憤る 承る 書く 実る 催す

生きる 陥れる 考える 助ける

例外

荒い 潔い 賢い 濃い
主だ

(1) 語幹が「し」で終わる形容詞は、「し」から送る。

〔例〕 著しい 惜しい 悔しい 恋しい

珍しい

(2) 活用語尾の前に「か」、「やか」、「らか」を含む形容動詞は、その音節から送る。

〔例〕 暖かだ 細かだ 静かだ

穏やかだ 健やかだ 和やかだ

明らかだ 平らかだ 滑らかだ

柔らかだ

(3) 次の語は、次に示すように送る。

明らむ 味わう 哀れむ 慈しむ 教わる

脅かす(おどかす) 脅かす(おびやかす) 食ら

う 異なる 逆らう 捕まる 群がる 和らぐ

揺する

明るい 危ない 危うい 大きい 少ない

小さい 冷たい 平たい

新ただ 同じだ 盛んだ 平らだ 懇ろだ

惨めだ

哀れだ 幸いだ 幸せだ 巧みだ

許容

次の語は、()の中に示すように、活用語尾の前の音節から送ることができる。

通則2

本則

活用語尾以外の部分に他の語を含む語は、含まれている語の送り仮名の付け方によって送る。(含まれている語を「」の中に示す。)

〔例〕

(1) 動詞の活用形又はそれに準ずるものを含むものの。

動かす〔動く〕 照らす〔照る〕

語らう〔語る〕 計らう〔計る〕 向かう〔向く〕

浮かぶ〔浮く〕

生まれる〔生む〕 押さえる〔押す〕 捕らえる

〔捕る〕

勇ましい〔勇む〕 輝かしい〔輝く〕 喜ばしい

〔喜ぶ〕

晴れやかだ〔晴れる〕

及ぼす〔及ぶ〕 積もる〔積む〕 聞こえる〔聞く〕

頼もしい〔頼む〕

起こる〔起きる〕 落とす〔落ちる〕

暮らす〔暮れる〕 冷やす〔冷える〕

当たる〔当てる〕 終わる〔終える〕 変わる〔変える〕 集まる〔集める〕 定まる〔定める〕 連なる〔連ねる〕 交わる〔交える〕 混ざる・混じる〔混ぜる〕 恐ろしい〔恐れる〕

(2) 形容詞・形容動詞の語幹を含むもの。

重んずる〔重い〕 若やぐ〔若い〕 怪しむ〔怪しい〕 悲しむ〔悲しい〕 苦しがる〔苦しい〕 確かめる〔確かだ〕

重たい〔重い〕 憎らしい〔憎い〕 古めかしい〔古い〕 細かい〔細かだ〕 柔らかい〔柔らかだ〕

清らかだ〔清い〕 高らかだ〔高い〕 寂しげだ〔寂しい〕

(3) 名詞を含むもの。

汗ばむ〔汗〕 先んずる〔先〕 春めく〔春〕 男らしい〔男〕 後ろめたい〔後ろ〕

読み間違えるおそれのない場合は、活用語尾以外の部分について、次の(一)の中に示すように、送り仮名を省くことができる。

〔例〕 浮かぶ〔浮ぶ〕 生まれる〔生れる〕 押さえる〔押える〕 捕らえる〔捕える〕

許容

(注意)

晴れやかだ(晴やかだ) 積もる(積る) 聞こえる(聞える) 起こる(起る) 落とす(落す) 暮らす(暮す) 当たる(当る) 終わる(終る) 変わる(変る)

次の語は、それぞれ「」の中に示す語を含むものとは考えず、通則1によるものとする。
 明るい〔明ける〕 荒い〔荒れる〕 悔しい〔悔いる〕 恋しい〔恋う〕

2 活用のない語

通則3

本則

名詞(通則4を適用する語を除く。)は、送り仮名を付けない。

〔例〕 月 鳥 花 山

男女 彼何

例外

(1) 次の語は、最後の音節を送る。

辺り 哀れ 勢い 幾ら 後ろ 傍ら 幸い 幸せ 互い 便り 半ば 情け 斜め 独り 誉れ 自ら 災い

(2) 数をかぞえる「つ」を含む名詞は、その「つ」を送る。

通則 4

本則

活用のある語から転じた名詞及び活用のある語に「さ」、「み」、「げ」などの接尾語が付いて名詞になったものは、もとの語の送り仮名の付け方によって送る。

〔例〕

一つ 二つ 三つ 幾つ

(1) 活用のある語から転じたもの。

動き 仰せ 恐れ 薫り 曇り 調べ 届け
願ひ 晴れ

当たり 代わり 向かい

狩り 答え 問い 祭り 群れ

憩い 愁い 憂い 香り 極み 初め

近く 遠く

(2) 「さ」、「み」、「げ」などの接尾語が付いたもの。

暑さ 大きさ 正しさ 確かさ

明るみ 重み 憎しみ

惜しげ

例外

次の語は、送り仮名を付けない。

謡 虞 趣 氷 印 頂 帯 豊

卸 煙 恋 志 次 隣 富 恥 話 光 舞

折 係 掛(かかり) 組 肥 並(なみ) 巻 割

(注意)

ここに掲げた「組」は、「花の組」、「赤の組」などのように使った場合の「くみ」であ

許容

り、例えば、「活字の組みがゆるむ。」などとして使う場合の「くみ」を意味するものではない。「光」、「折」、「係」なども、同様に動詞の意識が残っているような使い方の場合は、この例外に該当しない。したがって、本則を適用して送り仮名を付ける。

読み間違えるおそれのない場合は、次の(一)の中に示すように、送り仮名を省くことができる。

〔例〕 曇り(曇) 届け(届) 願ひ(願) 晴れ(晴)

当たり(当り) 代わり(代り) 向かい(向い)

狩り(狩) 答え(答) 問い(問) 祭り(祭)

群れ(群)

憩い(憩)

通則 5

本則

副詞・連体詞・接続詞は、最後の音節を送る。

〔例〕 必ず 更に 少し 既に 再び 全く 最も

来る 去る

及び 且つ 但し

例外

(1) 次の語は、次に示すように送る。

明くる 大いに 直ちに 並びに 若しくは

(2) 次の語は、送り仮名を付けない。

又

(3) 次のように、他の語を含む語は、含まれてい

複合の語

通則 6

本則

複合の語（通則 7 を適用する語を除く。）の送り仮名は、その複合の語を書き表す漢字の、それぞれの音訓を用いた単独の語の送り仮名の付け方による。

〔例〕

(1) 活用のある語

書き|抜く| 流れ|込む| 申し|込む| 打ち|合わせ
る| 向かい|合わせる| 長引く| 若返る| 裏切
る| 旅立つ|

聞き|苦しい| 薄暗い| 草深い| 心細い|
待ち|遠しい| 軽々しい| 若々しい| 女々しい|
気軽だ| 望み|薄だ|

(2) 活用のない語

る語の送り仮名の付け方によって送る。（含まれている語を「」の中に示す。）

〔例〕 併せて「併せる」 至って「至る」 恐らく

「恐れる」 従って「従う」 絶えず「絶える」

例えば「例える」 努めて「努める」

辛うじて「辛い」 少なくとも「少ない」

互いに「互い」

必ずしも「必ず」

石橋 竹馬 山津波 後ろ姿 斜め左 花便

り 独り言 卸商 水煙 目印

田植え 封切り 物知り 落書き 雨上がり

墓参り 日当たり 夜明かし 先駆け 巢立ち

手渡し

入り江 飛び火 教え子 合わせ鏡 生き物

落ち葉 預かり金

寒空 深情け

愚か者

行き帰り 伸び縮み 乗り降り 抜け駆け

作り笑い 暮らし向き 売り上げ 取り扱い

乗り換え 引き換え 歩み寄り 申し込み 移

り 変わり

長生き 早起き 苦し紛れ 大写真

粘り強さ 有り難み 待ち遠しさ

乳飲み子 無理強い 立ち居振る舞い 呼び

出し電話

次々 常々

近々 深々

休み休み 行く行く

許容 読み間違えるおそれのない場合は、次の（ ）の中
に示すように、送り仮名を省くことができる。

〔例〕 書き|抜く|（書|抜く） 申し|込む|（申|込む） 打ち|

注意

複合の語のうち、次のような名詞は、慣用に従って、

例

場合 羽織 葉巻 番組 番付 日付 水引 物置

物語 役割 屋敷 夕立 割合

合図 合間 植木 置物 織物 貸家 敷石

敷地 敷物 立場 建物 並木 巻紙

受付 受取

浮世絵 絵巻物 仕立屋

〔注意〕

(1) 「〔博多〕織」、「売上〔高〕」などのようにして掲げたものは、〔 〕の中を他の漢字で置き換えた場合にも、この通則を適用する。

(2) 通則7を適用する語は、例として挙げたものだけで尽くしてはいない。したがって、慣用が固定していると思われる限り、類推して同類の語にも及ぼすものである。通則7を適用してよいかどうか判断し難い場合には、通則6を適用する。

付表の語

「常用漢字表」の「付表」に掲げてある語のうち、送る仮名の付け方が問題となる次の語は、次のようにする。

1 次の語は、次に示すように送る。

浮つく お巡りさん 差し支える 五月晴れ 立ち退く 手伝う 最寄り

なお、

次の語は、〔 〕の中に示すように、送り仮名を省くことができる。

差し支える(差支える) 五月晴れ(五月晴)

立ち退く(立退く)

2 次の語は、送り仮名を付けない。

息吹 栈敷 時雨 築山 名残 雪崩 吹雪 迷子 行方

これからの敬語

・昭和二十七年四月一四日に国語審議会から文部大臣へ建議されたものである。
(三省堂編修所注)

まえがき

この小冊子は、日常の言語生活における最も身近な問題を取り上げて、これからはこうあるほうが望ましいと思われる形をまとめたものである。

これからの敬語についての問題は、もちろんこれに尽きるものではない。元来、敬語の問題は単なることばの上だけの問題でなく、実生活における作法と一体をなすものであるから、これからの敬語は、これからの新しい時代の生活に即した新しい作法の成長とともに、平明・簡素な新しい敬語法として健全な発達を上げることが望むしだいである。

基本の方針

一

これまでの敬語は、旧時代に発達したままで、必要以上に煩雑な点があった。これからの敬語は、その行きすぎをいましめ、誤用を正し、できるだけ平明・簡素にありたいものである。

二

これまでの敬語は、主として上下関係に立って発達してきたが、これからの敬語は、各人の基本的人格を尊重する相互尊敬の上に立たなければならぬ。

三

女性のことばでは、必要以上に敬語または美称が多く使われている(たとえば「お」のつけすぎなど)。こ

の点、女性の反省・自覚によって、しだいに純化されることが望ましい。

四

奉仕の精神を取り違えて、不当に高い尊敬語や、不当に低い謙そん語を使うことが特に商業方面などに多かった。そういうことによって、しらずしらず自他の人格的尊厳を見うしなうことがあるのはなほだいましむべきことである。この点において国民一般の自覚が望ましい。

一 人をさすことば

(1) 自分をさすことば

1 「わたし」を標準の形とする。

2 「わたくし」は、あらたまった場合の用語とする。

付記 女性の発音では「あたく

し」「あたし」という形も認められるが、原則としては、男女を通じて「わたし」「わたくし」を標準の形とする。

3 「ぼく」は男子学生の用語である

が、社会人となれば、あらためて「わたし」を使うように、教育上、注意をすること。

4 「じぶん」を「わたし」の意味に使うことは避けたい。

(2) 相手をさすことば

1 「あなた」を標準の形とする。

2 手紙(公私とも)の用語として、これまで「貴殿」「貴下」などを使っているのも、これからは「あなた」で通用するようにありたい。

3 「きみ」「ぼく」は、いわゆる「きみ・ぼく」の親しい間がだけの用語として、一般には、標準の形である「わたし」「あなた」を使いたい。したがって「おれ」「おまえ」も、しだいに「わたし」「あなた」を使うようにしたい。

二 敬 称

1 「さん」を標準の形とする。

2 「さま(様)」は、あらたまった場合の形、また慣用語に見られるが、主として手紙のあて名に使う。

将来は、公用文の「殿」も「様」に統一されることが望ましい。

3 「氏」は書きことば用で、話しことば用には一般に「さん」を用いる。

4 「くん(君)」は、男子学生の用語である。それに準じて若い人に対して用いられることもあるが、社会人としての対話には、原則として「さん」を用いる。

付記 議会用語の「某君」は特殊の慣用語である。

5 職場用語として、たとえば「先生」「局長」「課長」「社長」「専務」などに「さん」をつけて呼ぶには及ばない(男女を通じて)。

三 「たち」と「ら」

1 「たち」は、たとえば「わたしたち」というふうに、現代語としては、自分のほうにつけてよい。

2 「ら」は書きことばで、たとえば「A氏・B氏・C氏ら」というふうに、だれにも使ってよい。

四 「お」「ご」の整理

(1) つけてよい場合

1 相手の物事を表わす「お」「ご」で、それを訳せば「あなたの」という意味になるような場合。たとえば、お帽子は、どれでしょうか。

ご意見は、いかがですか。

2 真に尊敬の意を表わす場合。たとえば、

先生のお話 先生のご出席

3 慣用が固定している場合。たとえば、

おはよう おかず

おたまじゃくし

ごはん ごらん

ごくろうさま

おいでになる(すべて「おーになる」の型)

ごらんになる(すべて「ごーになる」の型)

4 自分の物事ではあるが、相手の人に対する物事である関係上、それをつけることに慣用が固定している場合。たとえば、

お手紙(お返事・ご返事)をさしあげましたが
お願い お礼 ご遠慮
ご報告いたします

(2) 省けば省ける場合
女性のことばとしては「お」がつくが、男子のことばとしては省く

ているもの。たとえば、

〔お〕米 〔お〕菓子

〔お〕茶わん 〔お〕ひる

(3) 省くほうがよい場合

たとえば、

〔お〕チョッキ 〔お〕くつした

〔お〕ビール

〔ご〕芳名 (ご)令息

〔ご〕父兄

〔ご〕調査された (これは「調査

された」または「ご調査になっ

た」が正しい。)

(ご)卒業された (これは「卒業

された」または「ご卒業になっ

た」が正しい。)

五 対話の基調

これからの対話の基調は「です・ます」体としたい。

付記 これは社会人としての一

般的対話の基調を定めたも

のであって、講演の「であ

ります」や、あらたまった

場合の「ございます」など、

そのほか親愛体としての

「だ」調の使用を制限するも

のではない。

六 動作のことは

動詞の敬語法には、およそ三つの型がある。すなわち、

型	語例	
	書	受ける
I	書かれ	受けら
II	お書きになる	お受けになる
III	(お書きあそばす)	(お受けあそばす)

第1の「れる」「られる」の型は、受け身の言い方とまぎらわしい欠点はあるが、すべての動詞に規則的につき、かつ簡単でもあるので、むしろ将来性があると認められる。

第2の「おーになる」の型を「おーになられる」という必要はない。

第3の型は、いわゆるあそばせこそばである敬語としては、おいおいにすたれる形であろう。

七 形容詞と「です」

これまで久しく問題となっていた形容詞の結び方——たとえば、「大

きいです」「小さいです」などは、平明・簡素な形として認めてよい。

八 あいさつ語

あいさつ語は、慣用語句として、きまった形のままでよい。たとえば、おはよう。おはようございます。おやすみ。おやすみなさい。いただきます。ごちそうさま。いってきます。いってまいります。いつてらっしゃい。

九 学校用語

1 幼稚園から小・中・高校に至るまで、一般に女の先生のことばに「お」を使いすぎる傾向があるから、その点、注意すべきであろう。たとえば、

(お)教室 (お)チョーク
(お)つくえ (お)こしかけ

(お)家事

2 先生と生徒との対話にも、相互に「です・ます」体を原則とすることが望ましい。

付記 このことは、親愛体としての「だ」調の使用をさま

たげるものではない。

3 戦前、父母・先生に対する敬語がすべて「おっしゃった」「おーになった」の式であったのは少し行きすぎの感があった。戦後、反動的にすべて「言った」「何々した」の式で通すのもまた少し行きすぎであろう。その中庸を得たいものである。たとえば「きた」でなく「こられた」「みえた」など。

一〇 新聞・ラジオの用語

新聞・ラジオの用語として、いちばん問題になるのは、敬称のつけ方である。それについて、

1 一般に文章・用語がやさしくなり、それにしたがって敬称も「さん」が多く使われる傾向があるのは妥当である。

2 政治的記事における「氏」の用法も妥当であるが、一面社会的記事において「翁・女史・くん・ちゃん」そのほかの敬称・愛称を、その時、その場、その人、その事による文体上の必要に応じて用いることは認めざるを得ない。

3 犯罪容疑者に関する報道でも、

刑が確定するまでは敬称をつけるのが理想的であるが、たとえば現行犯またはそれに準ずるものなどで、社会感情の許さないような場合に、適宜、これを省略することがあるのもやむを得ないと認められる。

4 次のような場合には敬称をつけないでよい。

青山荘アパート(責任者甲野乙雄)

一一 皇室用語

これまで、皇室に関する敬語として、特別にむずかしい漢語が多く使われてきたが、これからは、普通のことばの範囲内で最上級の敬語を使うということに、昭和二二年八月、当時の宮内当局と報道関係との間に基本的了解が成り立っていた。その具体的な用例は、たとえば、

「玉体・聖体」は「おからだ」

「天顔・龍^{りゅう}顔」は「お顔」

「宝算・聖寿」は「お年・ご年齢」

「叡慮・聖旨・宸襟^{しん}・懿旨^い」は

「おぼしめし・お考え」などの類で

ある。その後、国会開会式における

「勅語」は「おことば」となり、ご自称の「朕」は「わたくし」となったが、これを今日の報道上の用例について見ても、すでに第六項で述べた「れる・られる」の型または「おーになる」「ごーになる」の型をとって、平明・簡素なこれからの敬語の目標を示している。

一二 むずび

一般に、社会人としての対話は、相互に対等で、しかも敬意を含むべきである。

この点で、たとえば、公衆と公務員との間、または各種の職場における職員相互の間のことばづかいなども、すべて「です・ます」体を基調とした、やさしい、ていねいな形でありたい。

戦後、窓口のことばや警察職員のことばづかいなどが、すでにこの線に沿って実践されているが、これからも、いっそうその傾向が普遍化することが望ましい。

公用文における漢字使用等について

・これは、昭和五六年一〇月一日「事務次官等会議申合せ」である。同日付けで、内閣官房長官から各省の事務次官あてに、この「申合せ」の実施を求める通知（内閣閣第一三八号）が出された。

・ここに示されていること以外の事項は、「公用文作成の要領」（二九七ページ所収）による。
・原文は横書き。
（三省堂編修所注）

昭和五六年一〇月一日付け内閣訓令第一号「常用漢字表の実施について」が定められたことに伴い、今後、各行政機関が作成する公用文における漢字使用等は、下記によることとする。

なお、「公用文における当用漢字の音訓使用及び送り仮名の付け方について」（昭和四八年六月一八日事務次官等会議申合せ）は、廃止する。

記

一 漢字使用について

(1) 公用文における漢字使用は、「常用漢字表」（昭和五六年内閣告示第一号）の本表及び付表（表の見方及び使い方を含む。）によるものとする。

なお、字体については通用字体を用いるものとする。

(2) 「常用漢字表」の本表に掲げる音訓によって語を書

き表すに当たっては、次の事項に留意する。

ア 次のような代名詞は、原則として、漢字で書く。

例 彼 何 僕 私 我々

イ 次のような副詞及び連体詞は、原則として、漢字で書く。

例 必ず 少し 既に 直ちに 甚だ 再び

全く 最も 専ら

余り 至って 大いに 恐らく 必ずしも

辛うじて 極めて 殊に 更に 少なくとも

絶えず 互いに 例えば 次いで 努めて

常に 初めて 果たして 割に

概して 実に 切に 大して 特に 突然

無論

明くる 大きな 来る 去る 小さな

我が（国）

ただし、次のような副詞は、原則として、仮名で書く。

例 かなり ふと やはり よほど

ウ 次の接頭語は、その接頭語が付く語を漢字で書く場合は、原則として、漢字で書き、その接頭語が付く語を仮名で書く場合は、原則として、仮名で書く。

例 御案内 御調査

ごあいさつ ごべんたつ

エ 次のような接尾語は、原則として、仮名で書く。

例 げ(惜しげもなく) ども(私ども) ぶる(偉

ぶる) み(弱み) め(少なめ)

オ 次のような接続詞は、原則として、仮名で書く。

例 おって かつ したがって ただし ついて

は ところが ところで また ゆえに

ただし、次の四語は、原則として、漢字で書く。

及び 並びに 又は 若しくは

カ 助動詞及び助詞は、仮名で書く。

例 ない(現地には、行かない。) ようだ(それ以

外に方法がないようだ。)

ぐらい(二十歳ぐらいの人) だけ(調査した

だけである。) ほど(三日ほど経過した。)

キ 次のような語句を、()の中に示した例のように用いるときは、原則として、仮名で書く。

例 こと(許可しないことがある。) とき(事故の

ときは連絡する。) ところ(現在のところ差し

支えない。) もの(正しいものと認める。) と

も(説明するとともに意見を聞く。) ほか(特別

の場合を除くほか。) ゆえ(一部の反対のゆえ

にはかどらない。) わけ(賛成するわけにはい

かない。) とおり(次のとおりである。)

ある(その点に問題がある。) いる(ここに関係者がいる。) なる(合計すると一万円になる。) できる(だれでも利用ができる。)

…てあげる(図書を貸してあげる。) …ていく

(負担が増えていく。) …ていただく(報告して

いただく。) …ておく(通知しておく。) …て

ください(問題点を話してください。) …てく

る(寒くなってくる。) …てしまう(書いてしま

う。) …てみる(見てみる。) ない(欠点がな

い。) …てよい(連絡してよい。) …かもしれない

(間違いかもしれない。) …にすぎない(調

査だけにすぎない。) …について(これについ

て考慮する。)

二 送り仮名の付け方について

(1) 公用文における送り仮名の付け方は、原則として、

「送り仮名の付け方」(昭和四八年内閣告示第二号)の

本文の通則1から通則6までの「本則」・「例外」、通

則7及び「付表の語」(1のなお書きを除く。)による

ものとする。

ただし、複合の語(「送り仮名の付け方」の本文の通則7を適用する語を除く。)のうち、活用のない語であって読み間違えるおそれのない語については、内閣官房及び文化庁からの通知の定めるところにより、

「送り仮名の付け方」の本文の通則6の「許容」を適用して送り仮名を省くものとする。

- (2) (1)にかかわらず、必要と認める場合は、「送り仮名の付け方」の本文の通則2、通則4及び通則6(1)のただし書の適用がある場合を除く。)の「許容」並びに「付表の語」の1のなお書きを適用して差し支えない。

三 その他

- (1) 一及び二は、固有名詞を対象とするものではない。
(2) 一及び二以外の事項は、「公用文作成の要領」(「公用文改善の趣旨徹底について」昭和二七年内閣閣甲第一六号依命通知)による。

- (3) 専門用語又は特殊用語を書き表す場合など、特別な漢字使用等が必要とする場合には、一、二及び三(2)によらなくてもよい。

- (4) 専門用語等で読みにくいと思われるような場合は、必要に応じて、振り仮名を用いる等、適切な配慮をするものとする。

四 運用に関する事項

一から三までの運用に関し必要な事項については、内閣官房及び文化庁から通知するものとする。

五 法令における取扱い

法令における漢字使用等については、別途、内閣法制局からの通知による。

公用文作成の要領

・昭和二七年四月四日内閣閣甲第一六号依命通知から抜粋。

・ここでは、昭和五六年一〇月一日、事務次官等会議申合せ「公用文における漢字使用等について」(一九五ページ所収)に従って、内閣官房が必要な読み替えあるいは収録の省略を行ったものを示した。

・原文は横書き。

(三省堂編修所注)

第一 用語用字について

一 用語について

1 特殊なことばを用いたり、かたくるしいことばを用いることをやめて、日常一般に使われているやさしいことばを用いる。(×印は、常用漢字表にない漢字であることを示す。)

たとえば

稟請[×]↓申請

救援する↓救う

措置↓処置・取り扱い

懇請する↓お願いする

一環として↓一つとして 充当する↓あてる
即応した↓かなった

2 使い方の古いことばを使わず、日常使いなれていることばを用いる。

たとえば
牙保↓周旋・あっせん 彩紋↓模様・色模様

3 言いにくいことばを使わず、口調のよいことばを用いる。

たとえば
拒否する↓受け入れない はばむ↓さまたげる

4 音読することばはなるべくさけ、耳で聞いて意味のすぐわかることばを用いる。

たとえば
橋梁↓橋 塵埃↓ほこり

眼瞼↓まぶた 充填する↓うめる・つめる
堅持する↓かたく守る 陳述する↓のべる

5 音読することばで、意味の二様にとれるものは、なるべくさける。

たとえば
協調する(強調する)とまぎれるおそれがある。)

↓歩調を合わせる
勧奨する(干渉する) ↓すすめる

衷心(中心) ↓心から

潜行する(先行する) ↓ひそむ

出航(出講) ↓出帆・出発

6 漢語をいくつもつないでできている長いことばは、むりのない略し方をきめる。

たとえば
経済安定本部↓経本 中央連絡調整事務局↓連調

7 同じ内容のものを違ったことばで言い表わすことのないように統一する。

たとえば
提起・起訴・提訴 口頭弁論・対審・公判

二 用字について

1 漢字は、常用漢字表による。

(1) 常用漢字表を使用するにあたっては、特に次のことから留意する。

1 (省略)

2 外国の地名・人名および外来語は、かたかな書きにする。(一部省略)

たとえば

イタリア スウェーデン フランス ロンドン 等
エジソン ヴィクトリア 等
ガス ガラス ソーダ ビール
ボート マージャン マッチ 等

ただし、外来語でも「かるた」「さらさ」「たばこ」などのように、外来語の意識のうすくなっているものは、ひらがなで書いてよい。

3 動植物の名称は、常用漢字表で認めている漢字は使ってもよい。(一部省略)

たとえば

ねずみ らくだ いぐさ からむし 等
犬 牛 馬 桑 桜 等

4 (省略)

(2) 常用漢字表で書き表わせないものは、次の標準によつて書きかえ、言いかえをする。(言いかえをするときは、「一 用語について」による。)

1 かな書きにする。

たとえば (一部省略)

ア 遡[×]る↓さかのぼる 名宛[×]↓名あて

佃[×]煮↓つくだ煮 孵[×]↓はしけ

看[×]做[×]す↓みなす

委ねる (常用漢字表の音訓にはずれる。)

↓ゆだねる

イ 漢語でも、漢字をはずしても意味のとおり使いたれたものは、そのままかな書きにする。

たとえば

でんぷん めいりょう あっせん 等

ウ 他によい言いかえがなく、または言いかえをしてはふつごうなものは、常用漢字表にはずれた漢字だけをかな書きにする。

たとえば

右舷[×]↓右げん 改竄[×]↓改ざん 口腔[×]↓口こう

この場合、読みにくければ、音読する語では、横に点をうってよい。(縦書きの場合)

2 常用漢字表中の、音が同じで、意味の似た漢字で書きかえる。

たとえば

車輛[×]↓車両 煽[×]動↓扇動 碇[×]泊↓停泊
編輯[×]↓編集 哺[×]育↓保育 拋[×]棄↓放棄
傭[×]人↓用人 聯[×]合↓連合 煉[×]乳↓練乳

3 同じ意味の漢語で言いかえる。

ア 意味の似ている、用い慣れたことばを使う。

たとえば (一部省略)

彙[×]報↓雑報 印[×]顆↓印形 改[×]悛↓改心

イ 新しいことばをくふうして使う。

たとえば

聾[×]学校↓口話学校 罹[×]災救助金↓災害救助金
剪[×]除↓切除 毀[×]損↓損傷 擾[×]乱↓騒乱
溢[×]水↓出水 譴[×]責↓戒告 瀆[×]職↓汚職
漢語をやさしいことばで言いかえる。

たとえば（一部省略）

×隠蔽する↓隠す

×庇護する↓かばう

×牴触する↓ふれる

×漏洩する↓漏らす

×破毀する↓破る

×酩酊する↓酔う

×趾↓あしゆび

- 2 かなは、ひらがなを用いることとする。かたかなは特殊な場合に用いる。

注

- 1 地名は、さしつかえのないかぎり、かな書きにしてもよい。

- 2 事務用書類には、さしつかえのない限り、人名をかな書きにしてもよい。

- 3 外国の地名・人名および外来語・外国語は、かたかな書きにする。

- 4 左横書きに用いるかなは、かたかなによることができる。

3 (省略)

三 法令の用語用字について

- 1 法令の用語用字についても、特にさしつかえのない限り、「一 用語について」および「二 用字について」に掲げた基準による。

- 2 法令の一部を改正する場合および法令名を引用する場合には、特に、次のような取り扱いをする。

- (1) 法令の一部を改正する場合について

- 1 文語体・かたかな書きを用いている法令を改正する場合は、改正の部分が一つのまとまった形をしているときは、その部分は、口語体を用い、ひらがな書きにする。

- 2 にごり読みをすべきかなに、にごり点をつけていない法令を改正する場合は、改正の部分においては、にごり点をつける。

- 3 常用漢字表の通用字体を用いていない法令を改正する場合は、改正の部分においては、常用漢字表の通用字体を用いる。

- 4 旧かなづかいによる口語体を用いている法令を改正する場合は、改正の部分においては、現代かなづかいを用いる。

5 (省略)

- (2) 法令名を引用する場合について

- 題名のつけられていない法令で、件名のある法令を引用する場合には、件名の原文にかかわらずその件名をひらがなおよび現代かなづかいによる口語体を用い、漢字は、常用漢字表による。

四 地名の書き表わし方について

- 1 地名はさしつかえのない限り、かな書きにしてもよい。

地名をかな書きにするときは、現地の呼び名を基準とする。ただし、地方的ななまりは改める。

2 地名をかな書きにするときは、現代かなづかいを基準とする。(ふりがなの場合も含む。)

3 特に、ジ・ヂ、ズ・ヅについては、区別の根拠のつけないものは、ジ・ズに統一する。

4 さしつかえのない限り、常用漢字表の通用字体を用いる。常用漢字表以外の漢字についても、常用漢字表の通用字体に準じた字体を用いてもよい。

五 人名の書き表わし方について

1 人名もさしつかえのない限り、常用漢字表の通用字体を用いる。

2 事務用書類には、さしつかえのない限り、人名をかな書きにしてもよい。人名をかな書きにするときは、現代かなづかいを基準とする。

第二 文体について

1 公用文の文体は、原則として「である」体を用いる。

ただし、公告・告示・掲示の類ならびに往復文書(通達・通知・供覧・回章・伺い・願い・届け・申請書・照会・回答・報告等を含む。)の類は、なるべく「ます」体を用いる。

注 1. 「だ、だろう、だった」の形は、「である、であ

ろう、であった」の形にする。

2. 「まするが、まするけれども」は、「ますが、ますけれども」とする。「ますれば、くださいませ(ーまし)」の表現は用いない。

3. 打ち消しの「ぬ」は、「ない」の形にする。「ん」は、「ません」のほかは用いない。「せねば」は、「しなければ」とする。

2 文語脈の表現はなるべくやめて、平明なものとする。

注 1. 口語化の例

これが処理↓その処理

せられんことを↓されるよう

ごとく・ごとき↓のような・のように

進まんとする↓進もうとする

貴管下にして↓貴管下で(あつて)

2. 「おもなる・必要なる・平等なる」などの「なる」は、「な」とする。ただし、「いかなる」は用いてもよい。

3. 「べき」は「用いるべき手段」「考えるべき問題」

「論ずべきではない」「注目すべき現象」のような場合には用いてもよい。「べく」「べし」の形は、どんな場合にも用いない。「べき」がサ行変格活用動詞に続くときには、「するべき」としないで、「すべき」とする。

4. 漢語につづく「せられる、せさせる、せぬ」の形は「される、させる、しない」とする。「せない、せなければ」を用いないで、「しない、しなければ」の形を用いる。

5. 簡単な注記や表などの中では、「あり、なし、同じ」などを用いてもよい。

例 「配偶者……あり」

「ムシバ……上一、下なし」

「現住所……本籍地に同じ」

3 文章はなるべくくぎって短くし、接続詞や接続助詞などを用いて文章を長くすることをさける。

4 文の飾り、あいまいなことは、まわりくどい表現は、できるだけやめて、簡潔な、論理的な文章とする。

敬語についても、なるべく簡潔な表現とする。

注

1. 時および場所の起点を示すには、「から」を用いて、「より」は用いない。「より」は、比較を示す場合にだけ用いる。

例 東京から京都まで。

午後一時から始める。

恐怖から解放される。

長官から説明があった。

2. 推量を表わすには「であろう」を用い、「う、よう」を用いない。

「う、よう」は意思を表わす場合にだけ用いる。

例 役に立つであろう

そのように思われるであろうか

対等の関係に立とうとする

思われようとして

推量

意思

3. 並列の「と」は、まぎらわしいときには最後の語句にもつける。

例 横浜市と東京都の南部との間

4. 「ならば」の「ば」は略さない。

5 文書には、できるだけ、一見して内容の趣旨がわかるように、簡潔な標題をつける。また、「通達」「回答」のような、文書の性質を表わすことばをつける。

注

例 公団の性質に関する件↓公団の性質について
(依命通達)

閣議付議事項の取り扱いについて↓一月二七日
閣甲第一九号第八項の責任者について(回答)

6 内容に応じ、なるべく簡条書きの方法をとりいれ、一読して理解しやすい文章とする。

第三 書き方について

執務能率を増進する目的をもって、書類の書き方について、次のことを実行する。

1 一定の猶予期間を定めて、なるべく広い範囲にわたっ

て左横書きとする。

2 左横書きに用いるかなは、かたかなによることができる。

3 左横書きの場合は、特別の場合を除き、アラビア数字を使用する。

注 1. 横書きの文書の中でも「一般に、一部分、一間

(ひとま)、三月(みつき)」のような場合には漢字を用いる。

「100 億、30 万円」のような場合には、億・万を漢字で書くが、千・百は、たとえば「5 十」「3 百」としないで、「5,000」「300」と書く。

2. 日付は、場合によっては、「昭和 24. 4. 1」のように略記してもよい。

3. 大きな数は、「5,000」「62,250 円」のように三けたごとにコンマでくぎる。

4 タイプライタの活用を期するため、タイプライタに使用する漢字は、常用漢字表のうちから選んださらに少数の常時必要なものに限り、それ以上の漢字を文字盤から取り除くことなどに努める。ぜひとも文字盤にない漢字を使用する必要がある場合には、手書きする。

5 人名・件名の配列は、アイウエオ順とする。

注

1. 文の書き出しおよび行を改めたときには一字さげて書き出す。

2. 句読点は、横書きでは、「、」および「。」を用いる。

事物を列挙するときには「・」（なかてん）を用いることができる。

3. 同じ漢字をくりかえすときには「々」を用いる。

4. 項目の細別は、たとえば次のような順序を用いる。

（横書きの場合）

第 1	第 2	第 3
1	2	3
(一)	(二)	(三)
イ	エ	カ
イ	エ	カ

（縦書きの場合）

第 1	第 2	第 3
一	二	三
(一)	(二)	(三)
イ	エ	カ
イ	エ	カ

5. 文書のあて名は、たとえば「東京都知事殿」「文部大臣殿」のように官職名だけを書いて、個人名は省くことができる。

くぎり符号の使い方

・「文部省刊行物の表記の基準を示すために編集」された、文部省編「国語の書き表わし方」(昭和二五年一二月刊)の付録より転載。

・文部省国語調査室で作成した「くぎり符号の使い方(案)」(昭和二十一年三月)を、簡単に、分かりやすくまとめたものである。(三省堂編修所注)

くぎり符号は、文章の構造や語句の関係を明らかにするため用いる。

くぎり符号には、次の五種がある。

- | | | | | | |
|---|---|------|---|-----|-----|
| 1 | 。 | まる | 4 | () | かつこ |
| 2 | 、 | てん | 5 | 「 」 | かぎ |
| 3 | ・ | なかてん | | | |

1 「。」は、一つの文を完全に言い切ったところに必ず用いる。

「」および()の中でも、文の終止には「。」を用いる。
「……すること・もの・者・とき・場合」などで終る項目の列記にも「。」を用いる。

ただし、次のような場合には「。」を用いない。

- イ 題目・標語など、簡単な語句を掲げる場合。
- ロ 事物の名称だけを列記する場合。

〔例〕 左の事項を書いた申請書を提出してください。

- 一 申請者の氏名・住所
- 二 建築の目的
- 三 建築する場所

ハ 言い切ったものを「」を用いずに「と」で受ける場合。

〔例〕 すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有すると保障してあるが、現実には必ずしもこのとおりでない。

2 「、」は、文の中で、ことばの切れ続きを明らかにしないと、誤解される恐れのあるところに用いる。

〔例〕 その別荘は、そのころのフランスの有名な芸術家たちとよく交際し、また自分自身もすぐれた女の文学者であったジョルジュ・サンドの所有で、アンというところにあった。

物理では、光の、ある属性が写真にとられ、その動きが見られるようになった。

科学的な、眼球運動の実験調査報告書。

いんげんと、とうもろこしの種子。

そのころの人がどのような人であったかは、はっきりわからない。

対等の関係で並ぶ同じ種類の語句の間に用いる。

〔例〕 漢字の制限、かなづかいの改定、口語文の普及が、ようやくその緒についた。

ただし、題目や標語、簡単な語句を並べる場合には

付けない。

〔例〕昭和二四年四月には、「当用漢字字体表の実施に関する件」が、内閣訓令第一号で発表された。

国語の文法や音韻に関する知識を得させる。

3 「・」は、名詞の並列の場合に用いる。

〔例〕対話・講演・演劇・映画・放送などにわたる諸問題については、……

ローマ字のつづり方には、いわゆる訓令式・日本式・標準式の三種がある。

日付や時刻を略して表わす場合に用いる。

〔例〕昭和二五・七・一 午後二・三五
称号を略して表わす場合に用いる。

〔例〕N・H・K Y・M・C・A
ただし、名詞以外の語句を列举するとき、数詞を並列する場合は、「・」を用いない。

〔例〕イ 社会的、歴史的考察。

ロ 鳥が三、四羽飛んで行く。
会員は四、五十人です。

4 () は、語句または文の次に、それについて特に注記を加えるときに用いる。

〔例〕外国の地名・人名(中国・朝鮮を除く。)は、かたかなで書く。

教育漢字(八八一字)の選定については、……

5 「」は、会話または語句を引用するとき、あるいは特に注意を喚起する語句をさしはさむ場合に用いる。

〔例〕イ 「どうぞこちらへ、わたくしが御案内いたします。」と主人がさきに立って歩き出した。

ロ 「国民の権利および義務」に規定された内容について……

ハ 「現代かなづかい」には、次のような「まえがき」がついている。

6 『』は、「」の中にさらに語句を引用する場合に用いる。

〔例〕「Aさんの本の中に、『人間は環境の中に生きていく』ということが書いてあります。」と先生は静かに語り始めた。

原則として、「?」「!」等の符号は用いない。

くり返し符号の使い方

・文部省編「国語の書き表わし方」(昭和二五年一二月刊)の付録より転載。

・文部省国語調査室で作成した「くりかへし符号の使ひ方」(昭和二二年三月)を、簡単に、分かりやすくまとめたものである。(三省堂編修所注)

くり返し符号は、「々」以外は、できるだけ使わないようにするのが望ましい。

「々」は、漢字一字のくり返しの場合に用いる。

〔例〕 人々 国々 年々 日々

ただし、次のような場合には「々」を用いない。

〔例〕 民主主義 大学学術局 学生生活課

当用漢字字体表

「ゝ」は、一語のなかで、同音をくり返すとき。

〔例〕 あゝ たゝみ とゝのえる じゝ

次のような場合は「ゝ」を用いない。

〔例〕 バナナ ココア かわいい くまざさ

手がかり そののち いままで

あわてて そうはいうものの

……のことと ……とともに

「ゞ」は一語の中でくり返された下の音が濁るとき。

〔例〕 たゞし かゞみ すゞり さゞ波

次のような場合には「ゞ」を用いない。

〔例〕 読んだだけ すべてです

「ゝ」は、一字のかなをくり返すとき。

〔例〕 いろゝ わざゝ しみゝと

ただし、三字以上にわたる場合、および二字以上の漢

語や、横書きの場合には用いない。

「ゝ」は、用いないのを原則とする。

「ゞ」は、表や簿記などには用いる。

横書きの場合の書き方

・文部省編「国語の書き表わし方」(昭和二五年一月刊)の付録より転載。なお、公用文は、特別な場合を除き、左横書きにすることになっている。
・次ページも参照されたい。(三省堂編修所注)

1 横書きの場合は、左横書きとする。

2 くり返し符号は、「々」以外は用いない。

3 くぎり符号の使い方は、縦書きの場合と同じである。

ただし、横書きの場合は「ゝ」を用いず、「ゝ」を用いる。

4 数字を書く場合は、算用数字を用いる。

〔例〕 第38回総会、午後1時開会、4時散会。

男子15人、女子8人、合計23人です。

ただし、慣用的な語、または数量的な意味の薄い語は、漢数字を用いる。

〔例〕 現在二十世紀の世の中では

一般 一種独特の 「七つのなぞ」

横書きの場合の 数の書き表し方

・文部省編「文部省 公文書の書式
と文例」(平成元年12月)より転載。
(三省堂編修所注)

- 1 左横書きの文章では、算用数字(アラビア数字)を用いることを原則とする。
- 2 数のけたの区切りについては、三けたごとにコンマ(,)を用いる。
- 3 小数、分数、帯分数を示すには、原則として下の例による。

例 小 数 0.375
 分 数 $\frac{1}{2}$ 又は $\frac{1}{2}$
 帯分数 $1\frac{1}{2}$ 又は $1\frac{1}{2}$

- 4 日付は、「昭和31年4月1日」のように書く。必要があれば、「昭和31.4.1」などと略して書いてもよい。
- 5 次の場合には、漢字を用いることとする。

ア 数の感じの少なくなった場合

例 一般 一部(一部分の意) 一時保留

イ 「ひとつ」「ふたつ」「みっつ」などと読む場合

例 一つずつ 二間続き 三月ごと 五日目

- 6 次のような場合には、漢字を用いることができる。

ア 万以上の数を書き表すときの単位として、最後にのみ用いる場合

例 100億 1,000万

イ 概数を示す場合

例 数十日 四、五人 五、六十万

<p>【ホ】 ホイットマン (人) ボウリング [球技] ホース ボートレース ポーランド (地) ボーリング boring ボクシング ポケット ポスター ボストン (地) ボタン ボディー ホテル ホノルル (地) ボランティア ボルガ/ヴォルガ (地) ボルテール/ヴォルテール (人) ポルトガル (地) ホルマリン</p>	<p>ミネアポリス (地) ミュンヘン (地) ミルウォーキー (地) ミルクセーキ 【メ】 メーカー メーキャップ メーデー メガホン メッセージ メロディー メロン メンデル (人) メンデルスゾーン (人) メンバー</p>	<p>【リ】 リオデジャネイロ (地) リズム リノリウム リボン リュックサック リレー リンカーン (人) 【ル】 ルーベンス (人) ルーマニア (地) ルクス lux ルソー (人) 【レ】 レイアウト レール レギュラー レコード レスリング レニングラード (地) レビュー/レヴュー レフェリー レベル レモンスカッシュ レンズ レンブラント (人)</p>
<p>【マ】 マージャン マイクロホン マカオ (地) マッターホーン (地) マドリード (地) マニラ (地) マフラー マラソン マンション マンスフィールド (人) マンチェスター (地) マンモス</p>	<p>【モ】 モーター モーツァルト (人) モスクワ (地) モデル モリエール (人) モルヒネ モンテーニュ (人) モントリオール (地)</p>	<p>【ロ】 ローマ (地) ロケット ロシア (地) ロダン (人) ロッテルダム (地) ロマンズ ロマンチック ロンドン (地)</p>
<p>【ミ】 ミイラ ミキサー ミケランジェロ (人) ミシシッピ (地) ミシン ミッドウェー (地)</p>	<p>【ヤ】 ヤスパース (人) 【ユ】 ユーラシア (地) ユニホーム ユングフラウ (地) 【ヨ】 ヨーロッパ (地) ヨット 【ラ】 ライバル ライプチヒ (地) ラジウム ラジオ ラファエロ (人) ランニング ランプ</p>	<p>【ワ】 ワイマール (地) ワイヤ ワシントン (地) ワックス ワット (人)</p>

付 前書きの4で過去に行われた表記のことについて述べたが、例えば、明治以来の文芸作品等においては、下記のような仮名表記も行われている。

斗：ス斗フトの「ガリバー旅行記」 エ：エルテル ヲ：ヲルポール
 ヴ：ヴィオリン ギ：ギオロン ェ：エルレエヌ
 ギ：ダルガ チ：ケンブリッジ ツ：ワーツワース

テント
テンポ

【ト】

ドア
ドーナツ
ドストエフスキー (人)
ドニゼッティ (人)
ドビュッシー (人)
トマト
ドライブ
ドライヤー
トラック
ドラマ
トランク
トルストイ (人)
ドレス
ドレフス (人)
トロフィー
トンネル

【ナ】

ナイアガラ (地)
ナイフ
ナイル (地)
ナトリウム
ナポリ (地)

【ニ】

ニーチェ (人)
ニュース
ニュートン (人)
ニューヨーク (地)

【ネ】

ネーブル
ネオンサイン
ネクタイ

【ノ】

ノーベル (人)
ノルウェー (地)
ノルマンディー (地)

【ハ】

パーティー
バイオリン／ヴァイオリ
ン
ハイキング
ハイドン (人)
ハイヤー
バケツ
バス
パスカル (人)
バター

ハチャトリヤン／ハチャ
トゥリヤン (人)
バッハ (人)
バッファロー (地)
バドミントン
バトン
バニラ
ハノイ (地)
パラグアイ／パラグアイ
(地)

パラフィン
バリ (地)
バルブ
バレエ [舞踊]
バレーボール
ハンドル

【ヒ】

ピアノ
ビーナス／ヴィーナス
ビール
ビクトリア／ヴィクトリ
ア (地)
バスケット
ビスマルク (人)
ビゼー (人)
ビタミン
ビニール
ビバルディ／ヴィヴァル
ディ (人)
ビューイヤー／ヴェイヤー
ール (人)
ヒューズ
ビルディング
ヒンズー教／ヒンドゥー
教
ピンセット

【フ】

ファール (人)
ファイル
ファッション
ファラデー (人)
ファン
フィート
フィクション
フィラデルフィア (地)
フィリピン (地)
フィルム
フィレンツェ (地)
フィンランド (地)

プール
フェアバンクス (地)
フェアプレー
ブエノスアイレス (地)
フェルト
フェンシング
フォーク
フォークダンス
フォード (人)
フォーム
フォスター (人)
フディング
フュージョン
フン島 (地)
ブラムス (人)
ブラシ
プラスチック
プラットホーム
プラネタリウム
ブラマンク／ヴラマンク
(人)

【ヘ】

ヘアピン
ペイント
ベーカリー
ヘーゲル (人)
ベーコン
ページ
ベール／ヴェール
ベストセラー
ペダル
ベニヤ [～板]
ベランダ
ペリー (人)
ヘリウム
ヘリコプター
ベルサイユ／ヴェルサイ
ユ (地)
ペルシャ／ペルシア (地)
ヘルシンキ (地)
ヘルメット
ベルリン (地)
ペンギン
ヘンデル (人)

コンピューター／コンピ
ュータ
コンマ

【サ】

サーカス
サービス
サナトリウム
サハラ (地)
サファイア
サマータイム
サラダボウル
サラブレッド
サンドイッチ
サンパウロ (地)

【シ】

シーボルト (人)
シェーカー
シェークスピア (人)
シェード
ジェットエンジン
シェフィールド (地)
ジェンナー (人)
シドニー (地)
ジブラルタル (地)
ジャカルタ (地)
シャツ
シャッター
シャベル
シャンソン
シャンツェ
シュークリーム
ジュース juice, deuce
シューベルト (人)
ジュラルミン
ショー
ショパン (人)
シラー (人)
シンフォニー
シンポジウム

【ス】

スイートピー
スイッチ
スイング
スウェーデン (地)
スーツケース
スープ
スカート
スキー
スケート

スケール
スコール
スコップ
スター
スタジアム
スタジオ
スタンダード (人)
スチーム
スチュワーデス
ステージ
ステッキ
ステレオ
ステンドグラス
ステンレス
ストーブ
ストックホルム (地)
ストップウォッチ／スト
ップウォッチ
スプーン
スペイン (地)
スペース
スポーツ
ズボン
スリッパ

【セ】

セーター
セーラー [～服]
セメント
ゼラチン
ゼリー
セルバンテス (人)
セロハン
センター
セントローレンス (地)

【ソ】

ソウル (地)
ソーセージ
ソファ
ソルジェニーツィン (人)

【タ】

ダーウィン (人)
ターナー (人)
ダイジェスト
タイヤ
ダイヤモンド
ダイヤル
タオル
タキシード
タクシー

タヒチ (地)
ダンス

【チ】

チーズ
チーム
チャーホフ (人)
チェーン
チェス
チェック
チケット
チップ
チフス
チャイコフスキー (人)
チューバ／テューバ
チューブ
チューリップ
チュニジア／テュニジア
(地)

チョコレート
チロル (地)

【ツ】

ツアー tour
ツーピース
ツールーズ／トゥール
ーズ (地)
ツェッペリン (人)
ツンドラ

【テ】

ティー
ディーゼルエンジン
ディズニー (人)
ティチャーノ／ティツイ
アーノ (人)
ディドロ (人)
テーブル
テーブル
デカルト (人)
テキサス (地)
テキスト
デザイン
テスト
テニス
テネシー (地)
デパート
デューイ (人)
デューラー (人)
デュエット
デュッセルドルフ (地)
テレビジョン

【ア】

アーケード
アイスクリーム
アイロン
アインシュタイン (人)
アカデミー
アクセサリー
アジア (地)
アスファルト
アトランティックシティ
ー (地)
アナウンサー
アパート
アフリカ (地)
アメリカ (地)
アラビア (地)
アルジェリア (地)
アルバム
アルファベット
アルミニウム
アンケート

【イ】

イエーツ／イエーツ (人)
イエスペルセン (人)
イエナ (地)
イエローストン (地)
イギリス (地)
イコール
イスタンブール (地)
イタリア (地)
イニング
インタビュー／インタヴ
ュー
インド (地)
インドネシア (地)
インフレーション

【ウ】

ウィークデー
ウィーン (地)
ウイスキー／ウイスキー
ウィット
ウィルソン (人)
ウェールズ (地)
ウエスト waist
ウエディングケーキ／ウ
ェディングケーキ
ウエハース
ウェブスター (人)
ウォルポール (人)

ウラニウム

【エ】

エイト
エクス
エキストラ
エジソン (人)
エジプト (地)
エチケット
エッフェル (人)
エネルギー
エプロン
エルサレム／イエエルサレ
ム (地)
エレベーター／エレベ
ータ

【オ】

オーエン (人)
オーストラリア (地)
オートバイ
オーバーコート
オックスフォード (地)
オフィス
オホーツク (地)
オリンピック
オルガン
オレンジ

【カ】

ガーゼ
カーテン
カード
カーブ
カクテル
ガス
ガソリン
カタログ
カット
カップ
カバー
カムチャツカ (地)
カメラ
ガラス
カリフォルニア (地)
カルシウム
カルテット
カレンダー
カロリー
ガンジー (人)
カンツォーネ

【キ】

ギター
キムチ
キャベツ
キャンデー
キャンプ
キュリー (人)
ギリシャ／ギリシア (地)
キリマンジャロ (地)
キルティング

【ク】

グアテマラ／グァテマラ
(地)
クイーン
クイズ
クインテット
クーデター
クーポン
クエスチョンマーク
クォーター／クォータ
リー
グラビア
クラブ
グランドキャニオン (地)
クリスマスツリー
グリニッジ (地)
グループ
グレゴリウス (人)
クレジット
クレヨン

【ケ】

ケインズ (人)
ゲーテ (人)
ケープタウン (地)
ケーブルカー
ゲーム
ケンタッキー (地)
ケンブリッジ (地)

【コ】

コーヒー
コールドール
コスチューム
コップ
コピー
コペルニクス (人)
コミュニケーション
コロンブス (人)
コンクール
コンクリート
コンツェルン

書く。

〔例〕 グラビア ピアノ フェアプレー アジア（地）
イタリア（地） ミネアポリス（地）

注1 「ヤ」と書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 タイヤ ダイヤモンド ダイヤル ベニヤ板

注2 「ギリシャ」「ペルシャ」について「ギリシア」「ペルシア」と書く慣用もある。

- 5 語末（特に元素名等）の $-(i)um$ に当たるものは、原則として「-(イ)ウム」と書く。

〔例〕 アルミニウム カルシウム ナトリウム ラジウム
サナトリウム シンポジウム プラネタリウム

注 「アルミニウム」を「アルミニウム」と書くような慣用もある。

- 6 英語のつづりの x に当たるものを「クサ」「クシ」「クス」「クソ」と書くか、「キサ」「キシ」「キス」「キソ」と書くかは、慣用に従う。

〔例〕 タクシー ボクシング ワックス オックスフォード（地）
エキストラ タキシード ミキサー テキサス（地）

- 7 拗音に用いる「ヤ」「ユ」「ヨ」は小書きにする。また、「ヴァ」「ヴィ」「ヴェ」「ヴォ」や「トゥ」のように組み合わせて用いる場合の「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」も、小書きにする。

- 8 複合した語であることを示すための、つなぎの符号の使い方については、それぞれの分野の慣用に従うものとし、ここでは取決めを行わない。

〔例〕 ケース バイ ケース ケース・バイ・ケース
ケース-バイ-ケース
マルコ・ポーロ マルコ＝ポーロ

付 録

用 例 集

- 凡例** 1 ここには、日常よく用いられる外来語を主に、本文の留意事項その2（細則的な事項）の各項に例示した語や、その他の地名・人名の例などを五十音順に掲げた。地名・人名には、それぞれ（地）、（人）の文字を添えた。
- 2 外来語や外国の地名・人名は、語形やその書き表し方の慣用が一つに定まらず、ゆれのあるものが多い。この用例集においても、ここに示した語形やその書き表し方は、一例であって、これ以外の書き方を否定するものではない。なお、本文の留意事項その2に両様の書き方が例示してある語のうち主なものについては、バイオリン／ヴァイオリンのような形で併せ掲げた。

9 「フュ」は、外来音フュに対応する仮名である。

〔例〕 フュージョン フュン島（地・デンマーク） ドレフュス（人）

注 一般的には、「ヒュ」と書くことができる。

〔例〕 ヒューズ

10 「ヴュ」は、外来音ヴュに対応する仮名である。

〔例〕 インタヴュー レヴュー ヴュイヤール（人・画家）

注 一般的には、「ビュ」と書くことができる。

〔例〕 インタビュー レビュー ビュイヤール（人）

III 撥音，促音，長音その他に関するもの

1 撥音は、「ン」を用いて書く。

〔例〕 コンマ シャンソン トランク メンバー ランニング
ランプ ロンドン（地） レンブラント（人）

注1 撥音を入れない慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 イニング（←インニング）

サマータイム（←サンマータイム）

注2 「シンポジウム」を「シムポジウム」と書くような慣用もある。

2 促音は、小書きの「ッ」を用いて書く。

〔例〕 カップ シャッター リュックサック ロッテルダム（地）
バッハ（人）

注 促音を入れない慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 アクセサリー（←アクセッサリー）

フィリピン（地）（←フィリッピン）

3 長音は、原則として長音符号「ー」を用いて書く。

〔例〕 エネルギー オーバーコート グループ ゲーム ショー
テーブル パーティー
ウェールズ（地） ポーランド（地） ローマ（地）
ゲーテ（人） ニュートン（人）

注1 長音符号の代わりに母音字を添えて書く慣用もある。

〔例〕 バレエ（舞踊） ミイラ

注2 「エー」「オー」と書かず、「エイ」「オウ」と書くような慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 エイト ペイント レイアウト スペイン（地）

ケインズ（人）

サラダボウル ボウリング（球技）

注3 英語の語末の -er, -or, -ar などに当たるものは、原則としてア列の長音とし長音符号「ー」を用いて書き表す。ただし、慣用に依じて「ー」を省くことができる。

〔例〕 エレベーター ギター コンピューター マフラー
エレベータ コンピュータ スリッパ

4 イ列・エ列の音の次のアの音に当たるものは、原則として「ア」と

〔例〕 クアルテット クインテット クェスチョンマーク
クォータリー

注1 一般的には、「クア」「クイ」「クエ」「クオ」又は「カ」「キ」「ケ」「コ」と書くことができる。

〔例〕 クアルテット クインテット クェスチョンマーク
クォータリー
カルテット レモンスカッシュ キルティング
イコール

注2 「クァ」は、「クワ」と書く慣用もある。

4 「グァ」は、外来音グァに対応する仮名である。

〔例〕 グァテマラ（地） パラグアイ（地）

注1 一般的には、「グア」又は「ガ」と書くことができる。

〔例〕 グァテマラ（地） パラグアイ（地）
ガテマラ（地）

注2 「グァ」は、「グワ」と書く慣用もある。

5 「ツイ」は、外来音ツイに対応する仮名である。

〔例〕 ソルジェニーツィン（人） ティツィアーノ（人）

注 一般的には、「チ」と書くことができる。

〔例〕 ライプチヒ（地） ティチアーノ（人）

6 「トゥ」「ドゥ」は、外来音トゥ、ドゥに対応する仮名である。

〔例〕 トゥールーズ（地） ハチャトゥリヤン（人）
ヒンドゥー教

注 一般的には、「ツ」「ズ」又は「ト」「ド」と書くことができる。

〔例〕 ツアー（tour） ツーピース ツールーズ（地）
ヒンズー教
ハチャトリヤン（人） ドビュッシー（人）

7 「ヴァ」「ヴィ」「ヴ」「ヴェ」「ヴォ」は、外来音ヴァ、ヴィ、ヴ、ヴェ、ヴォに対応する仮名である。

〔例〕 ヴァイオリン ヴィーナス ヴェール
ヴィクトリア（地） ヴェルサイユ（地） ヴォルガ（地）
ヴィヴァルディ（人） ヴラマンク（人） ヴォルテール（人）

注 一般的には、「バ」「ビ」「ブ」「ベ」「ボ」と書くことができる。

〔例〕 バイオリン ビーナス ベール
ビクトリア（地） ベルサイユ（地） ボルガ（地）
ビバルディ（人） ブラマンク（人） ボルテール（人）

8 「テュ」は、外来音テュに対応する仮名である。

〔例〕 テューバ（楽器） テュニジア（地）

注 一般的には、「チュ」と書くことができる。

〔例〕 コスチューム スチュワーデス チューバ チューブ
チュニジア（地）

〔例〕 ステッキ キャンデー デザイン

- 5 「ファ」「フィ」「フェ」「フォ」は、外来音ファ、フィ、フェ、フォに対応する仮名である。

〔例〕 ファイル フィート フェンシング フォークダンス
 バッファロー（地） フィリピン（地） フェアバンクス（地）
 カリフォルニア（地）
 ファーブル（人） マンスフィールド（人） エッフェル（人）
 フォスター（人）

注1 「ハ」「ヒ」「ヘ」「ホ」と書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 セロハン モルヒネ プラットホーム ホルマリン
 メガホン

注2 「ファン」「フィルム」「フェルト」等は、「フアン」「フィルム」「フェルト」と書く慣用もある。

- 6 「デュ」は、外来音デュに対応する仮名である。

〔例〕 デュエット プロデューサー デュッセルドルフ（地）
 デューイ（人）

注 「ジュ」と書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 ジュース（deuce） ジュラルミン

II 第2表に示す仮名に関するもの

第2表に示す仮名は、原音や原つづりになるべく近く書き表そうとする場合に用いる仮名で、これらの仮名を用いる必要がない場合は、一般的に、第1表に示す仮名の範囲で書き表すことができる。

- 1 「イエ」は、外来音イエに対応する仮名である。

〔例〕 イエルサレム（地） イエーツ（人）

注 一般的には、「イエ」又は「エ」と書くことができる。

〔例〕 エルサレム（地） イエーツ（人）

- 2 「ウイ」「ウエ」「ウオ」は、外来音ウイ、ウエ、ウオに対応する仮名である。

〔例〕 ウィスキー ウェディングケーキ ストップウォッチ
 ウィーン（地） スウェーデン（地） ミルウォーキー（地）
 ウィルソン（人） ウェブスター（人） ウォルポール（人）

注1 一般的には、「ウイ」「ウエ」「ウオ」と書くことができる。

〔例〕 ウィスキー ウイット ウェディングケーキ
 ウエハース ストップウォッチ

注2 「ウ」を省いて書く慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 サンドイッチ スイッチ スイートピー

注3 地名・人名の場合は、「ウイ」「ウエ」「ウオ」と書く慣用が強い。

- 3 「クア」「クイ」「クエ」「クオ」は、外来音クア、クイ、クエ、クオに対応する仮名である。

- 4 国語化の程度の高い語は、おおむね第1表に示す仮名で書き表すことができる。一方、国語化の程度がそれほど高くない語、ある程度外国語に近く書き表す必要のある語——特に地名・人名の場合——は、第2表に示す仮名を用いて書き表すことができる。
- 5 第2表に示す仮名を用いる必要がない場合は、第1表に示す仮名の範囲で書き表すことができる。
- 例 イエ→イエ ウォ→ウオ トゥ→ツ, ト ヴァ→バ
- 6 特別な音の書き表し方については、取決めを行わず、自由とすることとしたが、その中には、例えば、「スイ」「ズイ」「グイ」「グエ」「グォ」「キエ」「ニエ」「ヒエ」「フョ」「ヴョ」等の仮名が含まれる。

留意事項その2（細則的な事項）

以下の各項に示す語例は、それぞれの仮名の用法の一例として示すものであって、その語をいつもそう書かなければならないことを意味するものではない。語例のうち、地名・人名には、それぞれ（地）、（人）の文字を添えた。

I 第1表に示す「シェ」以下の仮名に関するもの

- 1 「シェ」「ジェ」は、外来音シェ、ジェに対応する仮名である。
〔例〕 シェーカー シェード ジェットエンジン ダイジェスト
シェフィールド（地） アルジェリア（地）
シェークスピア（人） ミケランジェロ（人）
- 注 「セ」「ゼ」と書く慣用のある場合は、それによる。
〔例〕 ミルクセーキ ゼラチン
- 2 「チェ」は、外来音チェに対応する仮名である。
〔例〕 チェーン チェス チェック マンチェスター（地）
チャーホフ（人）
- 3 「ツァ」「ツェ」「ツォ」は、外来音ツァ、ツェ、ツォに対応する仮名である。
〔例〕 コンツェルン シャンツェ カンツォーネ
フィレンツェ（地） モーツァルト（人） ツェッペリン（人）
- 4 「ティ」「ディ」は、外来音ティ、ディに対応する仮名である。
〔例〕 テーパーティー ボランティア ディーゼルエンジン
ビルディング
アトランティックシティー（地） ノルマンディー（地）
ドニゼッティ（人） ディズニー（人）
- 注1 「チ」「ジ」と書く慣用のある場合は、それによる。
〔例〕 エチケット スチーム プラスチック スタジアム
スタジオ ラジオ
チロル（地） エジソン（人）
- 注2 「テ」「デ」と書く慣用のある場合は、それによる。

第1表					第2表				
ア	イ	ウ	エ	オ	ツ	テ	シ	エ	ツ
カ	キシ	クス	ケセ	コソ	ア	イ	チ	エ	オ
サ	シチ	スツ	テネ	ソト	フ	イ	ツ	エ	オ
ナ	ニヒ	ヌフ	ネヘ	ノホ		イ	フ	エ	
ハ	ミ	ムユ	メ	モヨ		イ	ジ	エ	
マ	リ	ル	レ	ロ					
ヤ	ギ	グ	ゲ	ゴ					
ラ	ジ	ズ	ゼ	ゾ					
ワ	ビ	ブ	ベ	ボ					
ガ	ビ	ブ		ポ					
ザ		キ		キ					
ダ		シ		シ					
バ		チ		チ					
パ		ニ		ニ					
キ	ヤ	ヒ		ヒ					
シ	ヤ	ミ		ミ					
チ	ヤ	リ		リ					
ニ	ヤ	ギ		ギ					
ヒ	ヤ	ジ		ジ					
ミ	ヤ	ビ		ビ					
リ	ヤ	ピ		ピ					
ギ	ヤ								
ジャ									
ビ									
ピ									
ン	(はつ撥音)								
ッ	(促音)								
ー	(長音符号)								

留意事項その1 (原則的な事項)

- 1 この『外来語の表記』では、外来語や外国の地名・人名を片仮名で書き表す場合のことを扱う。
- 2 「ハンカチ」と「ハンケチ」、「グローブ」と「グラブ」のように、語形にゆれのあるものについて、その語形をどちらかに決めようとはしていない。
- 3 語形やその書き表し方については、慣用が定まっているものはそれによる。分野によって異なる慣用が定まっている場合には、それぞれの慣用によって差し支えない。

外 来 語 の 表 記

- ・平成3年6月28日内閣告示第2号。
- ・昭和29年3月15日に国語審議会部会報告として「外来語の表記について」が発表されている。しかし、これは内閣告示には至らなかった。
- ・国語審議会では、上記の報告を初め多くの資料を参考にし、各方面からの意見を参照して審議し、平成3年2月7日に文部大臣へ答申した。本告示の内容は、この答申によっている。
(三省堂編修所注)

前 書 き

- 1 この『外来語の表記』は、法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表すための「外来語の表記」のよりどころを示すものである。
- 2 この『外来語の表記』は、科学、技術、芸術その他の各種専門分野や個々人の表記にまで及ぼそうとするものではない。
- 3 この『外来語の表記』は、固有名詞など（例えば、人名、会社名、商品名等）でこれによりがたいものには及ぼさない。
- 4 この『外来語の表記』は、過去に行われた様々な表記（「付」参照）を否定しようとするものではない。
- 5 この『外来語の表記』は、「本文」と「付録」から成る。「本文」には「外来語の表記」に用いる仮名と符号の表を掲げ、これに留意事項その1（原則的な事項）と留意事項その2（細則的な事項）を添えた。「付録」には、用例集として、日常よく用いられる外来語を主に、留意事項その2に例示した語や、その他の地名・人名の例などを五十音順に掲げた。

本 文

「外来語の表記」に用いる仮名と符号の表

- 1 第1表に示す仮名は、外来語や外国の地名・人名を書き表すのに一般的に用いる仮名とする。
- 2 第2表に示す仮名は、外来語や外国の地名・人名を原音や原つづりになるべく近く書き表そうとする場合に用いる仮名とする。
- 3 第1表・第2表に示す仮名では書き表せないような、特別な音の書き表し方については、ここでは取決めを行わず、自由とする。
- 4 第1表・第2表によって語を書き表す場合には、おおむね留意事項を適用する。

ローマ字のつづり方

・昭和29年12月9日内閣告示第1号による。
 ・そえがきの〔補注〕は三省堂編修所でつけた。
 (三省堂編修所注)

まえがき

- 1 一般に国語を書き表わす場合は、第1表に掲げたつづり方によるものとする。
- 2 国際的關係その他従来慣例をにわかに改めがたい事情にある場合に限り、第2表に掲げたつづり方によってもさしつかえない。
- 3 前二項のいずれの場合においても、おおむねそえがきを適用する。

そえがき

前表に定めたもののほか、おおむね次の各項による。

- 1 はねる音「ン」はすべて n と書く。

第1表 [() は重出を示す。]

〔補注〕 tenki
 sannin
 sinbun
 sanmyaku
 denpô

- 2 はねる音を表わす n と次にくる母音字または y とを切り離す必要がある場合には、n の次に ' を入れる。

〔補注〕 tan'i
 gen'in
 kin'yôbi
 sin'ei

- 3 つまる音は、最初の子音字を重ねて表わす。

〔補注〕 gakkô kitte zassi syuppatu

- 4 長音は母音字の上に ˉ をつけて表わす。なお、大文字の場合は母音字を並べてもよい。

〔補注〕 obâsan kûki ôkii Oosaka

- 5 特殊音の書き表わし方は自由とする。

〔補注〕 firumu huirumu otottsan otottwan

- 6 文の書きはじめ、および固有名詞は語頭を大文字で書く。なお、固有名詞以外の名詞の語頭を大文字で書いてもよい。

〔補注〕 Kyô wa kayôbi desu. Huzisan Itô-Zirô
 Nippon Ginkô Suzusii Kaze ga huku.

a	i	u	e	o			
ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
sa	si	su	se	so	sya	syu	syo
ta	ti	tu	te	to	tya	tyu	tyo
na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo
ha	hi	hu	he	ho	hya	hyu	hyo
ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
ya	(i)	yu	(e)	yo			
ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
wa	(i)	(u)	(e)	(o)			
ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
za	zi	zu	ze	zo	zya	zyu	zyo
da	(zi)	(zu)	de	do	(zya)	(zyu)	(zyo)
ba	bi	bu	be	bo	bya	byu	byo
pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo

第2表

sha	shi	shu	sho	
		tsu		
cha	chi	chu	cho	
		fu		
ja	ji	ju	jo	
di	du	dya	dyu	dyo
kwa				
gwa				
				wo

↓ 漁 25	緒 49	酸 40	15画	撒 71	稿 36	誕 66	養 93	橋 26	藥 91	17画	謝 44	臨 96	羅 93	響 26
漂 81	練 97	銀 27	儀 22	撮 39	穗 55	諸 49	餓 16	機 22	融 92	償 51	謹 27	藩 79	臟 62	騰 74
漆 43	総 62	銃 47	億 13	撲 88	窮 24	諾 65	駐 67	激 29	衛 12	優 92	購 36	襟 27	藻 62	懸 31
漏 97	置 67	銅 74	劇 29	擊 29	窯 93	謁 12	魅 89	濁 65	衡 36	嚇 18	頻 81	覆 83	霸 76	21画
演 13	罰 78	銃 60	勲 28	敵 70	箱 78	賓 81	默 90	濃 76	親 54	嚴 31	轄 19	觀 20	識 43	艦 20
漫 89	聞 84	銘 90	器 22	敷 82	範 79	賜 42	16画	燃 76	諭 91	懇 37	醜 46	贈 62	譜 82	躍 91
漬 69	腐 82	錢 60	噴 83	暫 40	緊 27	賞 51	儒 45	獲 18	諮 42	擦 39	鍛 66	鎖 37	警 29	露 97
漸 60	膜 88	閣 18	囑 52	暴 87	線 60	賠 77	凝 26	獸 47	謀 87	擬 23	霜 62	鎮 69	鏡 26	顧 32
獄 36	製 57	閥 78	墜 69	槽 62	締 70	賦 82	墾 37	磨 88	謠 93	濯 65	鮮 60	難 75	霧 89	魔 88
疑 22	複 83	関 20	墳 83	標 81	縁 13	質 43	壁 84	積 58	賢 31	燥 62	齡 96	題 65	韻 11	22画
碑 80	誌 42	際 38	審 54	横 13	編 85	賛 40	壊 52	穩 14	頼 94	爵 44	18画	額 18	願 21	驚 26
磁 43	認 75	障 51	寮 95	権 31	緩 20	趣 45	壇 66	築 67	輸 91	矯 26	懲 69	顏 21	髓 55	襲 46
種 45	誓 57	隠 11	導 74	飲 20	縄 52	踏 73	壊 17	篤 74	避 80	犧 23	曜 93	類 96	離 94	23画
稻 73	誘 92	雑 39	履 94	潔 30	罷 80	輝 22	奮 83	糖 73	還 20	環 20	濫 94	頭 31	鯨 29	鑑 20
穀 36	語 33	需 45	幣 84	潜 60	膚 82	輩 77	嬢 52	緯 10	鋼 36	療 95	癒 91	翻 88	鷄 29	
端 65	誤 33	静 57	弊 84	渴 18	舗 85	輪 96	憩 29	縛 78	録 97	礁 51	癖 84	騎 22	麗 96	
箇 15	説 59	領 95	影 12	潤 48	舞 82	遵 48	憲 31	縫 87	錘 55	縮 48	瞬 48	騷 62	20画	
算 40	読 74	馱 63	徹 71	潮 68	蔵 62	遷 60	憶 13	縦 47	錠 52	績 58	礎 61	験 31	欄 94	
管 20	豪 36	駆 27	慮 95	澄 68	衝 51	選 60	憾 20	繁 79	錯 39	織 60	穫 18	闘 73	競 26	
精 57	踊 93	馱 12	慰 10	熟 48	褒 87	遺 10	懷 17	膨 87	鍊 97	翼 93	簡 20	19画	籍 58	
緑 95	適 70	髪 78	慶 29	熱 75	課 16	鋭 12	擁 93	興 36	隣 96	聴 69	糧 95	瀬 55	議 23	
維 10	遭 62	魂 37	憂 92	監 20	調 68	铸 67	操 62	薄 77	隸 96	覧 94	織 52	爆 78	護 33	
綱 36	遮 44	鳴 90	憤 83	盤 79	談 66	閱 12	整 57	薦 60	頭 73	膽 73	繕 60	璽 43	讓 52	
網 90	酵 36	鼻 80	戲 22	確 18	請 57	震 54	曇 75	薪 54	館 20	謙 31	繭 31	簿 86	釀 52	
綿 90	酷 36	雌 42	摩 88	稼 16	論 97	靈 96	樹 45	薰 28	講 36	職 53	繰 28	鐘 51		

↓ 割 18	富 82	換 19	+ 棚 65	番 79	絡 94	詠 12	殖 52	債 38	愁 46	源 31	節 59	話 98	鉛 13	奪 65
創 61	寒 19	握 9	極 26	晝 52	給 24	証 51	量 95	傷 51	意 10	準 48	絹 31	該 17	+ 鉢 78	嫡 67
勝 50	尊 63	援 12	検 30	疎 60	統 73	象 51	鈍 74	傾 29	愚 27	+ 溝 36	繼 29	詳 51	鉄 71	察 39
募 85	尋 54	揮 22	欺 22	痘 73	絵 16	貯 68	開 17	働 74	愛 9	溶 93	続 63	誇 32	鉦 36	寡 15
勤 27	就 46	揺 92	款 20	痛 69	着 67	貴 22	閑 20	僧 62	感 20	滅 90	罪 39	誠 57	隔 18	寧 75
博 77	属 63	敢 20	減 31	痢 94	脹 68	買 77	間 20	勢 57	慈 43	滑 19	署 49	誉 92	零 96	層 62
善 60	帽 87	散 40	渡 71	登 73	腕 98	貸 64	陽 93	勸 20	慎 54	滯 64	群 28	豊 86	雷 93	彰 51
喚 19	幅 83	敬 29	+ 渦 15	短 65	落 94	費 80	+ 隅 27	嗣 42	慨 17	+ 漠 78	義 22	賃 69	電 71	徴 68
喜 22	幾 22	晚 79	測 63	硝 50	葉 93	貿 87	隊 64	嘆 65	戰 59	漢 20	聖 57	賄 98	+ 靴 15	徳 74
喪 61	廊 97	普 82	港 35	硫 95	葬 61	賀 16	階 17	園 12	損 63	滝 65	腰 93	資 42	預 92	態 64
喫 23	廃 77	景 29	湖 32	硬 35	蛮 79	超 68	随 55	塊 17	搬 79	煙 12	腸 68	賊 63	+ 頑 21	慕 85
圈 30	弾 66	晴 57	湯 73	税 57	衆 46	越 12	雄 92	塑 61	携 29	照 51	腹 83	跡 58	頒 79	慢 89
堅 30	復 83	晶 50	温 14	程 70	街 17	距 24	雅 16	塗 71	搾 39	煩 79	艇 70	路 97	飼 42	慣 20
堤 70	御 24	暑 49	滋 43	童 74	裁 38	軸 43	集 46	墓 85	摂 59	+ 猿 13	蒸 52	跳 68	飽 86	憎 62
堪 19	循 48	曉 26	満 89	筆 80	裂 97	軽 29	雇 32	夢 89	数 55	献 30	蓄 67	踐 60	飾 52	摘 70
報 86	悲 80	替 64	湿 43	等 73	装 61	遂 55	+ 雰 83	奨 51	新 54	痴 66	虜 95	較 18	塩 13	旗 22
場 52	惑 98	最 38	湾 98	筋 27	裕 92	遇 27	雲 11	嫁 15	暇 15	盟 90	虞 13	載 38	鼓 32	暮 85
墮 63	惰 63	朝 68	無 89	筒 73	補 85	遊 92	+ 項 36	嫌 30	暖 66	睡 55	裏 94	辞 43	14画	曆 96
塔 73	愉 91	期 22	焦 50	答 73	覚 18	運 11	順 48	寝 54	暗 10	督 74	裸 93	農 76	像 62	構 36
+ 塚 69	慌 35	棋 22	然 60	策 39	訴 60	遍 85	飲 11	寛 20	棄 22	碁 33	+ 褐 19	違 10	+ 僕 88	概 17
+ 塀 84	+ 扉 80	棒 87	煮 44	粧 50	診 54	過 15	飯 79	幕 88	業 26	禁 27	解 17	遠 13	僚 95	模 90
墨 96	掌 50	+ 棟 73	焼 50	紫 42	詐 37	道 74	菌 42	幹 20	楽 18	禍 15	触 52	遣 31	+ 塾 48	様 93
奥 13	提 70	森 54	営 12	結 30	詔 50	達 65	13画	廉 97	楼 97	福 83	試 42	酬 46	境 26	歌 15
婿 57	揚 92	棺 20	猶 91	絶 59	評 81	遅 66	傑 30	微 80	歳 38	禅 60	詩 42	酪 94	増 62	歴 96
媒 77	+ 搭 73	植 52	琴 27	絞 35	詞 42	酢 39	催 38	想 62	殿 71	稚 67	詰 23	鈴 96	墨 88	滴 70

員 11	師 41	拳 24	殘 40	真 53	能 76	通 69	11画	堂 74	悼 73	旋 59	球 24	紹 50	訟 50	釈 44
哲 71	席 58	敏 81	殺 39	眠 89	脂 41	逝 57	乾 19	婆 76	情 52	族 63	理 94	紺 37	訪 86	野 91
峻 37	帶 64	料 95	泰 64	砲 86	脅 25	速 63	偵 70	婚 37	惜 58	望 87	瓶 81	終 46	設 58	釣 68
唇 53	座 37	旅 95	流 94	破 76	脈 89	造 62	偏 85	婦 82	惡 9	械 16	産 40	組 60	許 24	閉 84
唐 72	庫 32	既 21	浦 85	秘 80	致 66	連 97	停 70	宿 47	慘 40	欲 93	略 94	経 29	訳 91	陪 77
埋 88	庭 70	時 43	浪 97	祥 50	航 35	通 70	健 30	寂 44	捨 44	殻 18	異 10	翌 93	豚 74	陰 11
夏 15	弱 44	書 49	浮 82	租 60	般 79	郡 28	側 63	寄 22	据 55	涉 50	盛 57	習 46	貧 81	隆 95
姫 80	徐 49	朕 69	浴 93	秩 67	荷 15	酌 44	偶 27	密 89	掃 61	涯 17	盜 73	肅 47	貨 15	陳 69
娘 89	徒 71	朗 97	浸 53	称 50	華 15	配 77	偽 22	尉 10	授 45	液 12	眺 68	脚 23	販 79	陵 95
娛 33	從 47	栓 59	消 50	笑 50	蚊 16	酒 45	剩 52	崇 55	排 77	涼 95	眼 21	脱 65	貫 19	陶 73
娠 53	恐 25	校 35	淚 96	粉 83	蚕 39	針 53	副 83	崎 39	掘 28	淑 47	票 81	腦 76	責 58	陸 94
孫 63	恥 66	株 19	浜 81	粹 55	衰 55	降 35	動 74	崩 86	掛 18	淡 65	祭 38	舶 77	赦 44	險 30
宮 24	恩 14	核 18	烈 97	紋 91	被 80	陞 84	勘 19	巢 61	採 38	深 53	移 10	船 59	軟 75	雪 58
宰 38	恭 25	根 37	特 74	納 76	討 73	院 11	務 89	帳 68	探 65	混 37	窒 67	菊 23	転 71	頂 68
害 17	息 63	格 18	珠 45	純 48	訓 28	陣 54	喝 18	常 52	接 58	清 57	窓 61	菌 27	逮 64	魚 24
宴 12	悦 12	棧 39	班 79	紙 41	託 65	除 49	唯 91	庶 49	控 35	添 71	章 50	菓 15	週 46	鳥 68
宵 50	悟 33	桃 72	畔 79	紛 83	記 21	陷 19	唱 50	康 35	推 55	渴 18	笛 70	菜 38	進 53	麻 88
家 15	惠 28	梅 77	留 95	素 60	財 38	隻 58	商 50	庸 92	措 60	溪 28	符 82	著 67	逸 11	黄 35
容 92	惱 76	桜 13	畜 67	紡 87	貢 35	飢 21	問 91	張 68	描 81	洩 47	第 65	虚 24	部 82	黒 36
射 44	恋 97	案 10	畝 55	索 39	起 21	馬 76	啓 28	強 25	掲 28	濟 38	粒 95	蛇 44	郭 18	斎 38
将 50	扇 59	桑 61	疲 80	翁 13	軒 30	骨 36	域 10	彩 38	教 26	猛 90	粗 60	蚩 29	郵 91	12画
展 71	振 53	栽 38	疾 43	耕 35	辱 53	高 35	執 43	彫 68	救 24	猫 75	粘 76	術 48	都 71	偉 10
峰 86	挿 61	帰 21	病 81	耗 90	透 73	鬼 21	培 77	得 74	敗 77	獵 95	累 96	袋 64	郷 26	傍 87
島 72	捕 85	殉 48	症 50	胴 74	逐 67	党 73	基 22	悠 91	斜 44	率 63	細 38	規 22	醉 55	傘 40
差 37	搜 61	殊 45	益 12	胸 25	途 71	竜 95	堀 88	患 19	断 66	現 31	紳 53	視 42	曹 61	備 80

↓ 到 72	奇 21	岳 18	拍 77	枝 41	炎 12	英 11	係 28	城 51	思 41	枯 32	牲 56	窃 58	負 82	10画
制 56	奉 86	幸 34	拒 24	枢 55	炉 97	芽 16	便 85	奏 61	怠 64	架 15	狩 45	糾 24	赴 82	修 46
刷 39	奔 88	底 70	拓 65	果 15	版 79	茂 90	促 62	契 28	急 24	柄 84	狹 25	紀 21	軌 21	俳 77
券 30	妹 88	店 71	拘 34	欧 13	牧 88	莖 28	俊 48	姻 11	恒 34	某 87	独 74	約 91	軍 28	俵 81
刺 41	妻 38	府 82	拙 58	殴 13	物 83	表 80	俗 63	姿 41	恨 37	染 59	珍 69	紅 34	迷 90	倉 61
刻 36	姉 41	弦 31	招 49	步 85	画 16	迫 77	保 85	威 10	悔 16	柔 ⁺ 47	甚 ⁺ 54	級 24	追 ⁺ 69	俸 ⁺ 86
効 34	始 41	彼 79	拝 76	武 82	的 70	迭 71	信 53	孤 32	括 18	查 37	界 16	美 80	退 64	值 66
効 17	姓 56	往 13	担 65	毒 74	盲 90	述 48	冒 87	客 23	拷 36	柱 67	畑 78	耐 64	送 61	個 32
卒 63	委 10	征 56	抛 24	河 15	知 66	邸 70	冠 19	宣 59	拾 46	柳 94	疫 12	肺 76	逃 72	倍 77
卓 65	季 21	径 28	扞 17	沸 83	祈 21	邪 44	則 63	室 43	持 43	相 61	発 78	胃 10	逆 23	倒 72
協 25	学 18	忠 67	放 86	油 91	祉 41	直 69	削 39	封 82	指 41	栄 12	皆 16	背 76	郊 35	候 35
参 39	宗 46	念 ⁺ 76	昆 ⁺ 37	治 43	空 27	金 27	前 60	専 ⁺ 59	挑 ⁺ 68	段 66	皇 34	胎 64	郎 97	借 44
叔 47	官 19	怖 82	昇 50	沼 50	突 74	長 68	勅 69	屋 ⁺ 13	挟 ⁺ 25	泉 59	盆 88	胞 86	重 47	倣 86
取 45	宙 67	性 56	明 89	沿 12	並 84	門 90	勇 91	峠 74	政 56	洋 92	盾 48	胆 65	限 31	倫 95
受 45	定 70	怪 16	易 12	況 25	者 44	阻 60	卑 79	峽 25	故 32	洗 59	省 57	臭 46	面 90	儉 30
周 46	宜 22	房 87	昔 58	泊 ⁺ 77	肢 ⁺ 41	附 82	南 75	帝 70	叙 ⁺ 49	洞 ⁺ 74	看 19	茶 67	革 17	兼 30
味 89	実 43	所 48	服 83	泌 80	肥 79	雨 11	卷 19	帥 55	施 41	津 53	砂 37	草 61	音 14	准 48
呼 32	宝 86	承 50	杯 76	法 86	肩 30	青 56	厘 95	幽 91	星 ⁺ 56	洪 ⁺ 34	研 30	荒 35	風 82	凍 72
命 ⁺ 89	尚 ⁺ 49	披 ⁺ 79	東 ⁺ 72	泡 ⁺ 86	肪 87	非 79	厚 34	度 72	映 11	活 18	碎 38	莊 61	飛 80	剖 87
和 97	居 24	抱 86	松 50	波 76	肯 ⁺ 34	齊 ⁺ 56	咲 39	建 30	春 48	派 76	祖 60	虐 23	食 52	剛 36
固 32	届 74	抵 70	板 79	泣 24	育 10	9画	哀 9	弧 32	昨 39	海 16	祝 47	要 92	首 45	剂 38
国 36	屈 28	押 13	析 ⁺ 58	泥 ⁺ 70	舍 44	乘 51	品 81	待 64	昭 50	浄 51	神 53	訂 70	香 35	劍 30
坪 69	岩 21	抽 67	林 95	注 67	苗 ⁺ 81	亭 ⁺ 70	单 65	律 94	是 55	浅 59	秋 46	計 28	点 71	勉 85
垂 ⁺ 55	岬 ⁺ 89	抹 ⁺ 89	枚 88	泳 11	若 44	侯 34	型 28	後 32	昼 67	炭 65	科 15	変 85	衷 67	匿 74
夜 91	岸 ⁺ 21	拐 ⁺ 16	杵 ⁺ 98	炊 55	苦 27	侵 ⁺ 53	垣 ⁺ 17	怒 72	県 30	為 10	秒 81	貞 70	卸 14	原 31

屯 ⁺ 74	出 48	左 37	玉 26	辺 84	劣 ⁺ 97	妄 ⁺ 90	朽 23	肌 ⁺ 78	低 69	呈 69	床 49	扌 65	系 28	邦 86
父 81	刊 19	巧 33	甘 19	凸 ⁺ 74	匠 49	字 42	次 42	自 42	住 47	呉 32	序 49	改 16	声 56	医 10
片 84	功 33	巨 24	生 ⁺ 56	凹 ⁺ 13	印 11	存 63	死 41	至 41	佐 37	吹 55	廷 70	攻 34	肖 49	里 94
牛 24	加 14	市 40	用 92	6画	危 21	宅 65	每 88	舌 59	何 14	告 36	弟 70	更 34	肝 19	防 87
犬 30	包 86	布 81	田 71	交 33	叫 25	宇 11	気 21	舟 46	作 39	困 37	形 ⁺ 28	杉 ⁺ 55	臣 53	余 92
王 13	北 88	平 84	由 91	仰 26	各 17	守 45	汗 19	色 52	来 93	囿 10	役 91	材 38	良 95	体 64
欠 29	半 78	幼 92	甲 33	仲 67	合 36	安 10	汚 13	芋 11	克 36	囧 54	忌 21	村 63	花 14	麦 77
予 92	占 59	広 33	申 53	件 30	吉 23	寺 42	江 34	芝 43	児 42	坂 78	忍 75	束 62	芳 86	8画
双 61	去 24	庁 68	白 77	任 75	同 74	州 46	池 66	虫 67	兵 84	均 27	志 41	条 51	芸 29	乳 75
5画	古 32	必 80	皮 79	企 21	名 89	巡 48	灯 72	血 29	冷 96	坊 87	忘 87	求 24	見 30	延 12
且 19	句 27	打 ⁺ 63	皿 ⁺ 39	伏 82	后 34	帆 78	灰 16	行 34	初 48	坑 34	快 16	決 29	角 17	事 42
世 55	召 49	扌 83	目 90	伐 78	吏 94	年 76	争 61	衣 10	判 78	壺 11	忘 13	汽 21	言 31	享 25
丘 23	可 14	斥 58	矛 89	休 23	吐 71	式 43	当 72	西 56	別 84	寿 45	我 16	沈 69	谷 36	京 25
丙 84	史 40	未 89	矢 41	仮 14	向 33	忙 87	百 80	式 75	利 94	妊 75	戒 16	没 88	豆 72	佳 14
主 45	右 11	末 88	石 58	伝 71	吸 23	成 56	尽 54	迅 54	助 49	妙 ⁺ 89	戾 ⁺ 96	沖 67	貝 17	使 41
仕 40	司 40	本 88	示 42	充 47	回 16	扱 10	竹 67	7画	努 72	妥 63	扶 81	沢 65	壳 77	例 96
他 63	囚 46	札 39	礼 96	兆 68	因 11	旨 41	米 84	乱 94	劳 97	妨 87	批 79	災 37	赤 58	侍 42
付 81	四 40	正 56	穴 29	先 59	団 66	早 61	糸 41	亜 9	励 96	孝 34	技 22	状 51	走 61	供 25
仙 ⁺ 59	庄 10	母 85	立 94	光 33	在 38	旬 ⁺ 48	岳 ⁺ 19	伯 77	却 23	完 19	抄 49	狂 25	足 62	依 10
代 64	外 17	民 89	台 65	全 60	地 66	曲 26	羊 92	伴 78	卵 94	对 ⁺ 64	把 ⁺ 76	男 66	身 53	侮 82
令 96	央 13	氷 80	旧 23	両 95	壮 61	会 16	羽 11	伸 53	即 62	尾 80	抑 93	町 68	車 44	併 84
以 10	失 43	永 11	処 48	共 25	多 63	有 91	老 97	伺 41	君 28	尿 75	投 72	社 44	辛 53	価 15
兄 28	奴 ⁺ 72	汁 ⁺ 47	号 36	再 37	好 34	朱 45	考 34	似 42	吟 27	局 26	抗 34	秀 46	迎 29	免 90
冊 39	写 43	犯 78	弁 85	刑 28	如 ⁺ 49	朴 ⁺ 88	耳 42	但 65	否 79	岐 21	折 58	私 41	近 27	具 27
冬 72	尼 75	玄 31	込 37	列 96	妃 79	机 21	肉 75	位 10	含 20	希 21	拔 78	究 24	返 85	典 71

ゆるす	許	24	よつつ	四	40	わく	㊦ 杵	98
ゆるむ	緩	20	よぶ	呼	32		沸	83
ゆるめる	緩	20	よむ	詠	12	わけ	訳	91
ゆるやか	緩	20		読	74	わけ	分	83
ゆれる	揺	92	よめ	嫁	15	わざ	技	22
ゆわえる	結	30	よる	夜	91		業	26
	【よ】			因	11	わざわい	災	38
よ	四	40		寄	22	わずらう	患	19
	世	55	よろこぶ	喜	22		煩	79
	代	64	よわい	弱	44	わずらわす	煩	79
	夜	91	よわまる	弱	44	わすれる	忘	87
よい	㊦ 宵	50	よわめる	弱	44	わた	綿	90
	良	95	よわる	弱	44	わたくし	私	41
	善	60	よん	四	40	わたす	渡	71
よう	八	78		【わ】		わたる	渡	71
	酔	55	わ	我	16	わらう	笑	50
よこ	横	13		輪	96	わらべ	童	74
よごす	汚	13	わかい	若	44	わり	割	18
よごれる	汚	13	わかす	沸	83	わる	割	18
よし	由	91	わかつ	分	84	わるい	悪	9
よせる	寄	22	わかる	分	83	われ	我	16
よそおう	装	62	わかれる	分	83	われる	割	18
よつ	四	40		別	84			

常用漢字表 総画索引

㊦ は「当用漢字表」より増えた漢字

↓ 1画	了	十	丸	及	子	干	中	仏	冗	匹	冂	幻	収	木
	95	47	20	23	40	19	67	83	51	80	12	31	45	88
一	二	又	久	口	寸	弓	丹	介	凶	区	天	弔	文	止
11	75	88	23	33	55	23	65	16	25	27	71	68	84	40
乙	人	㊦ 3画	亡	土	小	才	乏	今	分	升	太	引	斗	比
13	54		87	71	49	37	87	37	83	49	64	11	71	79
2画	入	丈	凡	士	山	与	互	元	切	午	夫	心	斤	毛
	75	51	88	40	39	92	32	31	58	32	81	53	26	90
丁	八	三	刃	夕	川	万	五	内	刈	㊦ 厄	孔	戸	方	氏
68	78	39	54	57	59	89	32	75	19	91	33	32	86	40
七	刀	上	勺	大	工	㊦ 4画	井	公	匆	友	少	手	日	水
43	72	51	44	64	33		55	33	91	91	49	45	75	55
九	力	下	千	女	己	不	仁	六	化	反	尺	支	月	火
23	95	14	59	49	32	81	54	97	14	78	44	40	30	14

むぎ 麦 78
 むく 向 34
 むくいる 報 86
 むける 向 34
 むこ 婿 57
 むこう 向 34
 むし 虫 67
 むす 蒸 52
 むずかしい 難 75
 むすぶ 結 30
 むすめ 娘 89
 むつ 六 97
 むつつ 六 97
 むな 胸 25
 + 棟 73
 むね 旨 41
 胸 25
 + 棟 73
 むら 村 63
 群 28
 むらさき 紫 42
 むらす 蒸 52
 むれ 群 28
 むれる 蒸 52
 群 28
 むろ 室 43
 【め】
 め 女 49
 目 90
 芽 16
 雌 42
 めぐむ 恵 28
 めぐる 巡 48
 めし 飯 79
 めす 雌 42
 召 49
 めずらしい 珍 69
 【も】
 も 喪 61
 + 藻 62
 もうける 設 58
 もうす 申 53

もえる 燃 76
 もぐる 潜 60
 もしくは 若 44
 もす 燃 76
 もちいる 用 92
 もつ 持 43
 もっとも 最 38
 もっぱら 専 59
 もと 下 14
 元 31
 本 88
 基 22
 基 22
 もとい + 戻 96
 もどす 求 24
 もとめる + 戻 96
 もどる 物 83
 もの 者 44
 桃 72
 もも 燃 76
 もやす 催 38
 もよおす 漏 97
 もらす 守 45
 もり 森 54
 もる 盛 57
 漏 97
 もれる 漏 97
 もんめ 刃 91
 【や】
 や 八 78
 矢 41
 屋 13
 家 15
 焼 50
 焼 50
 やさしい 易 12
 優 92
 養 93
 やしなう 社 44
 やしろ 安 10
 やすい 休 23
 やすまる 休 23
 やすむ

やすめる 休 23
 やつ 八 78
 やつつ 八 78
 やど 宿 47
 やとう 雇 32
 やどす 宿 47
 やどる 宿 47
 やなぎ 柳 94
 やぶる 破 76
 やぶれる 破 76
 敗 77
 やま 山 39
 やまい 病 81
 やむ 病 81
 やめる 辞 43
 やわらか 柔 47
 軟 75
 やわらかい 柔 47
 軟 75
 やわらぐ 和 98
 やわらげる 和 98
 【ゆ】
 ゆ 湯 73
 ゆう 夕 58
 結 30
 ゆえ 故 32
 ゆか 床 49
 ゆき 雪 58
 ゆく 行 34
 + 逝 57
 ゆさぶる 揺 93
 ゆすぶる 揺 93
 ゆする 揺 93
 ゆずる 讓 52
 ゆたか 豊 86
 ゆび 指 41
 ゆみ 弓 23
 ゆめ 夢 89
 ゆらぐ 揺 92
 ゆる 揺 92
 ゆるい 緩 20
 ゆるぐ 揺 93

ほね	骨	37	まじわる	交	33	みぎ	右	11
ほのお	炎	12	ます	升	49	みことのり	詔	51
ほまれ	誉	92		増	62	みさお	操	62
ほめる	褒	87	まずしい	貧	81	みさき	岬	89
ほら	洞	74	まぜる	交	33	みささぎ	陵	95
ほり	堀	88		混	37	みじかい	短	65
ほる	彫	68	また	又	88	みじめ	惨	40
	掘	28	またたく	瞬	48	みず	水	55
ほろびる	滅	90	またたく	瞬	48	みずうみ	湖	32
ほろぼす	滅	90	まち	町	68	みずから	自	42
	【ま】			街	17	みせ	店	71
ま	目	90	まつ	松	50	みせる	見	30
	真	53		待	64	みせる	見	30
	馬	76	まったく	全	60	みぞ	溝	36
	間	20	まつり	祭	38	みたす	満	89
まい	舞	82	まつりごと	政	56	みだす	乱	94
まいる	参	39	まつる	祭	38	みだれる	乱	94
もう	舞	82	まと	的	70	みち	道	74
まえ	前	60	まど	窓	61	みちびく	導	74
まかす	任	75	まどう	惑	98	みちる	満	89
	負	82	まなこ	眼	21	みつ	三	39
まかせる	任	75	まなぶ	学	18	みつぐ	貢	35
まかなう	賄	98	まぬかれる	免	90	みつつ	三	39
まがる	曲	26	まねく	招	50	みとめる	認	75
まき	牧	88	まぼろし	幻	31	みどり	緑	95
	巻	19	まめ	豆	72	みな	皆	16
まぎらす	紛	83	まもる	守	45	みなと	港	35
まぎらわしい	紛	83	まゆ	繭	31	みなみ	南	75
まぎらわす	紛	83	まよう	迷	90	みなもと	源	31
まぎれる	紛	83	まる	丸	20	みにくい	醜	46
まく	巻	19	まるい	丸	20	みね	峰	86
まける	負	82		円	12	みのる	実	43
まげる	曲	26	まるめる	丸	20	みみ	耳	42
まご	孫	63	まわす	回	16	みや	宮	24
まこと	誠	57	まわり	周	46	みやこ	都	71
まさ	正	56	まわる	回	16	みる	見	30
まさる	勝	50		【み】			診	54
まざる	交	33	み	三	39		【む】	
	混	37		身	53	む	六	97
まじえる	交	33		実	43	むい	六	97
まじる	交	33	みえる	見	30	むかう	向	34
	混	37	みがく	磨	88	むかえる	迎	29
			みき	幹	20	むかし	昔	58

ひいでる	秀	46	ひろがる	広	33	ふみ	文	84
ひえる	冷	96	ひろげる	広	33	ふむ	踏	73
ひかえる	控	35	ひろまる	広	33	ふやす	殖	52
ひがし	東	72	ひろめる	広	33		増	62
ひかり	光	33		【ふ】		ふゆ	冬	72
ひかる	光	33	ふえ	笛	70	ふる	振	53
ひき	匹	80	ふえる	殖	52		降	35
ひきいる	率	63		増	62	ふるい	古	32
ひく	引	11	ふかい	深	53	ふるう	振	53
	弾	66	ふかす	更	34		震	54
ひくい	低	69	ふかまる	深	53		奮	83
ひくまる	低	69	ふかめる	深	53	ふるえる	震	54
ひくめる	低	69	ふく	吹	55	ふるす	古	32
ひける	引	11		噴	83	ふれる	触	52
ひさしい	久	23	ふくむ	含	20		【へ】	
ひそむ	潜	60	ふくめる	含	20	べ	辺	85
ひたい	額	18	ふくらむ	膨	87	へだたる	隔	18
ひたす	浸	53	ふくれる	膨	87	へだてる	隔	18
ひだり	左	37	ふくろ	袋	64	べに	紅	34
ひたる	浸	53	ふける	老	97	へび	蛇	44
ひつじ	羊	92		更	34	へらす	減	31
ひと	一	11	ふさ	房	87	へる	経	29
	人	54	ふし	節	59		減	31
ひとしい	等	73	ふす	伏	83		【ほ】	
ひとつ	一	11	ふせぐ	防	87	ほ	火	14
ひとり	独	74	ふせる	伏	82		帆	78
ひびく	響	26	ふた	二	75		穂	55
ひま	暇	15		双	61	ほうむる	葬	61
ひめ	姫	80	ふだ	札	39	ほか	外	17
ひめる	秘	80	ぶた	豚	74	ほがらか	朗	97
ひや	冷	96	ふたたび	再	37	ほこ	矛	89
ひやかす	冷	96	ふたつ	二	75	ほこる	誇	32
ひやす	冷	96	ふち	縁	13	ほし	星	56
ひら	平	84	ふで	筆	80	ほしい	欲	93
ひらく	開	17	ふとい	太	64	ほす	干	19
ひらける	開	17	ふところ	懷	17	ほそい	細	38
ひる	昼	67	ふとる	太	64	ほそる	細	38
	干	19	ふな	舟	46	ほたる	螢	29
ひるがえす	翻	88		船	59	ほっする	欲	93
ひるがえる	翻	88	ふね	舟	46	ほど	程	70
ひろい	広	33		船	59	ほとけ	仏	83
ひろう	拾	46	ふまえる	踏	73	ほどこす	施	41

のがれる	逃	72	計	28	はて	果	15		
のき	軒	30	測	63	はてる	果	15		
のこす	残	40	量	95	はな	花	14		
のこる	残	40	諮	42		華	15		
のせる	乗	51	謀	88		鼻	80		
	載	38	はく	吐	71	はなし	話	98	
のぞく	除	49		掃	61	はなす	放	86	
のぞむ	望	87		履	94		話	98	
	臨	96	はげしい	激	29		離	94	
のち	後	33	はげます	励	96	はなつ	放	86	
のぼす	伸	53	はげむ	励	96	はなはだ	+	甚	54
	延	12	ばける	化	14	はなはだ			
のびる	伸	53	はこ	箱	78	しい	+	甚	54
	延	12	はこぶ	運	11	はなれる		放	86
のべる	延	12	はさまる	+	挟	25		離	94
	述	48	はさむ	+	挟	25		羽	11
のぼす	上	51	はし	端	65	はね		跳	68
のぼせる	上	51		橋	26	はねる		母	85
のぼる	上	51	はじ	恥	66	はは		幅	83
	昇	50	はじまる	始	41	はぼ		阻	60
	登	73	はじめ	初	48	はぼむ		省	57
のむ	飲	11	はじめて〔副〕	初	48	はぶく		浜	81
のる	乗	51	はじめる	始	41	はま		早	61
	載	38	はしら	柱	67	はやい		速	63
	【は】		はじらう	恥	66	はやし		林	95
は	刃	54	はしる	走	61	はやす		生	56
	羽	11	はじる	恥	66	はやまる		早	61
	葉	93	はずかしい	恥	66	はやめる		早	61
	齒	42	はずかしめる	辱	53			速	63
	端	65	はずす	外	17	はら		原	31
ば	場	52	はずむ	弾	66			腹	83
はい	灰	16	はずれる	外	17	はらう		払	83
はいる	入	75	はた	畑	78	はらす		晴	57
はえ	栄	12		旗	22	はり		針	53
+	はえる	12		端	66	はる		春	48
はえる	生	56		機	22			張	68
	映	12	はだ	+	肌	78	はれる	晴	57
はか	墓	85	はだか	裸	93			【ひ】	
ばかす	化	14	はたけ	畑	78	ひ		日	75
はがね	鋼	36	はたす	果	15			火	14
はからう	計	28	はたらく	働	74			氷	80
はかる	図	54	はつ	初	48			灯	72

とらえる	捕	85	なつかしむ	懷	17	にげる	逃	72
とらわれる	捕	85	なつく	懷	17	にごす	濁	65
とり	鳥	68	なつける	懷	17	にごる	濁	65
とる	取	45	なな	七	43	にし	西	56
	捕	85	ななつ	七	43	にせ	偽	22
	執	43	ななめ	斜	44	になう	担	65
	採	38	なに	何	14	にぶい	鈍	74
	撮	39	なの	七	43	にぶる	鈍	75
どろ	泥	70	なま	生	56	にやす	煮	44
とん	問	91	なまける	怠	64	にる	似	42
	【な】		なまり	鉛	13		煮	44
な	名	89	なみ	並	84	にわ	庭	70
	菜	38		波	76	にわとり	鶏	29
ない	亡	87	なみだ	涙	96		【ぬ】	
	無	89	なめらか	滑	19	ぬう	縫	87
なえ	苗	81	なやます	悩	76	ぬかす	拔	78
なおす	治	43	なやむ	悩	76	ぬかる	拔	78
	直	69	ならう	倣	86	ぬく	拔	78
なおる	治	43		習	46	ぬぐ	脱	65
	直	69	ならす	鳴	90	ぬける	拔	78
なか	中	67		慣	20	ぬげる	脱	65
	仲	67	ならびに	並	84	ぬし	主	45
ながい	永	11	ならぶ	並	84	ぬすむ	盜	73
	長	68	ならべる	並	84	ぬの	布	81
ながす	流	95	なる	成	56	ぬま	沼	50
なかば	半	78		鳴	90	ぬる	塗	71
ながめる	眺	68	なれる	慣	20		【ね】	
ながれる	流	95	なわ	苗	81	ね	音	14
なく	泣	24		縄	52		根	37
	鳴	90	なん	何	14		値	66
なぐさむ	慰	10		【に】		ねがう	願	21
なぐさめる	慰	10	に	荷	15	ねかす	寝	54
なぐる	殴	13	にい	新	54	ねこ	猫	81
なげかわしい	嘆	65	にえる	煮	44	ねぼる	粘	76
なげく	嘆	65	にがい	苦	27	ねむい	眠	89
なげる	投	72	にがす	逃	72	ねむる	眠	89
なごむ	和	98	にがる	苦	27	ねる	寝	54
なごやか	和	98	にぎる	握	10		練	97
なさけ	情	52	にくい	憎	62	ねんごろ	懇	37
なす	成	56	にくしみ	憎	62		【の】	
なつ	夏	15	にくむ	憎	62	の	野	91
なつかしい	懷	17	にくらしい	憎	62	のがす	逃	72

つくす	尽	54	つむぐ	紡	87		説	59
つぐなう	償	51	つめたい	冷	96	とぐ	研	30
つくる	作	39	つめる	詰	23	とける	溶	93
	造	62	つもる	積	58		解	17
つくろう	繕	60	つゆ	露	97	とげる	遂	55
つける	付	81	つよい	強	25	とこ	床	49
	就	46	つよまる	強	25		常	52
	着	67	つよめる	強	25	ところ	所	48
	漬	69	つら	面	90	とざす	閉	84
つげる	告	36	つらなる	連	97	とし	年	76
つたう	伝	71	つらぬく	貫	19	とじる	閉	84
つたえる	伝	71	つらねる	連	97	とつぐ	嫁	15
つたわる	伝	71	つる	弦	31	とどく	届	74
つち	土	72		釣	68	とどける	届	74
つちかう	培	77	つるぎ	剣	30	とどこおる	滞	64
つつ	筒	73	つれる	連	97	ととのう	調	69
つづく	続	63		【て】			整	57
つづける	続	63	て	手	45	ととのえる	調	69
つつしむ	慎	54	てら	寺	42		整	57
	謹	27	てらす	照	51	となえる	唱	50
つつみ	堤	70	てる	照	51	となり	隣	96
つづみ	鼓	32	でる	出	48	となる	隣	96
つつむ	包	86	てれる	照	51	との	殿	71
つどう	集	46		【と】		どの	殿	71
つとまる	勤	27	と	十	47	とばす	飛	80
つとめる	努	72		戸	32	とびら	扉	80
	務	89	とい	問	91	とぶ	飛	80
	勤	27	とう	問	91		跳	68
つな	綱	36	とうげ	峠	74	とぼしい	乏	87
つね	常	52	とうとい	尊	63	とまる	止	40
つの	角	17		貴	22		泊	77
つのる	募	85	とうとぶ	尊	63		留	95
つばさ	翼	93		貴	22	とみ	富	82
つぶ	粒	95	とお	十	47	とむ	富	82
つぼ	坪	69	とおい	遠	13	とむらう	弔	68
つま	妻	38	とおす	通	69	とめる	止	40
つまる	詰	23	とおる	通	69		泊	77
つみ	罪	39	とかす	溶	93		留	95
つむ	詰	23		解	17	とも	友	91
	摘	70	とき	時	43		共	25
	積	58	とく	溶	93		供	25
	錘	55		解	17	ともなう	伴	78

たがやす 耕 35
 たから 宝 86
 たき 滝 65
 たきぎ 薪 54
 たく 炊 55
 だく 抱 86
 たくみ 巧 33
 たくわえる 蓄 67
 たけ 丈 51
 竹 67
 岳 18
 たしか 確 18
 たしかめる 確 18
 たす 足 62
 だす 出 48
 たすかる 助 49
 たすける 助 49
 たずさえる 携 29
 たずさわる 携 29
 たずねる 訪 86
 尋 54
 たたかう 戦 60
 闘 73
 ただし 但 65
 ただしい 正 56
 ただす 正 56
 ただちに 直 69
 たたみ 畳 52
 たたむ 畳 52
 ただよう 漂 81
 たつ ⁺竜 95
 立 94
 建 30
 断 66
 裁 38
 絶 59
 たっとい 尊 63
 貴 22
 たつとぶ 尊 63
 貴 22
 たて 盾 48
 縦 47

たてまつる 奉 86
 たてる 立 94
 建 30
 たとえる 例 96
 たな ⁺棚 65
 たに 谷 36
 たね 種 45
 たのしい 楽 18
 たのしむ 楽 18
 たのむ 頼 94
 たのもしい 頼 94
 たば 束 62
 たび 度 72
 旅 95
 たべる 食 52
 たま 玉 26
 球 24
 弾 66
 霊 96
 たまご 卵 94
 たましい 魂 37
 だまる 黙 90
 たまわる 賜 42
 たみ 民 89
 ためす 試 42
 ためる ⁺矯 26
 たもつ 保 85
 たやす 絶 59
 たより 便 85
 たよる 頼 94
 たらす 垂 55
 たりる 足 62
 たる 足 62
 たれる 垂 55
 たわむれる 戯 22
 たわら 俵 81
 【ち】
 ち 千 59
 血 29
 乳 75
 ちいさい 小 49
 ちかい 近 27

ちかう 誓 57
 ちがう 違 10
 ちがえる 違 10
 ちから 力 95
 ちぎる 契 28
 ちち 父 81
 乳 75
 ちぢまる 縮 48
 ちぢむ 縮 48
 ちぢめる 縮 48
 ちぢらす 縮 48
 ちぢれる 縮 48
 ちらかす 散 40
 ちらかる 散 40
 ちらす 散 40
 ちる 散 40
 【つ】
 つ 津 53
 ついえる 費 80
 ついやす 費 80
 つか ⁺塚 69
 つかう 使 41
 遣 31
 つかえる 仕 40
 つかす 尽 54
 つかまえる 捕 85
 つかまる 捕 85
 つからす 疲 80
 つかる ⁺漬 69
 つかれる 疲 80
 つかわす 遣 31
 つき 月 30
 つぎ 次 42
 つきる 尽 54
 つく 付 81
 突 74
 就 46
 着 67
 つぐ 次 42
 接 58
 継 29
 つくえ 机 21

しめる	湿 43	すじ	筋 27	せめる	攻 34
	占 59	すず	鈴 96		責 58
	閉 84	すずしい	涼 95	せる	競 26
	湿 43	すすむ	進 54		【そ】
	絞 35	すずむ	涼 95	そう	沿 12
	締 70	すすめる	進 54		添 71
しも	下 14		勧 20	そうろう	候 35
	霜 62	すたる	薦 60	そえる	添 71
しら	白 77	すたれる	廃 77	そこ	底 70
しらべる	調 68	すでに	既 21	そこなう	損 63
しりぞく	退 64	すてる	捨 44	そこねる	損 63
しりぞける	退 64	すな	砂 37	そそぐ	注 67
しる	汁 47	すべる	滑 19	そそのかす	唆 37
	知 66		統 73	そだつ	育 10
しるし	印 11	すまう	住 47	そだてる	育 10
しるす	記 21	すます	濟 38	そと	外 17
しろ	白 77		澄 68	そなえる	供 25
	代 65	すみ	炭 65		備 80
	城 51		隅 28	そなわる	備 80
しろい	白 77		墨 88	その	園 12
	【す】	すみやか	速 63	そまる	染 59
す	州 46	すむ	住 47	そむく	背 76
	巢 61		濟 38	そむける	背 76
	酢 39	する	澄 68	そめる	初 48
すい	酸 40		刷 39		染 59
すう	吸 23	するどい	擦 39	そら	空 27
すえ	末 89	すれる	鋭 12	そらす	反 78
すえる	据 55	すわる	擦 39	そる	反 78
すかす	透 73		座 37		【た】
すがた	姿 41		据 55	た	手 45
すぎ	杉 55		【せ】		田 71
すぎる	過 15	せ	背 76	たいら	平 84
すく	好 34		畝 55	たえる	耐 64
	透 73	せい	瀬 55		堪 19
すくう	救 24	せき	背 76	たおす	絶 59
すくない	少 49	ぜに	関 20	たおれる	倒 72
すぐれる	優 92	せばまる	銭 60	たか	高 35
すけ	助 49	せばめる	狭 25	たかい	高 35
すける	透 73	せまい	狭 25	たがい	互 32
すこし	少 49	せまる	迫 77	たかまる	高 35
すごす	過 15			たかめる	高 35
すこやか	健 30				

こやす	肥	79	さける	裂	97	しあわせ	幸	34
こよみ	暦	96		避	80	しいたげる	虐	23
こらしめる	懲	69	さげる	下	14	しいる	強	26
こらす	凝	26		提	70	しお	潮	68
	懲	69	ささえる	支	40		塩	13
こりる	懲	69	ささる	刺	41	しく	敷	82
こる	凝	26	さす	刺	41	しげる	茂	90
ころがす	転	71		指	41	しず	静	57
ころがる	転	71		挿	61	しずか	静	57
ころげる	転	71		差	37	しずく	滴	70
ころす	殺	39	さずかる	授	45	しずまる	静	57
ころぶ	転	71	さずける	授	45		鎮	69
ころも	衣	10	さそう	誘	92	しずめる	沈	69
こわ	声	56	さだか	定	70		静	57
こわい	怖	82	さだまる	定	70		鎮	69
こわす	壊	17	さだめる	定	70	しずむ	沈	69
こわれる	壊	17	さち	幸	34	した	下	14
	【さ】		さと	里	94		舌	59
さいわい	幸	34	さとす	諭	91	したう	慕	85
さえぎる	遮	44	さとり	悟	33	したがう	従	47
さか	坂	79	さどく	裁	38	したがえる	従	47
	逆	23	さび	寂	45	したしい	親	54
	酒	45	さびしい	寂	45	したしむ	親	54
さかい	境	26	さびれる	寂	45	したたる	滴	70
さかえる	栄	12	さま	様	93	しな	品	81
さがす	搜	61	さます	冷	96	しぬ	死	41
	探	65		覚	18	しのばせる	忍	75
さかずき	杯	76	さまたげる	妨	87	しのぶ	忍	75
さかな	魚	24	さむい	寒	19	しば	芝	43
さからう	逆	23	さむらい	侍	43	しばる	縛	78
さかる	盛	57	さめる	冷	96	しぶ	洩	47
さがる	下	14		覚	18	しぶい	洩	47
さかん	盛	57	さら	皿	39	しぶる	洩	47
さき	先	59		更	34	しぼる	絞	35
	崎	39	さる	猿	13		搾	39
さく	咲	39		去	24	しま	島	72
	割	18	さわ	沢	65	しまる	閉	84
	裂	97	さわぐ	騒	62		絞	35
さくら	桜	13	さわる	触	52		締	70
さぐる	探	65		障	51	しみ	染	59
さけ	酒	45		【し】		しみる	染	59
さけぶ	叫	25	じ	路	97	しめす	示	42

【く】								
くいる	悔	16	くらす	暮	86		請	57
くう	食	52	くらべる	比	79	こうむる	被	80
くき	茎	28	くる	来	93	こえ	声	56
くさ	草	61		繰	28		肥	79
くさい	臭	46	くるう	狂	25	こえる	肥	79
くさらす	腐	82	くるおしい	狂	25		越	12
くさり	鎖	37	くるしい	苦	27		超	68
くさる	腐	82	くるしむ	苦	27	こおり	氷	80
くされる	腐	82	くるしめる	苦	27	こおる	凍	72
くじら	鯨	29	くるま	車	44	こがす	焦	50
くずす	崩	86	くれない	紅	34	こがれる	焦	50
くすり	薬	91	くれる	暮	86	こげる	焦	50
くずれる	崩	86	くろ	黒	36	こごえる	凍	72
くせ	癖	84	くろい	黒	36	ここの	九	23
くだ	管	20	くわ	桑	61	ここのつ	九	23
くだく	碎	38	くわえる	加	14	こころ	心	53
くだける	碎	38	くわしい	詳	51	こころざし	志	41
くださる	下	14	くわだてる	企	21	こころざす	志	41
くだす	下	14	くわわる	加	14	こころみる	試	42
くだる	下	14		【け】		こころよい	快	16
くち	口	33	け	毛	90	こし	腰	93
くちびる	+ 唇	53	けがす	汚	13	こす	越	12
くちる	朽	23	けがらわしい	汚	13		超	68
くつ	+ 靴	15	けがれる	汚	13	こたえ	答	73
くつがえす	覆	83	けす	消	50	こたえる	答	73
くつがえる	覆	83	けずる	削	39	こと	言	31
くに	国	36	けむい	煙	13		事	42
くぼる	配	77	けむり	煙	13		殊	45
くび	首	45	けむる	煙	13		異	10
くみ	組	60	けもの	獣	47		琴	27
くむ	組	60	けわしい	険	30	ことぶき	寿	45
くむ	+ 酌	44		【こ】		ことわる	断	66
くも	雲	11	こ	小	49	こな	粉	83
くもる	曇	75		子	40	このむ	好	34
くやしい	悔	16		木	88	こばむ	拒	24
くやむ	悔	16		粉	83	こまか	細	38
くら	倉	61	こい	黄	35	こまかい	細	38
	蔵	62		恋	97	こまる	困	37
くらい	位	10		濃	76	こむ	込	37
	暗	10	こいしい	恋	97	こめ	米	84
くろう	食	52	こう	神	53	こめる	込	37
				恋	97	こやし	肥	79

	肩	30		髪	78		生	56
	型	28		雷	94		黄	35
	+	18		醸	52		消	50
かたい	固	32	かみなり	通	69	きえる	利	94
	硬	35	かもす	空	27	きく	効	34
	堅	30	かよう	唐	72		聞	84
	難	75	から	+	18		聴	69
かたき	敵	70	がら	柄	84	きこえる	聞	84
かたち	形	28	からい	辛	53	きざし	兆	68
かたな	刀	72	からす	枯	32	きざす	兆	68
かたまり	塊	17	からだ	体	64	きざむ	刻	36
かたまる	固	32	からまる	絡	94	きし	岸	21
かたむく	傾	29	からむ	絡	94	きず	傷	51
かたむける	傾	29	かり	仮	14	きずく	築	67
かためる	固	32		狩	45	きせる	着	67
かたよる	偏	85	かりる	借	44	きそう	競	26
かたらう	語	33	かる	刈	19	きた	北	88
かたる	語	33		狩	45	きたえる	鍛	66
かたわら	傍	87		駆	27	きたす	来	93
かつ	且	19	かるい	軽	29	きたない	汚	13
	勝	50	かれ	彼	79	きたる	来	93
かつぐ	担	65	かれる	枯	32	きぬ	絹	31
かて	糧	95	かるやか	軽	29	きびしい	厳	32
かど	角	17	かわ	川	59	きまる	決	29
	門	91		皮	79	きみ	君	28
かな	金	27		河	15	きめる	決	29
かなしい	悲	80		革	18	きも	肝	19
かなしむ	悲	80		側	63	きよい	清	57
かなでる	奏	61	かわかす	乾	19	きよまる	清	57
かならず	必	80	かわく	渴	18	きよめる	清	57
かね	金	27		乾	19	きらう	+	30
	鐘	51	かわす	交	33	きり	霧	89
かねる	兼	30	かわる	代	64	きる	切	58
かの	彼	79		変	85		着	67
かぶ	株	19		換	20	きれる	切	58
かべ	壁	84		替	64	きわ	際	38
かま	窯	93	かん	神	53	きわまる	極	26
かまう	構	36	かんがえる	考	34		窮	24
かまえる	構	36	かんばしい	芳	86	きわみ	極	26
かみ	上	51	かんむり	冠	19	きわめる	究	24
	神	53		【き】			極	26
	紙	41	き	木	88		窮	24

押	13	おもむく	赴	82	かおる	薫	28
推	55	おや	親	54	かかえる	抱	86
おそい	遅	およぐ	泳	11	かかげる	掲	28
おそう	襲	および〔接〕	及	23	かがみ	鏡	26
おそれ	虞	およぶ	及	23	かがやく	輝	22
おそれる	恐	およぼす	及	23	かかり	係	28
おそろしい	恐	おり	折	58		掛	18
おそわる	教	おりる	下	14	かかる	係	28
おだやか	穩		降	35		架	15
おちいる	陥	おる	折	58		掛	18
おちる	落		織	53		懸	31
おっと	夫	おれる	折	58	かき	垣	17
おと	音	おろか	愚	27	かぎる	限	31
おとうと	弟	おろし	卸	14	かく	欠	29
おどかす	脅	おろす	下	14		書	49
おとこ	男		卸	14	かくす	隠	11
おとしいれる	陥		降	35	かくれる	隠	11
おとす	落	おわる	終	46	かげ	陰	11
おどす	脅	おん	御	25		影	12
おとずれる	訪	おんな	女	49	かける	欠	29
おどり	踊					架	15
おとる	劣	【か】	日	75		掛	18
おどる	踊	か	香	35		駆	27
	躍		蚊	16		懸	31
おとろえる	衰	かい	貝	17	かげる	陰	11
おどろかす	驚	かいこ	蚕	40	かこう	圀	10
おどろく	驚	かう	交	33	かこむ	圀	10
おなじ	同		買	77	かさ	傘	40
おに	鬼		飼	42	かざ	風	82
おのおの	各	かえす	返	85	かさなる	重	47
おのれ	己		帰	22	かさねる	重	47
おび	帶	かえりみる	省	57	かざる	飾	52
おびやかす	脅		顧	32	かしこい	賢	31
おびる	帶	かえる	代	64	かしら	頭	73
おぼえる	覚		返	85	かす	貸	64
おも	主		変	85	かず	数	55
	面		帰	22	かぜ	風	82
おもい	重		換	20	かせぐ	稼	16
おもう	思		替	64	かぞえる	数	55
おもて	表	かお	顔	21	かた	方	86
	面	かおり	香	35		片	84
おもむき	趣	かおる	香	35		形	28

うすれる	薄	77	うらめしい	恨	37	おおう	覆	83
うた	歌	15	うる	売	77	おおきい	大	64
うたい	謡	93		得	74	おおせ	仰	26
うたう	歌	15	うるおう	潤	48	おおやけ	公	33
+ うたう	謡	93	うるおす	潤	48	おか	丘	23
うたがう	疑	22	うるし	漆	43	おかす	犯	78
うち	内	75	うるむ	潤	48		侵	53
うつ	打	63	うるわしい	麗	96		冒	87
	討	73	うれい	愁	46	おがむ	拝	76
	撃	29		憂	92	おき	沖	67
うつくしい	美	80	+ うれえる	愁	46	おぎなう	補	85
うつす	写	44	うれえる	憂	92	おきる	起	21
	映	12	うれる	売	77	おく	奥	13
	移	10		熟	48		置	67
うったえる	訴	60	うわ	上	51	おくらす	遅	66
うつる	写	44	うわる	植	52	おくる	送	61
	映	12		【え】			贈	62
	移	10	え	江	34	おくれる	後	33
うつわ	器	22		重	47		遅	66
うで	腕	98		柄	84	おこす	起	21
うとい	疎	60	えがく	描	81		興	36
うとむ	疎	60	えだ	枝	41	おごそか	嚴	32
うながす	促	63	えむ	笑	50	おこたる	怠	64
うね	畝	55	えらい	偉	10	おこなう	行	34
うばう	奪	65	えらぶ	選	60	おこる	怒	72
うぶ	産	40	えり	+ 襟	27		起	21
うま	馬	76	える	得	74		興	36
うまる	埋	88		獲	18	おさえる	抑	93
うまれる	生	56		【お】			押	13
	産	40	お	小	49	おさない	幼	92
うみ	海	16		尾	80	おさまる	収	45
うむ	生	56		雄	92		治	43
	産	40		緒	49		修	46
うめ	梅	77	おいる	老	97		納	76
うめる	埋	88	おう	生	56	おさめる	収	45
うもれる	埋	88		負	82		治	43
うやうやしい	恭	25		追	69		修	46
うやまう	敬	29	おうぎ	扇	59		納	76
うら	浦	85	おえる	終	46	おいしい	惜	58
	裏	94	おお	大	64	おしえる	教	26
うらなう	占	59	おおい	多	63	おしむ	惜	58
うらむ	恨	37	おおいに	大	64	おす	雄	92

あゆむ	謝 44	いける	生 56	いもうと	妹 88
あらい	歩 85	いこい	憩 29	いや	嫌 30
	荒 35	✚ いこう	憩 29	いやしい	卑 79
	粗 60	いさぎよい	潔 30	いやしむ	卑 79
あらう	洗 59	いさむ	勇 91	いやしめる	卑 79
あらす	荒 35	いし	石 58	いる	入 75
あらそう	争 61	いしずえ	礎 61		居 24
あらた	新 54	いずみ	泉 59		要 92
あらたまる	改 16	いそがしい	忙 87		射 44
あらためる	改 16	いそぐ	急 24		鑄 67
あらわす	表 81	いた	板 79	いれる	入 75
	著 67	いたい	痛 69	いろ	色 52
	現 31	いたく	抱 86	いろどる	彩 38
あらわれる	表 81	いたす	致 66	いわ	岩 21
	現 31	いただき	頂 68	いわう	祝 47
ある	有 91	いただく	頂 68		【う】
	在 38	いたむ	悼 73	うい	初 48
あるく	歩 85		痛 69		憂 92
あれる	荒 35		傷 51	うえ	上 51
あわ	✚ 泡 86	いためる	痛 69	うえる	飢 21
あわい	淡 65		傷 51		植 52
あわす	合 36	いたる	至 41	うお	魚 24
あわせる	合 36	いち	市 40	うかがう	伺 41
	併 84	いちじるしい	著 67	うかぶ	浮 82
あわただしい	慌 35	いつ	五 32	うかべる	浮 82
あわてる	慌 35	いつくしむ	慈 43	うかる	受 45
あわれ	哀 9	いつつ	五 32	うかれる	浮 82
あわれむ	哀 9	いつわる	偽 22	うく	浮 82
	【い】	いと	糸 41	うけたまわる	承 50
い	井 55	いとなむ	営 12	うける	受 45
いう	言 31	いどむ	✚ 挑 68		請 57
いえ	家 15	いな	否 79	うごかす	動 74
いかす	生 56		稲 73	うごく	動 74
いかる	怒 72	いぬ	犬 30	うし	牛 24
いき	息 63	いね	稲 73	うじ	氏 40
いきおい	勢 57	いのち	命 89	うしなう	失 43
いきどおる	憤 83	いのる	祈 21	うしろ	後 33
いきる	生 56	いま	今 37	うず	✚ 渦 15
いく	行 34	いましめる	戒 16	うすい	薄 77
	幾 22	いまわしい	忌 21	うすまる	薄 77
いくさ	戦 59	いむ	忌 21	うすめる	薄 77
いけ	池 66	いも	芋 11	うすらぐ	薄 77

常用漢字表 字訓索引

⊕ は「当用漢字（音訓）表」より増えた漢字や字訓

【あ】											
あい	相	61	あさ	揚	92	あつめる	集	46			
あいだ	間	20		麻	88	あてる	充	47			
あう	会	16	あざ	朝	68		当	72			
	合	36	あざい	字	42	あと	後	33			
	遭	62	あさい	浅	59		跡	58			
あお	青	56	あざむく	欺	22	あな	穴	29			
あおい	青	56	あざやか	鮮	60	あなどる	侮	82			
あおぐ	仰	26	あし	足	62	あに	兄	28			
あか	赤	58		脚	23	あね	姉	41			
あかい	赤	58	あじ	味	89	あばく	暴	87			
あかす	明	90	あじわう	味	89	あばれる	暴	87			
	飽	87	あずかる	預	92	あびせる	浴	93			
あかつき	曉	26	あずける	預	92	あびる	浴	93			
あからむ	赤	58	あせ	汗	19	あぶない	危	21			
	明	90	あせる	焦	50	あぶら	油	91			
あからめる	赤	58	あそぶ	遊	92		脂	41			
あかり	明	89	あたい	価	15	あま	天	71			
あがる	上	51		値	66		尼	75			
	挙	24	あたえる	与	92		雨	11			
	揚	92	あたたか	温	14	あまい	甘	19			
あかるい	明	89		暖	66	あまえる	甘	19			
あかるむ	明	89	あたたかい	温	14	あます	余	92			
あき	秋	46		暖	66	あまやかす	甘	19			
あきなう	商	50	あたたまる	温	14	あまる	余	92			
あきらか	明	90		暖	66	あみ	網	90			
あきる	明	90	あたためる	温	14	あむ	編	85			
あきる	飽	87		暖	66	あめ	天	71			
あく	明	90	あたま	頭	73		雨	11			
	空	27	あたらしい	新	54	あやうい	危	21			
	開	17	あたり	辺	85	あやしい	怪	16			
あくる	明	90	あたる	当	72	あやしむ	怪	16			
あける	明	90	あつい	厚	34	あやつる	操	62			
	空	27		暑	49	あやぶむ	危	21			
	開	17		熱	75	あやまち	過	15			
あげる	上	51	あつかう	扱	10	あやまつ	過	15			
	挙	24	あつまる	集	46	あやまる	誤	33			

1977年4月15日 初版発行
1981年12月10日 第二版発行
1986年11月10日 第三版発行
1991年12月10日 第四版発行



新しい国語表記ハンドブック

第四版

1991年12月10日 第1刷発行
2000年10月1日 第14刷発行

編者 三省堂編修所

発行者 株式会社三省堂 代表者五味敏雄

製版所 有限会社弘陽写真タイプ社
三省堂印刷株式会社

発行所 株式会社三省堂

〒101-8371

東京都千代田区三崎町二丁目22番14号

電話 編集 (03) 3230-9411

営業 (03) 3230-9412

振替口座 00160-5-54300

©Sanseido Co., Ltd.1991

Printed in Japan

落丁本・乱丁本は
お取替えいたします。

〈4版 新国語表記・240pp.〉

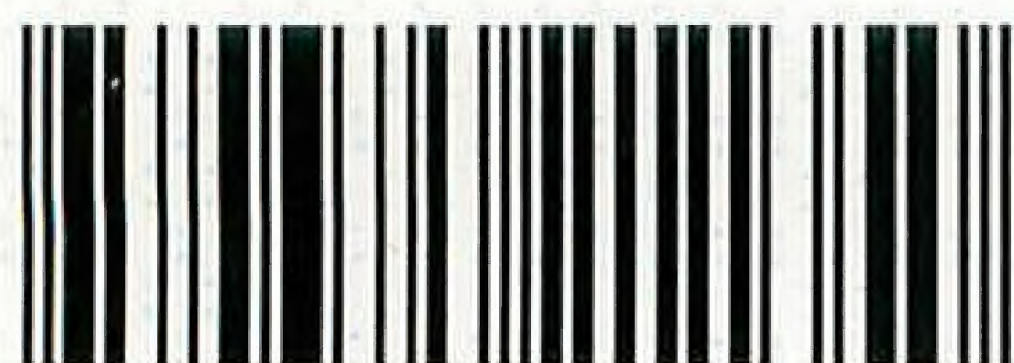
ISBN4-385-21135-3

本書の全部または一部を無断で複写複製（コピー）
することは、著作権法上での例外を除き、禁じられ
ています。本書からの複写を希望される場合は、日
本複写権センター（03-3401-2382）にご連絡ください。

2色刷

新しい国語表記ハンドブック

【第四版】



9784385211350



1920081004607

ISBN4-385-21135-3

C0081 ¥460E (1)

定価(本体 460円+税)